



益田市 高島



鳥取県 鳥取市

第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公 いも代官頌徳碑 533基全覧

島根県大田市文化協会



邑南町

石見銀山基金助成事業



石見銀山
WORLD HERITAGE



岡山県 笠岡市



西ノ島町



美郷町

第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公
いも代官頌徳碑 533 基金覧

令和5年3月

島根県大田市文化協会

「第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公 いも代官頌徳碑533基全覧」発刊にあたって

この冊子は、大田市文化協会が石見銀山基金事業の助成を受けて、中国地方4県に建立されている第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門正明公の頌徳碑（以下「井戸公碑」）全533基を現地調査してまとめたものです。

調査にあたっては令和2年度に当協会が同じく石見銀山基金事業の助成を受けて実施した照会調査の結果や、大田市川合町の故宮本豊さんが調査された資料、各地域で調査されてまとめられた資料を参考にしながら、各市町村の教育委員会や公民館等をはじめ多くの皆さんのお力をお借りして、令和3年度と4年度の2か年で約400基を調査しました。現地調査を終えた段階で確認した井戸公碑は533基となり、令和2年度に調査を開始する前の493基から40基増えています。現地点で把握したものはこれですべてですが、各地で「ほかにもあるかもしれない」という話も聞いていますので、今後情報をいただいてさらに充実した資料にしていければと考えています。

碑は市町村別に整理し、1ページに2基紹介（長文の碑文があるものなどは追加）しており、所在地、緯度経度、写真、寸法を記載。石碑に刻まれている文字を可能な限り判読し、国土地理院地図（電子国土Web）も添付し、碑の場所を赤丸で示しました。地図と緯度経度を掲載したのは、井戸公碑を訪ねる際の参考になればと考えたからです。ただし、地図はできるだけ碑の場所がわかりやすいようにトリミングしているので、縮尺は一定ではありません。

また、碑銘は元々文字がないと思われるものは「なし」とし、石がやせたり剥落したりして読めなくなっているものは「不明」としました。所在地の「R」は国道、「K」は県道です。刻字の判読では、1文字分が不明のものは「□」で、何文字あるかも不明なものは「……」と表記しています。文中の「/」は改行を示しており、碑石の寸法はそれぞれ最大値を記載しています。

わずか2年足らずの在任期間だったにもかかわらず数々の善政で領民を導き、領民が飢えて命を落とすことがないようにと、困難を押しして薩摩国からサツマイモを導入した井戸公に感謝を捧げるとともに、この冊子が今後、井戸公の研究をされる方の少しでも参考になれば望外の喜びです。さらに、井戸公碑そのものはもちろん、建立に関わられた多くの先輩方を地域の貴重な文化遺産として後世に語り継ぐための資料となれば幸いです。

調査に当たっては、多くの皆様、特に調査させていただいた地元の皆様にご指導、ご協力、ご尽力をいただきました。おかげさまですべての井戸公碑を調査することができました。ありがとうございました。また、力強いご支援をいただきました、石見銀山協働会議様、本通り商店会協同組合様（大田市大田町）にも、合わせて厚くお礼申し上げます。

2023（令和5）年3月

島根県大田市文化協会会長 石 賀 了

目 次

「いも代官頌徳碑533基全覧」発刊にあたって

第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門の偉業と533基の頌徳碑	————	4
井戸公碑一覧表	—————	6
井戸公碑の市町村別の分布	—————	15
建立年代の分布	—————	15
石碑の高さの分布	—————	15
石碑の型による分布	—————	16
碑銘の種類による分布	—————	16
大田市の井戸公碑	97基	17
江津市の井戸公碑	81基	70
浜田市の井戸公碑	173基	113
益田市の井戸公碑	20基	199
津和野町の井戸公碑	1基	210
邑南町の井戸公碑	27基	211
川本町の井戸公碑	31基	225
美郷町の井戸公碑	25基	243
出雲市の井戸公碑	7基	256
松江市の井戸公碑	38基	260
知夫村の井戸公碑	5基	279
西ノ島町の井戸公碑	9基	281
海士町の井戸公碑	2基	286
境港市（鳥取県）の井戸公碑	7基	287
米子市（鳥取県）の井戸公碑	4基	291
鳥取市（鳥取県）の井戸公碑	1基	293
尾道市（広島県）の井戸公碑	1基	294
笠岡市（岡山県）の井戸公碑	4基	295

第19代石見銀山領代官 井戸平左衛門の偉業と533基の頌徳碑

大田市文化協会会長 石 賀 了

■井戸平左衛門公の事蹟

江戸時代、享保の大飢饉に際し、薩摩藩からサツマイモを取り寄せて栽培を奨励して領民を飢饉から救い、今でも「いも代官」と慕われている、石見銀山領の第19代大森代官、井戸平左衛門正明（以下「井戸公」）は享保16年（1731）11月に現大田市の大森に着任。2年後の享保18年5月に併任地である岡山県の笠岡陣屋で亡くなっており、在任期間はわずかに1年半と短い、その功績は大きく、数多くの頌徳碑が建てられている。

井戸公は寛文12年（1672）、御徒（おかし）、野中八右衛門重貞の子として武蔵に生まれ、21歳の元禄5年（1692）に勘定の井戸平左衛門正和の養子となって小普請に迎えられた。その後、江戸城中の火災の警戒に当たる表火之番に進み、同15年（1702）に勘定方に抜擢された。以来、諸国河川の治水工事や幕府直轄領の巡検などを真面目に励み、享保6年（1721）、20年の精勤に対して黄金2枚を拝領している。さらに、享保10年には諸地域での検見添役（米などの出来具合を検査する役）の功績に対しても黄金2枚が贈られており、井戸公の真面目さ、精勤ぶりが偲ばれる。その仕事ぶりを評価されたことが、60歳という高齢での代官就任につながったと思われる。

着任翌年の享保17年は大飢饉の年となる。この飢饉に際して、井戸公は精力的に自分の足で領内を歩き、実態をつぶさに調べ、被害が大きかった鳥井村、磯竹村（以上現大田市）、黒松村（現江津市）などでは年貢を免除し、真鍋島（現笠岡市）などでは被害に応じて減免するなど、思い切った救済策を講じた。

また、自らの財産や裕福な領民から募った資金で米を購入したほか、幕府の許可を待たずに代官所の米蔵を開いて領民に与えたと伝えられている。

極めつけは、まるで大飢饉が来ることを予見していたように、同年の春から夏にかけて、薩摩からサツマイモを取り寄せて栽培を奨励したことだ。このころすでに、普及はしていなかったが江戸にはサツマイモが伝わっていたという記録もあり、井戸公は長年検見添役として諸国を巡見する中で、サツマイモの情報を持っていたと思われる。その上、代官着任2年前の享保14年（1729）に検見添役として石見を訪れていて、米の実りが少ないことも自分の目で見ており、代官就任に当たって、「石見を救うのはサツマイモしかない」と考えていたと思われる。

サツマイモは年貢の対象にはなっていなかったが、いや、年貢の対象でないからこそ、サツマイモを植え広め、領民が米の代わりに腹一杯に食べてくれれば、きっと元気を出してくれるに違いないと確信したのだと思われる。忠義を何より重んじる井戸公にとって、「忠」とはお上によく仕えるというだけでなく、自分自身に対しても誠実であるということであり、サツマイモ導入には「自分が代官になったからには領民の一人の命も見捨てない」という強い意志が感じられる。

残念ながら、サツマイモ導入の最初の年はほとんどが失敗に終わったが、唯一、福光村の松浦屋与兵衛が栽培に成功し、「いも釜」という保存法も考案したため、石見では翌享保18年から栽



井戸公肖像画（井戸神社蔵）

培が広まることになる。しかし、井戸公はおそらくそのサツマイモを味わうことなく、その年の4月に併任地の笠岡に赴いて病に倒れ、5月26日に帰らぬ人となった。享年62歳。葬儀は笠岡の威徳寺で営まれ、「泰雲院義岳良忠居士」の名が贈られた。

■頌徳碑は中国地方4県に533基も

井戸公の死から74年後の文化4年(1807)、那賀郡太田村(現在の江津市松川町)の江の川沿いに、建立年がわかるものとしては最も早く、井戸公の頌徳碑が建てられた。その後、頌徳碑建立は銀山領全体に広がり、浜田藩、松江藩、鳥取県、そして広島県、岡山県へと広がっていく。その総数は大田市川合町の故宮本豊氏の調査によると500基以上にもなり、その資料を元に大田市文化協会が調査を進めた結果、総数は533基になった。一人の人間に対する頌徳碑がこれほど多いのはおそらくほかには例がないと思われる。

頌徳碑を建てたのはどんな人たちかを見てみると、それはそれぞれの石碑に刻まれており、ほとんどのものが、村々の人々がお金を出し合い、力を合わせて建てており、台石には「村中のみんなで」という意味の「當村中」とか、「村中みんなが等しく力を合わせて」という意味の「村中合等」などの文字が力強く彫られている。

米が十分にできなかった地域の人々が決して豊かだったとは思えないが、それでも「サツマイモを取り寄せて私たちに助けてくれ、そのおかげで飢え死にすることなく親から子へ、子から孫へと命が繋がった。その殿様に感謝を捧げたい」という人々の思いが、それぞれの石碑に込められている。当時藩外に持ち出すのが難しかったサツマイモを薩摩から入手した井戸公もすごい、その恩に報いようと頌徳碑を建てた後世の人々もまたすごい。その人々は井戸公への感謝の気持ちを表すとともに、サツマイモを通じて食物に感謝し、そして命の尊さを見つめていた人たちだったのだ。

■今も続くまつりや法事。石碑再建の動きも

533基の頌徳碑の中には、長年の風雪で傷んでいるものも多く、彫られた文字が読めなくなるもの、石碑自体がやせ細って崩壊するものもある。そんな井戸公碑を再建する動きも見られる。江津市清見町、和木町、嘉久志町、出雲市湖陵町差海などで見事に再建され、2018年4月の島根県西部地震で倒れた、大田市波根町の波根八幡宮にある井戸公碑も場所を変えて再建された。

頌徳碑にまつわる法事やまつりは、今でも大田市内の数か所で続けられているほか、各地で行われている。県外でも、米子市の迎接院(こうしょういん)、広島県の生口島の正善寺などでにぎやかに続けられている。

現代の日本では、コメのかわりにサツマイモを食べることはなくなったが、それでも、井戸公の数々の事蹟はいまだに語り継がれ、その恩に報いようと建てられた533基の頌徳碑は、今でも各地で大切に守られている。

【参考文献】「石見銀山～いも代官井戸平左衛門の事蹟」(平成13年大田市外2町広域行政組合企画担当)／「いも神さま 井戸平左衛門 石見銀山代官」(石村勝郎著)(平成6年石見銀山資料館)／「日本民衆史7 甘藷の歴史」(宮本常一著)(昭和37年未来社)／「野國總管甘藷伝来400年祭記念誌『野國總管』」(平成17年沖繩県嘉手納町)／「代官井戸平左衛門の事蹟と顕彰」(藤原雄高著)(平成29年島根県教育庁発行「石見銀山の社会と経済」に収録)ほか

井戸公碑一覽表

No.	碑 銘	場 所	建立年 西曆/和曆	建 立 者	掲載 ページ
大 田 市					
1	井戸明府之碑	大田市大田町加土 法蔵寺	1928/昭和3年	加土区民一同	17
2	井戸正朋碑	大田市大田町宮島 大願寺	1895/明治28年	世話人中	17
3	井戸正朋公碑	大田市大田町蛭子 明善寺	1955/昭和30年	世話人	18
4	井明府追念	大田市川合町鶴府 湯川氏宅横	不明	不明	18
5	井戸明府紀念碑	大田市川合町南 浄教寺	1887/明治20年	川合村	19
6	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市川合町吉永 建功寺 無縁墓地	1889/明治22年	不明	19
7	なし	大田市三瓶町池田野畑	不明	不明	20
8	井明府追念	大田市三瓶町小屋原 徳善寺向い	1889/明治22年	(世話人名等あり)	20
9	井戸正明公碑	大田市三瓶町志学 東上山 専勝寺	1931/昭和6年	青年団上山支部	21
10	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市三瓶町多根 宝陀寺	不明	多根中	21
11	井戸明府碑	大田市三瓶町野城 円城寺下	1885/明治18年	不明	22
12	芋代宮頌徳碑	大田市富山町高原 松林寺	1973/昭和48年	富山町内中	22
13	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市富山町本郷	1847/弘化4年	村中	23
14	泰雲院義岳良忠居士	大田市朝山町朝倉 朝倉彦命神社	不明	當村中合等	23
15	井明府恩澤碑	大田市朝山町仙山 元花雪温泉横	1857/安政4年	村中合等	24
16	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市波根町上町 波根八幡宮	1820/文政3年	不明	24
17	井戸明府(石宮)	大田市久手町宮の前 荻田神社	2002/平成14年	不明	25
18	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市久手町寺前 観音寺	不明	久手・柳瀬・大津	26
19	井戸明府霊(石宮)	大田市久手町柳瀬	不明	不明	26
20	井戸明府之碑	大田市久手町西川 県道三差路	1906/明治39年	七老人	27
21	井戸公追善(歌碑)	大田市久手町西川 県道三差路	1915/大正4年	岩谷	27
22	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市久手町刺鹿 円光寺	不明	不明	28
23	井戸恩澤碑	大田市鳥井町新田 旧道沿い	不明	村中合等	28
24	井戸明府厚澤碑	大田市鳥井町八幡 まちづくりセンター前	1839/天保10年	鳥井村中	29
25	井戸仁澤碑	大田市長久町川南	1892/明治25年	川南中	29
26	泰雲院表徳碑	大田市静間町棚 JR静間駅前	不明	不明	30
27	泰雲院殿義嶽良忠大居士	大田市静間町仮屋 円通寺	1890/明治23年	當組中	30
28	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市静間町平 静間小学校入口	1943/昭和18年	楠屋	31
29	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市静間町魚津 市道沿い	不明	魚津浦中	31
30	泰雲院義岳良忠居士	大田市静間町新田	不明	新田中	32
31	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市静間町和江 大年神社北隣	1841/天保12年	和江浦中	32
32	泰雲院殿義岳良忠居士塔	大田市五十猛町湊 共同墓地	不明	不明	33
33	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市五十猛町地頭所	不明	不明	33
34	……良忠居……	大田市五十猛町嘉庭	1847/弘化4年	(世話人名あり)	34
35	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市五十猛町野梅 林氏宅裏山	不明	野梅・畑井	34
36	井明府君碑	大田市五十猛町丹波	不明	不明	35
37	井戸公之碑	大田市五十猛町赤井	1928/昭和3年	赤井區立	35
38	泰運院殿義岳良忠大居士	大田市五十猛町大浦 浄圓寺	不明	大浦湊中	36
39	井戸明府之碑	大田市大屋町尾波	1924/大正13年	不明	36
40	欽澤碑	大田市大屋町鬼村 八代上入口付近	1926/大正15年	不明	37
41	泰……忠居士	大田市大屋町菰口	不明	不明	37
42	(家紋)井戸公之碑	大田市久利町市原 元正善坊	不明	不明	38
43	井戸公之碑	大田市久利町赤波	1918/大正7年	(世話人名あり)	38
44	井戸神社	大田市大森町昭和	1916/大正5年	井戸神社興復会	39
45	井戸公顕彰碑	大田市大森町昭和 井戸神社	1982/昭和57年	わかさの会	40
46	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市大森町上佐摩上 尾川氏宅上	1856/安政3年	上組中	41
47	泰雲院殿義……士位	大田市水上町白坏 肥田氏宅裏	不明	當村中	41
48	泰雲院殿義岳良□□居士	大田市水上町三久須 元森山商店横	1854/嘉永7年	三久須中	42
49	井明府之碑	大田市水上町福原 元中島商店横	1858/安政5年	當村中	42
50	泰雲院義岳良忠居士	大田市水上町荻原 元本宗寺跡	1958/昭和33年	荻原村中	43
51	井戸正朋公碑	大田市祖式町下町 円福寺	1933/昭和8年	不明	43
52	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市祖式町瀬戸 バス停横	1854/嘉永7年	瀬戸本江惣連中	44
53	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市祖式町山中	1857/安政4年	祖式村上組中	44
54	井明府……碑	大田市祖式町南山	不明	南山中	45
55	井明府□碑	大田市祖式町横谷	1911/明治44年	横谷中	45
56	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市祖式町猪ノ目	1854/嘉永7年	井之目谷内	46
57	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市祖式町大原	1854/嘉永7年	當組中	46
58	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市大代町新屋本郷 大葉氏宅横	不明	新屋本郷	47
59	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市大代町新屋山田 バス停前	1844/天保15年	知雲	47
60	井戸明君碑	大田市大代町新屋飯谷 浄願寺	不明	新屋村飯谷組中	48
61	泰……	大田市大代町新屋右原	1893/明治26年	右原組	48
62	井戸君報徳碑	大田市大代町大家植松 正法寺	1856/安政3年	當町中	49
63	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市大代町大家四日市 西臨寺先	不明	當組中	50
64	……殿義岳良……	大田市大代町大家八反田	不明	八反田組	50
65	泰雲院殿義岳良忠……	大田市大代町大家柿田	不明	柿田組	51
66	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市大代町大家川上	不明	川上連中	51

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
67	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町湯里 専念寺	1840/天保11年	本郷・温泉郷下組・湯湊	52
68	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町湯里中村	1828/文政11年	温泉本郷上組	52
69	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町湯里 野田新谷	不明	野田組中	53
70	井明府之碑	大田市温泉津町湯里西田 水上神社	1855/安政2年	不明	53
71	正明井戸君碑	大田市温泉津町小浜 巖島神社	1911/明治44年	小濱 中	54
72	井戸平左衛門君之碑	大田市温泉津町日祖 大元神社	1914/大正3年	日祖 中	54
73	正明井戸君碑	大田市温泉津町温泉上町	1883/明治16年	不明	55
74	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市温泉津町上村	1854/嘉永7年	當上村中	56
75	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市温泉津町飯原	1996/平成8年	飯原地区中	57
76	井戸公之碑	大田市温泉津町福光市 浄光寺	1984/昭和59年	(発起人名等あり)	57
77	井明府之……	大田市温泉津町福光林 西田氏宅裏	不明	不明	58
78	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町福光白谷 市道三差路	1868/慶応4年	上組 中	58
79	井戸神社	大田市温泉津町福光 福光八幡宮	不明	不明	59
80	井戸公頌徳碑	大田市温泉津町福光湊西	1951/昭和26年	不明	59
81	井戸殿墓□	大田市温泉津町福光釜野	不明	不明	60
82	井戸公頌徳碑	大田市温泉津町今浦	1970/昭和45年	今浦浦会	60
83	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町吉浦	不明	不明	61
84	井戸公之碑	大田市温泉津町井田元井田	1926/大正15年	不明	61
85	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町井田津淵 K32沿い	不明	當 邑 中	62
86	寿真碑	大田市温泉津町井田井尻 高野寺下	不明	當 村 中	62
87	井戸正明碑	大田市温泉津町井田殿村 市道沿い	不明	元殿村中	63
88	嘉恵碑	大田市温泉津町井田福田 願林寺向い	不明	當 村 中	63
89	井明府之碑	大田市温泉津町井田横道	1855/安政2年	當 村 中	64
90	井戸神社	大田市温泉津町井田太田 太田八幡宮	1907/明治40年	太田八幡宮	64
91	泰雲院殿義岳良忠大居士	大田市温泉津町井田太田 市道沿い	1930/昭和5年	太 田 區	65
92	泰雲院殿義岳良忠居士	大田市温泉津町井田菰口 荻村集会所向い	不明	荻 邑	65
93	井戸正明……	大田市仁摩町仁万天神 仁摩小学校下	1897/明治30年	不明	66
94	泰雲院殿義岳良忠居士欽徳碑	大田市仁摩町天河内	不明	不明	66
95	井戸府報徳碑	大田市仁摩町宅野 波啼寺上	1864/元治元年	不明	67
96	井戸平左衛門府君遺澤之碑	大田市仁摩町大野 石見城下	1989/平成元年	大国町文化推進協	67
97	永欽遺澤	大田市仁摩町馬路 乙見神社	1883/明治16年	馬 路 村	68

令和2年度に大田市文化協会が実施した再調査の際に、次の碑を井戸公碑から除外した。

- ※ 泰雲院殿義岳良忠居士 川合町真光寺 現在は存在しないため
- ※ 謝恩碑 五十猛町湊 共同墓地 井戸公碑ではないため
- ※ 恒松隆慶頌功碑 大森町 井戸神社 井戸公碑ではないため
- ※ 松浦屋与兵衛之碑 大森町 井戸神社 井戸公碑ではないため

江 津 市

1	泰雲院殿義岳良忠居士塔	江津市黒松町内の浦	1998/平成10年	當 村 中	70
2	井明府之碑(新碑)	江津市波積町北 堂ヶ鼻入口	不明	波 □ □	70
3	不明(旧碑)	江津市波積町北 堂ヶ鼻入口	不明	波 積 北	71
4	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市波積町本郷 福城寺	1827/文政10年	不明	71
5	泰雲……	江津市波積町南 立畑前 道路沿い高手	1844/天保15年	波 積 南	72
6	不明	江津市後地町波来浜 大火矢	1812/文化9年	不明	72
7	井戸公頌徳碑	江津市後地町尾浜 共同集荷所横	1992/平成4年	尾 浜 浦	73
8	井戸平左衛門之碑	江津市後地町藪 K171沿い	2003/平成15年	藪自治会	73
9	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市浅利町宮町 浅利寺	1885/明治18年	不明	74
10	泰雲井口君碑	江津市浅利町椽 寄江神社西200m	1810/文化7年	□ 村 中	74
11	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市浅利町曙 岡野屋前 道路沿い	1898/明治31年	當村奥口中	75
12	井明府碑	江津市渡津町塩田 R9沿い	1948/昭和23年	嘉戸・塩田・金川	76
13	井戸公碑	江津市渡津町岩貝 コミュニティ広場	1958/昭和33年	不明	76
14	泰雲院殿義岳良忠居士塔	江津市松川町太田 元佐々木店後	1807/文化4年	(施主名大勢あり)	77
15	泰雲院殿義……	江津市松川町上河戸 浄国寺	1818/文化15年	村 民	78
16	井戸神社	江津市松川町下河戸 天満宮	1887/明治20年	(寄附人名等あり)	79
17	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町下河戸 円立寺	不明	當 村 中	79
18	泰雲院殿義岳良忠居士塔	江津市松川町市村 三仏寺	1832/天保3年	當 村 中	80
19	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町畑田四熊 坂本氏宅横	1896/明治29年	(発起人名等あり)	80
20	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町畑田 旧都治道分岐点	1832/天保3年	當 村 中	81
21	井明恩澤碑	江津市松川町上津井 宮本氏宅前	1856/安政3年	不明	81
22	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町長良 久坪橋東南	不明	不明	82
23	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町長良呂木 峠上	不明	當所上中	82
24	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市松川町長良新屋原 R261沿い	不明	不明	83
25	嘉恵碑(新碑)	江津市江津町 郷田小学校前	1858/安政5年	不明	83
26	井戸明府公恩碑(旧碑)	江津市江津町 郷田小学校前	1818/文政元年	不明	84
27	遺澤碑	江津市金田町千金 人丸渡し K112沿い	1881/明治14年	金田村中	84
28	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市金田町大野 林道沿い	1871/明治4年	大野講中	85
29	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市川平町鍛冶屋谷 加藤氏宅東	不明	當 村 中	85
30	なし	江津市川平町平床 元願宗寺	1863/文久3年	不明	86
31	正明碑	江津市川平町沖口 元田原店奥	不明	不明	86

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
32	井戸正明君碑	江津市川平町芦山谷 田ノ迫	1902/明治35年	田ノ迫	87
33	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市川平町空城下 嘉戸氏宅前	1902/明治35年	不明	87
34	嘉恵碑	江津市嘉久志町 岩根神社前	2019/令和元年	村 中	88
35	なし	江津市嘉久志町久保川 地蔵堂前	不明	不明	89
36	慶遺澤	江津市和木町 向の浜	1878/明治11年	小川八左衛門	89
37	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市都野津町 大年神社前	1862/文久2年	村 中	90
38	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市二宮町神主 大寶坊	不明	不明	91
39	泰雲院殿	江津市二宮町神主 太平寺 墓地横	1864/元治元年	當村中	91
40	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市二宮町神主飯田 三原屋入口	不明	飯田邑中	92
41	泰雲院殿	江津市二宮町神村 長久寺	不明	當村中	92
42	泰雲院	江津市敬川町 霊泉寺入口 K299沿い	1892/明治25年	村 中	93
43	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市波子町 常福寺山門前	1872/明治5年	當村中	93
44	井戸君碑	江津市千田町 浄光寺向い 寺子屋跡	1889/明治22年	組 中	94
45	泰雲院殿塚	江津市千田町 後千田 森口氏宅下	1863/文久3年	不明	94
46	泰雲院殿墓	江津市千田町大佐張 佐々木氏宅裏	1872/明治5年	谷 中	95
47	泰雲院殿碑	江津市千田町大年迫 道路沿い地蔵堂横	1872/明治5年	谷 中	95
48	井明府	江津市跡市町徳田 切通し	1914/大正3年	不明	96
49	泰雲院	江津市跡市町生り畑 元中学校前	1899/明治32年	不明	96
50	なし	江津市跡市町金口 島田氏宅入口	不明	不明	97
51	正明碑(新碑)	江津市跡市町大久保 興福庵	1896/明治29年	不明	97
52	なし(旧碑)	江津市跡市町大久保 興福庵下	不明	不明	98
53	井戸君之碑	江津市跡市町出り原 モチノ木横	1930/昭和5年	(多くの氏名あり)	98
54	正明君碑	江津市有福温泉町堂庭 福泉寺向い	不明	不明	99
55	なし	江津市有福温泉町湯谷 たじまや駐車場	不明	不明	99
56	泰雲院殿碑	江津市有福温泉町本明 松下氏宅東	1865/慶応元年	不明	100
57	正明君碑	江津市有福温泉町本明 本明山登山口	1896/明治29年	谷 中	100
58	正明碑	江津市有福温泉町本明 千代延氏宅西	1895/明治28年	不明	101
59	井戸君碑	江津市有福温泉町本明 福田八幡宮参道	1893/明治26年	福村中	101
60	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市清見町 K297沿い 集会所横	1997/平成9年	清見連中	102
61	井戸正□□	江津市井沢町 K297沿い 浜田屋横	1888/明治21年	不明	102
62	井戸神社	江津市桜江町川越鹿賀 春日神社本殿左	不明	不明	103
63	井戸正明碑	江津市桜江町川越 元渡踏切西	不明	當村中	103
64	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市桜江町川越坂本 原田氏宅後	1857/安政4年	坂本・渦巻中	104
65	(梵)泰雲院殿義岳良忠居士	江津市桜江町川越大貫 興盛寺	不明	(8人の名あり)	104
66	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市桜江町川越田津 正泉寺	1906/明治39年	田津中	105
67	不明	江津市桜江町谷住郷日浦 R261沿い	1861/万延2年	鍋倉・日裏中	105
68	泰雲院殿義岳良忠大居士	江津市桜江町谷住郷 天神郷集会所横	2000/平成12年	住江・谷・入野組	106
69	為泰雲院殿義岳良忠居士	江津市桜江町谷住郷 長戸路集会所西	1872/明治5年	當村連中	106
70	泰雲院殿義岳□□大居士	江津市桜江町小田 薬王寺	1827/文政10年	當村中	107
71	井戸明君碑	江津市桜江町小田 新旧道交差点	1891/明治24年	(世話人名あり)	107
72	井戸明君碑	江津市桜江町今田 田淵氏宅横 旧会場跡	1891/明治24年	今田中	108
73	井戸明君之碑	江津市桜江町市山 市山八幡宮参道	1862/文久2年	當村中	108
74	井戸明君之碑	江津市桜江町市山江尾 松野氏宅横	1877/明治10年	當村中	109
75	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市桜江町後山 集落センター横	1863/文久3年	當邑中	109
76	泰雲院殿義岳良忠居士	江津市桜江町長谷 長谷西(松ヶ下右)	1886/明治19年	長谷村・徳治組	110
77	泰雲院殿	江津市桜江町長谷 長谷東(横手上)	1910/明治43年	長谷中	110
78	井戸正明碑	江津市桜江町長谷 山中郷 迫田屋上	1887/明治20年	山中上組	111
79	井戸君碑	江津市桜江町長谷 山中東 峠屋前	1887/明治20年	山中村下組 八戸内田尻組	111
80	泰雲院碑	江津市桜江町長谷勝地 松納屋横	1902/明治35年	勝地組中	112
81	井戸君追慕碑	江津市桜江町八戸 集会所	1908/明治41年	不明	112

※都治町中都治 円勝寺の碑は2003年ごろに撤去されている。

※松川町八神本田前の碑は、R261のガード外に台石の部分石がわずかに残存しているだけなので除外した。

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
-----	-----	-----	--------------	-------	-----------

浜 田 市

1	泰雲院殿碑	浜田市下有福町 K50沿い	1862/文久2年	不明	113
2	井戸君之碑	浜田市大金町 大年神社前・姉金公民館横	1859/安政6年	當 村 中	113
3	泰雲院	浜田市大金町 K50交差点	1914/大正3年	大 津 中	114
4	泰雲院	浜田市宇野町 市道三差路	2010/平成22年	宇野町再建委	114
5	井戸平左衛門正明顕彰碑	浜田市宇野町 河野氏宅横	2009/平成21年	河 野 氏	115
6	井戸平左エ門正朋塚	浜田市久代町荒相 太子堂前	1832/天保3年	荒 和 村	115
7	泰雲院殿義岳良忠大居士	浜田市久代町 浄土寺	1993/平成5年	久代自治会	116
8	泰雲院殿	浜田市国分町 国分寺跡入口	1859/安政6年	国 分 村	116
9	泰雲院殿	浜田市国分町唐鐘 忠魂碑横	1909/明治42年	唐鐘區中	117
10	不明	浜田市国分町 唐鐘公民館(安楽寺)横	不明	不明	118
11	泰雲院殿義岳良忠居士	浜田市下府町 光明寺	1936/昭和11年	下府村中	118
12	泰雲院義岳良忠大居士	浜田市上府町 三宅墓地	不明	不明	119
13	泰雲院殿之碑	浜市長沢町4の2町内 地蔵堂横	1855/安政2年	不明	119
14	泰雲院殿	浜田市松原町 心覚院	不明	不明	120
15	井戸君之碑	浜田市天満町 今宮トンネル西 小公園	不明	不明	120
16	泰雲院殿	浜田市大辻町 寶福寺墓地	不明	不明	121
17	泰雲院殿墓	浜田市原井町 JRガード南	不明	不明	121
18	泰雲院殿	浜田市高佐町 大光ハイツ下	1857/安政4年	谷 中	122
19	泰雲院殿	浜田市浅井町 交差点のお堂横	1856/安政3年	浅 井 村	122
20	泰雲院殿	浜田市黒川町 大石内科横	1862/文久2年	(世話人名あり)	123
21	井戸之碑	浜田市黒川町 高佐川放水路口	不明	不明	123
22	泰雲院殿之碑	浜田市後野町 地蔵堂横	1864/元治元年	上ヶ山組	124
23	不明	浜田市河内町 K179河内バス停東	不明	不明	124
24	不明	浜田市河内町 K179河内バス停東	不明	不明	124
25	不明	浜田市河内町 K179河内バス停東	不明	不明	124
26	泰雲院殿	浜田市相生町 足王神社横	1879/明治12年	不明	125
27	なし	浜田市相生町 岩崎橋たもと交差点	不明	不明	125
28	不明	浜田市野原町 1公民館裏広場	不明	不明	126
29	不明	浜田市野原町 1公民館裏広場	不明	不明	126
30	泰雲院殿	浜田市三階町下倉	1855/安政2年	下倉三郎右衛門	126
31	なし	浜田市三階町野地 小川氏宅前	不明	不明	127
32	なし	浜田市三階町 石見まちセン細谷分館後ろ	不明	不明	127
33	なし	浜田市三階町 2町内集会所下	不明	不明	128
34	泰雲院殿	浜田市三階町中東口 スケールバス停横	1855/安政2年	不明	128
35	泰雲院殿	浜田市三階町東岡 長見6・7町内交差点	1863/文久3年	東ヲカ中	129
36	泰雲院殿	浜田市熱田町 福恩寺	不明	不明	129
37	なし	浜田市内田町 K34沿い 上内田バス停近く	不明	不明	130
38	なし	浜田市内村町 長福寺	不明	不明	130
39	なし	浜田市内村町 K304沿い 元善明寺	不明	不明	131
40	井戸正明卿之像	浜田市田橋町 金口氏墓地	1936/昭和11年	金口伊太郎	131
41	泰雲院殿義岳良忠大居士	浜田市田橋町東中 K304東 往還道広場	不明	不明	132
42	なし	浜田市田橋町 観音バス停南	不明	不明	132
43	なし	浜田市櫛田原町 中櫛田原バス停	不明	不明	133
44	なし	浜田市櫛田原上 串崎氏宅入口道路法面	不明	不明	133
45	なし	浜田市横山町 なるなる会加工場前	不明	不明	134
46	なし	浜田市横山町 西集会所前	不明	不明	134
47	なし	浜田市内田町猪伏 道路沿い	不明	不明	135
48	泰雲院殿墓	浜田市内田町の熱田町、長浜町境の畑	1850/嘉永3年	内田村善太郎	135
49	泰雲院殿	浜市長浜町 大元神社横	不明	不明	136
50	南無弘法大師	浜田市日脚町 デイサー・ビス長寿の里横	1860/万延元年	不明	136
51	泰雲院殿	浜田市日脚町 浜田三中下JR沿い	1950/昭和25年	日脚区中	137
52	なし	浜田市西村町 地蔵堂前	不明	不明	137
53	井戸公頌徳碑	浜田市西村町 陽光台入口 蔵本氏宅横	1962/昭和37年	青 組 中	138
54	なし	浜田市西村町 R9のIC入口交差点北の畑	不明	不明	138
55	なし	浜田市西村町荒磯谷 R9登坂車線	不明	不明	139
56	なし	浜田市西村町荒磯谷 一町内集会所裏	不明	不明	139
57	なし	浜田市西村町荒磯谷 長見氏宅横	不明	不明	140
58	井戸公之碑	浜田市折居町 巖島神社	不明	不明	140
59	泰雲院殿	浜田市旭町後谷入口	不明	不明	141
60	なし	浜田市旭町丸原 元育苗センター前	不明	不明	141
61	泰雲院殿碑	浜田市旭町今市 満福寺	不明	不明	142
62	嘉恵碑	浜田市旭町木田白角 大元神社	1892/明治25年	白角谷中	142
63	泰雲院殿碑	浜田市旭町山ノ内 市道三差路	1892/明治25年	山之内惣連中	143
64	正明君之碑	浜田市旭町木田 旧小学校裏	1901/明治34年	不明	143
65	嘉恵碑	浜田市旭町木田 正蓮寺	1892/明治25年	木田村中	144
66	井戸正明君碑	浜田市旭町戸川 大元神社参道	1916/大正5年	戸 川 中	144
67	井戸正明君碑	浜田市旭町本郷 K50沿い	1889/明治22年	本郷有志者	145
68	泰雲院殿碑	浜田市旭町和田 和田八幡宮参道	1890/明治23年	和 田 中	145

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
69	井戸正明碑	浜田市旭町重富 教員住宅入口	1890/明治23年	重 富 中	146
70	井戸泰雲院	浜田市旭町坂本 徳善寺前三差路	1892/明治25年	不明	146
71	井戸君之碑	浜田市旭町都川 林蔵寺東K5沿い	1891/明治24年	不明	147
72	井戸正明君碑	浜田市旭町岩畳 葛ヶ谷バス停横	1890/明治23年	組内有志者	147
73	泰雲院殿	浜田市旭町来尾 棚田向い	不明	不明	148
74	井戸正明君碑	浜田市旭町越木 浜田道直下	1899/明治32年	越 木 中	148
75	井戸正明君霊	浜田市旭町市木中郡 森迫バス停	1898/明治31年	中郡・宮ノ地講中	149
76	井戸平左エ門	浜田市金城町水上谷 集会所先高手	不明	不明	149
77	なし	浜田市金城町七条 さざんか向い	不明	不明	150
78	なし	浜田市金城町新開 新開集会所	不明	不明	150
79	なし	浜田市金城町若林 R186沿い 蔦屋向い	不明	不明	151
80	泰雲院	浜田市金城町伊木 伊木バス停40m南	1913/大正2年	伊 木 区	151
81	井戸公之碑	浜田市金城町青原 なごみの里横	1915/大正4年	青原區中	152
82	泰雲院	浜田市金城町今田 永徳寺下	1926/大正15年	不明	152
83	泰雲院殿碑	浜田市金城町下来原 吉留 八幡宮前の丘	1904/明治37年	不明	153
84	泰雲院殿碑	浜田市金城町下来原 上組集会所前	1904/明治37年	谷中有志	153
85	泰雲院殿塔	浜田市金城町下来原 金田集会所先400m	1865/慶応元年	金田・吉富・長屋 上組・七町・坂原講中	154
86	なし	浜田市金城町下来原 下長屋集会所裏	不明	不明	154
87	泰雲院殿義岳良忠大居士	浜田市金城町上来原 農村公園	1891/明治24年	神藤兵治	155
88	泰雲院	浜田市金城町今福元谷 辻屋入口	1897/明治30年	山 原	155
89	なし	浜田市金城町今福二夕村 二夕村集会所	不明	不明	156
90	なし	浜田市金城町今福皆合 安楽寺	不明	不明	156
91	なし	浜田市金城町上長屋 JA施設近く十字路下	不明	不明	157
92	井戸正明碑	浜田市金城町上長屋 上長屋集会所南	1892/明治25年	不明	157
93	なし	浜田市金城町小瀬原 温泉入口バス停	不明	不明	158
94	泰雲院殿	浜田市金城町今福 久佐川集会所東	1907/明治40年	久佐川・中倉	158
95	なし	浜田市金城町久佐山根原 K114 T字路	不明	不明	159
96	不明	浜田市金城町小原谷 小原谷集会所向い	不明	不明	159
97	泰雲院殿碑	浜田市金城町美又 美又温泉向い K50沿	1894/明治27年	美 又 組	160
98	なし	浜田市金城町追原 植松集会所	不明	不明	160
99	なし	浜田市金城町入野 岡本氏宅100m先法面	不明	不明	161
100	泰雲院殿碑	浜田市金城町入野 越沢集会所	1891/明治24年	當 谷 中	161
101	泰雲院	浜田市金城町追原 大元坂本谷十字路	1897/明治30年	當 谷 中	162
102	泰雲院殿義岳良忠居士	浜田市金城町追原 福原集会所向い	1897/明治30年	追原原組・大倉谷 平口組・板木谷組	162
103	泰雲院	浜田市金城町追原 大元集会所左上	1897/明治30年	追 原 組	163
104	芋代官碑	浜田市金城町追原 大元美又線無線塔向	不明	不明	163
105	井戸正明之碑	浜田市金城町小国 柚根東 K52から東へ	1893/明治26年	不明	164
106	井戸正明碑	浜田市金城町小国 上徳田 K114沿い	1903/明治36年	上徳田講中	164
107	井戸正明之碑	浜田市金城町小国 徳田下 K52沿い	1898/明治31年	不明	165
108	井戸正明之碑	浜田市金城町小国 最中山神社横	1955/昭和30年	不明	165
109	なし	浜田市金城町小国 R186新小国橋の西	不明	不明	166
110	(家紋)井戸霊位	浜田市金城町波佐 R186沿いまちセン南	不明	不明	166
111	泰雲院殿之墓	浜田市弥栄町安城 畑	1897/明治30年	畑 組 中	167
112	なし	浜田市弥栄町安城 山賀 集会所上150m	不明	不明	167
113	井戸碑	浜田市弥栄町高内 日高集会所	不明	不明	168
114	泰雲院殿義岳良忠大居士	浜田市弥栄町小坂 K179沿い(新碑)	1928/昭和3年	小板郷区中	168
115	不明(114の旧碑)	浜田市弥栄町小坂 K179沿い(旧碑)	不明	不明	169
116	なし	浜田市弥栄町西河内 六地藏横	不明	不明	169
117	泰雲院殿之碑	浜田市弥栄町栃木 金岡集会所向い	1901/明治34年	不明	170
118	泰雲院殿墓	浜田市弥栄町六歩谷 集会所横	1859/安政6年	(世話人名あり)	170
119	井戸正明之碑	浜田市弥栄町門田 六地藏横	1904/明治37年	當 村 中	171
120	井戸正明公之碑	浜田市弥栄町長安本郷 多目的広場上	1910/明治43年	(発起者名あり)	171
121	為泰雲院殿義岳良忠大居士位	浜田市弥栄町福代 道路辻	1897/明治30年	(世話人名等あり)	172
122	井戸公之墓	浜田市弥栄町大坪 ハツラツ事業拠点下	1899/明治32年	不明	172
123	井戸公之墓	浜田市弥栄町安城 小角 興勝寺下	1897/明治30年	両 組 中	173
124	なし	浜田市弥栄町程原下 どんびき橋東道路沿	不明	不明	173
125	泰雲院殿義嶽良忠大居士	浜田市弥栄町程原下 六地藏横	1898/明治31年	(主唱人名あり)	174
126	井戸公墓	浜田市弥栄町安城 横谷 旧道沿い	1897/明治30年	(発起人名あり)	174
127	泰雲院良忠居士	浜田市弥栄町安城 程原上 白供養横	1919/大正8年	不明	175
128	(梵)泰雲院殿墓	浜田市弥栄町杵東西ノ郷 道路沿い	1896/明治29年	不明	175
129	泰雲院殿之碑	浜田市弥栄町杵束 仲三集会所	1899/明治32年	山賀連中	176
130	泰雲院殿碑	浜田市弥栄町杵束 下谷 集会所上	1896/明治29年	(発起人名あり)	176
131	不明	浜田市弥栄町杵束 仲三 道路沿い広場	1897/明治30年	不明	177
132	泰雲院殿之塚	浜田市弥栄町杵束 仲三 林道沿い	1894/明治27年	横川・谷連中	177
133	泰雲院殿之碑	浜田市弥栄町杵束 田野原下	1925/大正14年	(発起人名あり)	178
134	なし	浜田市弥栄町杵束 熊野山集会所横	不明	不明	178
135	梵字1文字	浜田市弥栄町杵束 田野原上	1899/明治32年	(世話人名あり)	179
136	井戸明府	浜田市三隅町今浦 旧道沿い	1931/昭和6年	今 浦 區	179
137	なし	浜田市三隅町東平原上 集会所近く	不明	不明	180

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
138	なし	浜田市三隅町東平原上 中ノ原 柿園内	不明	不明	180
139	なし	浜田市三隅町東平原下 寺田平	不明	不明	181
140	なし	浜田市三隅町東平原下 宮ノ尾 旧里道沿	不明	不明	181
141	(句碑)	浜田市三隅町東平原 地蔵橋たもと	1979/昭和54年	美川句会	182
142	泰雲院殿碑	浜田市三隅町福浦 福浦集会所前	不明	不明	182
143	なし	浜田市三隅町古市場 上古市集会所	不明	不明	183
144	なし	浜田市三隅町古市場中組 山本家墓地	不明	不明	183
145	泰雲院殿	浜田市三隅町古市場 禮光寺	1948/昭和23年	門殿・下古市・古湊青年	184
146	なし	浜田市三隅町松原 川土手	不明	不明	184
147	なし	浜田市三隅町松原 川土手	不明	不明	185
148	井戸明府	浜田市三隅町中山 中山自治会館横	1912/明治45年	不明	185
149	なし	浜田市三隅町岡崎 三保第2水源地裏	不明	不明	186
150	なし	浜田市三隅町小野 洞明寺	不明	不明	186
151	泰雲院殿之碑	浜田市三隅町向野田 良忠寺	不明	不明	187
152	なし	浜田市三隅町下河内集会所	不明	不明	187
153	なし	浜田市三隅町向野田 元神社参道	不明	不明	188
154	不明	浜田市三隅町芦谷本谷 道路沿い	不明	不明	188
155	なし	浜田市三隅町井野諸谷 室谷との間の田	不明	不明	189
156	泰雲院殿碑	浜田市三隅町上今明 西川氏畑	1896/明治29年	上今明・金口組中	189
157	なし	浜田市三隅町下今明 藤ヶ瀬	不明	不明	190
158	なし	浜田市三隅町下今明大井出口 K304沿い	不明	不明	190
159	なし	浜田市三隅町下小原 徳泉寺北200m	不明	不明	191
160	なし	浜田市三隅町芦谷下芦谷 旧里道沿い	不明	不明	191
161	なし	浜田市三隅町上小原 柚ノ木 K304沿い	不明	不明	192
162	なし	浜田市三隅町下小原 大下谷	不明	不明	192
163	井戸正明之碑	浜田市三隅町周布地 周布地集会所上	不明	不明	193
164	なし	浜田市三隅町井野大谷 神事場内	不明	不明	193
165	梵字1文字	浜田市三隅町久根郷 報恩寺	1856/安政3年	當村中	194
166	なし	浜田市三隅町井野下大口 山道沿い	不明	不明	194
167	泰雲院殿之墓	浜田市三隅町上大口	1903/明治36年	上大口若連中	195
168	なし	浜田市三隅町井野上小原 小山	不明	不明	195
169	(梵) 泰雲院殿之碑	浜田市三隅町黒沢的野 六地藏堂	1929/昭和4年	不明	196
170	なし	浜田市三隅町黒沢長尾	不明	不明	196
171	なし	浜田市三隅町黒沢下古和 出合橋近く	不明	不明	197
172	なし	浜田市三隅町矢原 安楽寺参道法面	不明	不明	198
173	なし	浜田市三隅町矢原 松永牧場裏	不明	不明	198

※竹迫町 新正寺の碑は現存しない。

※西村町 荒磯谷 長元氏宅横の碑は山陰道工事の際に消滅した。

※上府町 覚永寺前の碑はS58の河川改修の際に粉碎。覚永寺の地藏堂の礎石になった。

※佐野町 慈雲寺の碑は現地調査の結果、境内には存在しないことを確認。

※三隅町 釜田橋の碑は確認できていない。

益 田 市

1	なし	益田市金山町宇治 六地藏近く	不明	不明	199
2	なし	益田市木部町釜口 旧山陰道鎌手峠	不明	不明	199
3	井戸正朋君頌徳碑	益田市木部町 R9沿い	不明	不明	200
4	泰雲院殿子孫榮	益田市木部町 R9沿い	不明	不明	200
5	泰雲院殿義岳良忠大居士	益田市遠田町井ノ迫 海岸道路	1892/明治25年	十方信者	201
6	(梵) 泰雲院殿義岳良忠居	益田市元町吉田 延命寺 大師堂横	1947/昭和22年	不明	201
7	芋塚	益田市高津町 高津川土手	不明	不明	202
8	井戸正明殿碑	益田市小浜町 明圓寺	不明	(発起者名等あり)	202
9	井戸正明君之碑	益田市 高島 灯台への道沿い	1937/昭和12年	高島婦人會	203
10	なし	益田市美都町小原堀 四つ山城址北登口	不明	不明	203
11	井戸正朋之碑	益田市美都町東仙道 元JA事務所前	不明	不明	204
12	泰雲院殿	益田市美都町丸茂下 大智寺	1909/明治42年	(願主名あり)	205
13	なし	益田市美都町丸茂 明正寺	不明	不明	205
14	泰雲院殿之碑	益田市美都町宇津川 K34沿い 新宮橋近く	1921/大正10年	不明	206
15	泰雲院殿之碑	益田市美都町板井川 神田橋近く	1923/大正12年	不明	206
16	なし	益田市美都町板井川 茶ノ木橋先道路沿い	不明	不明	207
17	南无阿弥陀佛 井戸正明君碑	益田市美都町長橋 祠内	1913/大正2年	河野升太	207
18	井戸平左エ門つか	益田市美都町宇津川横見 ニツ倉との境	不明	(発起人名あり)	208
19	なし	益田市美都町宇津川右田原 仏の峠	不明	不明	208
20	なし	益田市美都町宇津川右田原 中の原	不明	不明	209

津和野町

1	泰雲院殿義岳良忠大居士	津和野町日原 丸立寺	1863/文久3年	不明	210
---	-------------	------------	-----------	----	-----

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
-----	-----	-----	--------------	-------	-----------

邑南町

1	嗟仁公井戸君碑	邑南町日和 上郷 K112沿い	1887/明治20年	(世話人名あり)	211
2	泰雲院殿義岳良忠大居士	邑南町日貫 山之内 K297沿い	1894/明治27年	山之内連中	211
3	井戸正明君碑	邑南町日貫 泊里K7沿い	1892/明治25年	泊里原・川下中	212
4	不明	邑南町日貫 東屋	不明	不明	212
5	井戸正明君	邑南町日貫 東屋横手	1917/大正6年	横手連中	213
6	泰雲院殿義岳良忠居士	邑南町日貫 宝光寺	1895/明治28年	不明	213
7	井戸明君	邑南町日貫 花の木 K295沿い	1890/明治23年	不明	214
8	井戸正明碑	邑南町日貫 福原 K295沿い	1917/大正6年	不明	214
9	井戸君	邑南町日貫 青笹下之段	1918/大正7年	下之谷連中	215
10	井戸君	邑南町日貫 青笹上之段	1917/大正6年	不明	215
11	井戸正明君	邑南町日貫 簾 K7南100m	1892/明治25年	吉原組中	216
12	井戸正明君	邑南町矢上峠ノ原 小掛谷集会所	1898/明治31年	小掛谷中	216
13	井戸正明碑	邑南町矢上峠ノ原 小掛谷K7沿い	1899/明治32年	萩原中	217
14	井戸正明君之碑	邑南町矢上 諏訪神社参道	1921/大正10年	片平松口	217
15	井戸君嘉恵碑	邑南町矢上 諏訪神社拝殿向い	1889/明治22年	當村中	218
16	井戸明府碑	邑南町中野 賀茂神社拝殿左手	1921/大正10年	中野村戸主會	218
17	泰雲院殿大居士石碑	邑南町中野 長円寺山門前	不明	不明	219
18	井戸正朋君碑	邑南町中野掛屋 道路沿い	1928/昭和3年	(世話人名等あり)	219
19	井戸正明君碑	邑南町井原上町 満行寺参道	1892/明治25年	村中	220
20	井戸正明墓	邑南町市木麦尾 集会所	1892/明治25年	麦尾中	221
21	井戸君碑	邑南町上田所中野原 旧道沿い	1911/明治44年	中ノ原・玉田	221
22	井戸君碑	邑南町上亀谷朝原 大歳神社	1897/明治30年	朝原中	222
23	井戸君碑	邑南町出羽 町道沿い	不明	不明	222
24	井戸公頌徳碑	邑南町原村 西福寺	1910/明治43年	和田・原村・上原	223
25	井戸明君碑	邑南町高見 高福寺	1899/明治32年	不明	223
26	井戸正明君	邑南町八色石 龍岩保養館	1918/大正7年	松島松次郎	224
27	井戸正明君碑	邑南町鱒淵馬野原上 集会所裏山	1914/大正3年	馬野原中	224

川本町

1	泰雲院殿義岳良忠大居士	川本町因原 児童公園入口	1887/明治20年	村中	225
2	泰雲院殿	川本町日向 丸谷産業横(新碑)	1912/大正元年	日向区・青年中	225
3	……………士	川本町日向 丸谷産業横(旧碑)	不明	不明	226
4	泰雲院殿碑	川本町中倉 芋殿さん公園	1933/昭和8年	(世話係名あり)	226
5	泰雲院殿	川本町市井原 全長寺下	不明	市井原組中	227
6	井戸君碑	川本町谷 大町氏宅横K31沿い	1897/明治30年	谷組中	227
7	井戸明府頌徳碑	川本町川本 法隆寺	1930/昭和5年	不明	228
8	井戸君之碑	川本町畑野 鶴ヶ城	1898/明治31年	當村中	228
9	井戸明府碑	川本町木路原 元踏切沿い	1914/大正3年	木路原中	229
10	井戸明君碑	川本町久座仁 警察官舎下	1987/昭和62年	川下村有志者	229
11	泰雲院殿義岳良忠大居士	川本町谷戸 小笠原氏宅横	1954/昭和29年	谷戸区中	230
12	井明府之碑	川本町三島 龍源寺	1998/平成10年	三嶋中	230
13	井明府之碑	川本町木谷 木谷石塔横	2003/平成15年	當村中	231
14	泰雲院殿いもどのおさん	川本町尾原 R261沿い	1954/昭和29年	不明	232
15	泰雲院殿義岳良忠居士	川本町木屋原 K32沿い	1852/嘉永5年	木屋原中	232
16	井戸正明之碑	川本町田原 K32沿い	1892/明治25年	當村筑紫原中	233
17	井戸君之碑	川本町三原 南部峠 集会所向い	1900/明治33年	當三原中	233
18	酬鴻澤	川本町田窪中石 K46沿い	1888/明治21年	中石中	234
19	井戸正明碑	川本町田窪堂庭 上石	1886/明治19年	當村上石中	235
20	井戸平左衛門正朋公之碑	川本町南佐木 K32沿い 泉石油向い	1977/昭和52年	南佐木一同	235
21	不明	川本町白地 K32沿い 大田市境	1885/明治18年	當村中	236
22	報遺徳	川本町湯谷上組 真光寺裏	1886/明治19年	湯谷村之上組中	236
23	泰雲院殿義岳良忠居士	川本町北佐木 石川氏宅横	不明	當村中	237
24	報遺勳	川本町湯谷 K187沿い 中原橋たもと	1894/明治27年	湯谷本郷口中	237
25	井戸明府洪徳碑	川本町三俣 八幡宮	1856/安政3年	當村中	238
26	泰雲院殿碑	川本町笹畑 笹遊里入口交差点	1848/嘉永元年	笹畑中	239
27	井戸明□□	川本町材木入口 小川沿い旧道	1848/嘉永元年	材木中	240
28	泰雲院殿義岳良忠居士	川本町馬野原 澤田氏宅下	不明	馬野原區中	240
29	井戸明府紀念碑	川本町川内 下谷氏宅裏山 川内旧道	1888/明治21年	川内村中	241
30	(台石のみ)	川本町半部 高良氏宅裏山	不明	不明	241
31	泰雲院殿義岳良忠居士	川本町多田 三宅氏墓地	不明	不明	242

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
-----	-----	-----	--------------	-------	-----------

美 郷 町

1	井戸正明之碑	美郷町沢谷 K166沿い 千原八幡宮	1887/明治20年	(世話人名等あり)	243
2	井戸明府碑	美郷町浜原 上川戸K166沿い	1892/明治25年	川戸上區中	243
3	井明府之碑	美郷町浜原 新町 桂根八幡宮参道	1893/明治26年	(世話人名等あり)	244
4	泰雲院儀岳良忠大居士	美郷町浜原 滝原地蔵畑 町道山側	1857/安政4年	(世話人名等あり)	244
5	井戸正明君之碑	美郷町浜原 信喜 町道山側	1914/大正3年	信喜區中	245
6	井戸君頌徳碑	美郷町粕淵 高畑土居上 大谷氏宅前	1923/大正12年	在郷軍人会高畑班	245
7	不明	美郷町君谷 志君 神田橋南の丘の上	不明	不明	246
8	泰雲院殿儀岳良忠居士	美郷町君谷 日焼畑 小林入口から100m	1858/安政5年	惣森村中	246
9	泰雲院殿義岳良忠居士	美郷町君谷 小松地 銀山街道	1860/万延元年	小松地村中	247
10	泰雲院殿義岳良忠居士	美郷町君谷 堂ヶ鼻 大田市境K186沿い	1860/安政7年	栢谷村中	247
11	井戸明君碑	美郷町君谷 久喜原 K291沿い岩の上	1924/大正13年	久喜原區	248
12	泰雲院殿儀岳良忠居士	美郷町君谷 久喜原 K291沿い岩の上	1857/安政4年	(願主名あり)	248
13	なし	美郷町君谷 地頭所 K291から橋渡る	不明	不明	249
14	為井戸氏御菩提	美郷町君谷 志君 やなしお坂 中の休	不明	不明	249
15	井戸明府碑	美郷町吾郷 田水 田平氏宅前の道路沿い	1934/昭和9年	(発起人名あり)	250
16	井戸正明君碑	美郷町吾郷 堂山 奥野庵裏山	1917/大正6年	高山区中	250
17	泰雲院殿義岳良忠居士	美郷町吾郷 越堂 旧道三差路小山上	1857/安政4年	當 村 中	251
18	泰雲院殿義岳良忠居士碑	美郷町吾郷 栗原 願泉寺境内	1934/昭和9年	村 中	252
19	井戸明府碑	美郷町吾郷 江戸 町道山側 尾原屋敷内	1926/大正15年	尾 原 氏	252
20	井戸府君碑	美郷町吾郷 団地広場 吾郷集会所前	1886/明治19年	吾郷本郷区	253
21	泰……	美郷町吾郷 堂平 奥山集会所前三差路	1857/安政4年	奥 山 村	253
22	泰雲院殿義岳良忠居士	美郷町大和潮 信喜橋上 齋木砂利工場脇	1861/万延2年	潮 村 中	254
23	井戸正明君之碑	美郷町大和都賀行 町道郷地区三差路	1902/明治35年	(企起人名等あり)	254
24	井戸明府	美郷町大和宮内 元小学校裏 町営住宅前	1922/大正11年	宮 内 中	255
25	泰運殿之碑	美郷町大和都賀本郷 本郷浄水場後	1884/明治17年	都賀本郷村中	255

※美郷町銀山街道を護る会調査のNo.1沢谷九日市員の平の碑は水害で流失し現存しないので掲載しなかった。

出 雲 市

1	泰雲院義岳良忠居士	出雲市多伎町 清龍寺	不明	不明	256
2	井戸明府碑	出雲市湖陵町大池 彌久賀神社	不明	村 中	256
3	泰雲院殿	出雲市湖陵町板津 荒神社後	1873/明治6年	村 内	257
4	泰雲院殿	出雲市湖陵町砂子 砂子会館	1854/嘉永7年	砂 子 中	257
5	泰雲院殿義岳良忠大居士	出雲市湖陵町差海 観音寺向い	2013/平成25年	差海區民一同	258
6	芋代官井戸平左エ門氏祀	出雲市西園町 長浜神社裏山	1960/昭和35年	(世話人名あり)	259
7	井戸神社	出雲市西園町 外園幸神社(境内社)	1999/平成11年	外 園 区	259

松 江 市

1	泰雲院殿	松江市福原町 長慶寺	1840/天保11年	不明	260
2	泰雲院殿	松江市上本庄町川部 元公民館前道路	不明	不明	260
3	泰雲院殿	松江市邑生町 邑生公会堂	不明	不明	261
4	泰雲院殿	松江市手角町 象田寺	1834/天保5年	不明	261
5	泰雲院殿芋元祖	松江市鹿島町御津 観潮寺	不明	若 連 中	262
6	泰雲院殿	松江市美保関町万原 地区学習会館前	不明	不明	262
7	泰雲院殿	松江市美保関町下宇部尾 元正法寺	不明	不明	263
8	泰雲院殿	松江市美保関町森山 萬福寺	1834/天保5年	當 村 中	263
9	泰雲院殿	松江市美保関町福浦 源正寺	1836/天保7年	村 中	264
10	泰雲院殿	松江市美保関町長浜 学習供用施設向い	不明	男鹿・長浜	264
11	泰雲院殿義岳良忠大居士	松江市美保関町海崎 K2沿	不明	不明	265
12	泰雲院	松江市美保関町才浦 集会所前	不明	不明	265
13	泰雲院殿	松江市美保関町軽尾 港入口東側	不明	村 中	266
14	泰雲院殿	松江市美保関町雲津 覚源寺	不明	村 中	266
15	泰雲院殿	松江市美保関町諸喰 明音寺	1838/天保9年	不明	267
16	泰雲院殿	松江市美保関町法田 観音堂	1864/文久4年	不明	267
17	泰雲院殿	松江市美保関町七類 大日堂	不明	不明	268
18	泰雲院殿	松江市美保関町惣津 阿弥陀堂	不明	不明	268
19	泰雲院殿	松江市美保関町笹子 山上 忠魂碑横	1916/大正5年	不明	269
20	泰雲院殿	松江市美保関町片江 長寿寺	1829/文政12年	不明	269
21	泰雲院殿	松江市美保関町菅浦 現種院	1836/天保7年	當 邑 中	270
22	泰雲□□岳良忠大居士	松江市美保関町稻積 稻積橋東	1836/天保7年	(年寄役名等あり)	270
23	泰雲院殿	松江市美保関町北浦 北禅寺	不明	不明	271
24	泰雲院殿義岳良忠大居士	松江市美保関町笠浦 元地藏堂	不明	不明	271
25	泰雲院殿義岳良忠大居士	松江市島根町野井 お堂前	不明	不明	272
26	泰雲院殿	松江市島根町瀬崎 集落上お堂下	1852/嘉永5年	不明	272
27	泰雲院殿	松江市島根町野波 小波地区小広場	不明	不明	273
28	泰雲院殿	松江市島根町多古 多古庵前	1838/天保9年	不明	273
29	泰雲院殿	松江市島根町沖泊 阿弥陀堂横	1838/天保9年	不明	274

No.	碑 銘	場 所	建立年 西暦/和暦	建 立 者	掲載 ページ
30	泰雲院殿	松江市島根町野波 JA裏 交差点	1851/嘉永4年	若 連 中	274
31	泰雲院殿	松江市八束町馬渡 いこいセンター後	1835/天保6年	不明	275
32	泰雲院殿義岳良忠大居士	松江市八束町江島 老人集会所横	不明	不明	275
33	泰雲院殿義岳良忠居士	松江市八束町亀尻 お堂(法福寺)向い	1836/天保7年	(年寄名等あり)	276
34	不明	松江市八束町遅江 お堂(海禅寺)前	不明	不明	276
35	泰雲院殿	松江市八束町寺津 お堂横	不明	不明	277
36	泰雲院殿碑	松江市八束町二子 二松睦会館	2011/平成23年	不明	277
37	泰雲院殿	松江市八束町入江 児童公園	1835/天保6年	組 中	278
38	泰雲院殿	松江市八束町波入 お堂(円通寺)	1835/天保6年	(年寄名等あり)	278

※ 美保関町千酌と島根町楡木の碑は現存しないことを確認した。

知 夫 村

1	井戸平左……	知夫村多沢 お堂裏手	不明	不明	279
2	井戸平左衛門正明□□	知夫村郡 一宮神社参道階段右手	不明	不明	279
3	井戸平左衛門正明灵代	知夫村大江 お堂左手	不明	大江村中	280
4	井戸平左衛門正明霊代	知夫村仁夫 お堂右手	不明	村 中	280
5	泰……	知夫村古海 愛宕神社境内(拝殿左手)	不明	不明	281

西ノ島町

1	泰雲院殿義岳良忠大居士碑	西ノ島町宇賀 県道沿い 倉ノ谷との境	1980/昭和55年	宇賀・倉ノ谷	281
2	(梵)泰雲院殿儀岳良忠居士	西ノ島町物井 大日堂前	不明	不明	282
3	(梵)泰雲院殿義岳良忠大居士□□位	西ノ島町別府 黒木天皇山下	不明	村 中	282
4	(梵)泰雲院殿儀……	西ノ島町美田尻 美田尻堂横	不明	(世話人名あり)	283
5	泰雲院殿義岳良忠大居士	西ノ島町大津 長福寺墓地入口左手	1881/明治14年	村 中	283
6	なし	西ノ島町小向 木村家裏旧道沿い山側	不明	不明	284
7	泰雲院義岳良忠居士	西ノ島町船越 運河沿い道路横	1971/昭和46年	船 越 区	284
8	泰雲□□塚	西ノ島町本郷 専念寺参道右手	1886/明治19年	不明	285
9	甘藷代官之碑	西ノ島町赤之江 共同墓地海側の端	1919/大正8年	不明	285

海 士 町

1	井戸平左エ門正明神霊	海士町豊田入口 県道沿い地藏堂横	不明	不明	286
2	伊藤平左エ門神霊	海士町保々見 清水寺下の池畔	1886/明治19年	當 村 中	286

境 港 市 (鳥取県)

1	真砂神	境港市渡町下 とんど場	1833/天保4年	不明	287
2	泰雲院殿	境港市馬場崎町 光祐寺	1838/天保9年	不明	287
3	泰雲院殿	境港市外江町 補岩寺	1839/天保10年	村 中	288
4	泰雲院殿義岳良忠大居士	境港市財ノ木町 文化会館	1865/慶応元年	不明	288
5	泰雲院殿義岳良忠居士	境港市麦垣町 永井家墓地	不明	不明	289
6	泰雲院殿義岳良忠大居士	境港市麦垣町 麦垣神社	不明	不明	289
7	不明	境港市中野町 村田家墓地	不明	不明	290

米 子 市 (鳥取県)

1	泰雲院展義岳良忠大居士	米子市葭津町 元任宗寺前	1891/明治24年	葭津村中	291
2	泰雲院殿義岳良忠大居士	米子市和田町 雲泉寺	1832/天保3年	村 中	291
3	井戸正明大人碑	米子市富益町 富益神社	1908/明治41年	村 中	292
4	泰雲院殿義岳良忠大居士	米子市夜見町 迎接院	不明	(世話人名あり)	292

鳥 取 市 (鳥取県)

1	泰雲院殿義岳良忠居士	鳥取市青谷町灘町 共同墓地入口	1856/安政3年	(世話人名あり)	293
---	------------	-----------------	-----------	----------	-----

尾 道 市 (広島県)

1	泰雲院殿儀岳良忠大居士	尾道市因島洲江町 正善寺境内	1863/文久3年	當村世話人中	294
---	-------------	----------------	-----------	--------	-----

笠 岡 市 (岡山県)

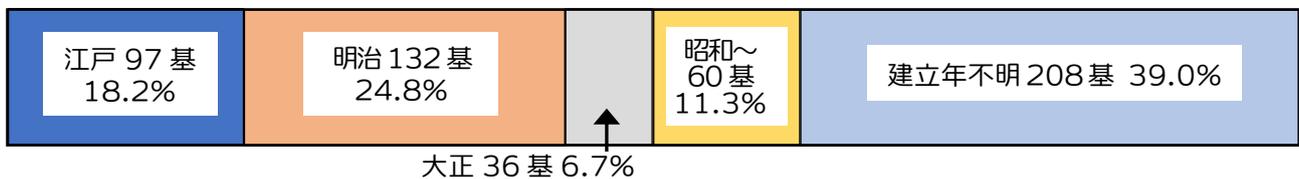
1	泰雲院義岳良忠居士(墓)	笠岡市笠岡町 威徳寺	不明	不明	295
2	井戸明府碑	笠岡市笠岡町 井戸公園	1944/昭和19年	岩瀬 亮	295
3	井戸代官終焉之地	笠岡市笠岡町 笠岡小学校 貫閣講堂前	1952/昭和27年	事蹟保存会	296
4	井戸明府碑	笠岡市カブト南町 道の駅ベイファーム	2011/平成23年	鳴本石材	297

市町村別の分布

地方	市町村	江戸	明治	大正	昭和～	不明	合計	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	160	170
石見	大田市	22	15	7	16	37	97	-3																	
	江津市	21	31	1	9	19	81	+1																	
	浜田市	16	46	7	13	91	173	+35																	
	益田市	0	2	3	2	13	20	+5 (旧浜田58、金城町35、旭町17、弥栄村25、三隅町38)																	
	美郷町	8	6	6	2	3	25																		
	川本町	4	11	2	8	6	31																		
	邑南町	0	15	8	1	3	27																		
	津和野町	1	0	0	0	0	1																		
出雲	出雲市	1	1	0	3	2	7																		
	松江市	17	0	1	1	19	38	+3																	
隠岐	海士町	0	1	0	0	1	2																		
	西ノ島町	0	2	1	2	4	9																		
	知夫村	0	0	0	0	5	5																		
鳥取	米子市	1	2	0	0	1	4																		
	境港市	4	0	0	0	3	7																		
	鳥取市	1	0	0	0	0	1																		
広島県	生口島	1	0	0	0	0	1																		
岡山県	笠岡市	0	0	0	3	1	4																		
合計		97	132	36	60	208	533	(飯南町-1)																	

グラフ右の数字は、令和2年度に石見銀山基金調査を始める前の数との比較（計+40基）

建立年代の分布



建立年代の構成比は上記のとおりとなる。最古の碑は江津市No.14 松川町太田で文化4年（1807）。井戸公没後74年後だ。次いで同No.10 浅利町椽で文化7年、3番目が同No.06 後地町波来浜で文化9年、そして同No.15 松川町上河戸（文化15年）、同No.26 江津町と続き、ここまではすべて江津市で、6番目にやっとなり大田市No.16 波根町（文政3年/1820）となる。ただ、これはあくまでも建立年が分かるもののうち、であって、208基もある「建立年不明」の中にもっと古いものがあるのかもしれない。

逆に、新しいものは江津市No.34 嘉久志町の令和元年（2019）、次いで出雲市No.5 湖陵町差海の平成25年（2013）となるが、平成以降ではほとんどが再建になるので、新設で最も新しいのは笠岡市No.4 カブト南町の道の駅ベイファームの碑（平成23年/2011）となる。

サツマイモを主食代わりに食べるということがなくなって久しく、今後井戸公碑の再建は難しくなっていくと思われるが、そんな中でも今でも各地で再建、新設されているのは意義深いことだ。

石碑の高さの分布

石碑の高さは、碑石だけの高さでは最も高いものが笠岡市No.2 笠岡町の井戸公園の351㌘が唯一3㌘を超す大きさで、最も低いものは益田市No.4 木部町の「泰雲院殿子孫榮」で28㌘。ただこれは隣のNo.3の碑と親子碑になっているので、単独の碑として最も低いのは浜田市No.6 久代町荒相の40㌘となる。この碑はたまたま浜田市で最も古く、天保3年（1832）建立の碑だ。

総高さで最も高いのはやはり笠岡市No.2 笠岡町の井戸公園の508㌘。これは本当に大きい。この冊子の表紙でも紹介しているが、現地で見るとかなりの迫力だ。次いで江津市No.1 黒松町（423㌘）、大田市No.71 温泉津町巖島神社（422㌘）と続く。最も低いのはやはり浜田市No.6 久代町荒相の58㌘である。

石碑の型による分布

頌徳碑には石を四角柱に加工した墓石型と、自然石をそのまま（または碑文面のみを加工したもの）使った自然石型がある。井戸神社のような建物、祠、立像などを除く 524 基を比較すると、墓石型が 151 基（28.8%）、自然石型が 373 基（71.2%）と自然石型が圧倒的に多く、墓石型が過半数を占めるのは大田市（52.2%）、江津市（51.9%）などで、地域性がある。

碑銘の種類による分布



碑銘には姓名の一部を彫った「井戸系」、法名の泰雲院義岳良忠居士からとった「泰雲院系」、それ以外の「嘉恵碑」「寿真碑」などの 3 種類がある。碑銘がないものもかなりあるので、この 3 種類の合計から比率を出すと、井戸系が 40.3%、泰雲院系が 54.5%と、泰雲院系が過半数を占める。

「井戸系」が多いのは邑南町（23 基 85.2%）、美郷町（13 基 52.0%）大田市（46 基 47.9%）。興味深いのは隠岐島前で知夫村は 5 基中 4 基、海士町は 2 基全部が井戸系なのに対して、その間にある西ノ島町は 9 基中 7 基が泰雲院系である。西ノ島町の残り 2 基は「甘薯代官」「なし」なのでほぼ 100%が泰雲院系となっている。

「泰雲院系」の中には、「泰雲院」の後に「殿」、「居士」の前に「大」を加えたものも多い。

地元の皆さんのお力なしには完了しなかった現地調査

現地調査は、基本的に過去に 465 基を踏査された、大田市川合町の宮本豊さんの資料にそって進めた。宮本資料には大まかな住所と簡単な手書きの付近見取り図があり、それで碑が見つかることもあったが、たどりつけないケースも多かった。

そんなときに大きな力になったのは、令和 2 年度の郵便による照会調査だった。回答の中には現地に行って調査した結果を、写真や地図付きで回答していただいたものもあったので、その結果を元に、遠慮なしに教育委員会や公民館等、個人を訪ねて、碑の場所を教えていただいた。そういう市町村では、井戸公碑が身近な存在であることが多く、市町村誌に記述があったり、江津市の「石見湯」、川本町の「芋殿さんの碑」のように、市町村内の井戸公碑をまとめた資料がある市町村もあって、それを糸口各施設を訪ねると次々に広がっていったこともあった。

教育委員会と公民館等にはずいぶん助けていただいた。そこで分からない場合でも、詳しい方を紹介していただいて、その方に教えていただいたり、同行していただくこともあった。そういう皆さんの力がなければ、たった 2 年間で約 400 基の調査ができなかったと思うし、土地勘のない場所でもいただいたご親切は身に沁みてありがたかった。改めて皆さんに心から感謝したい。

533 基の調査をまとめることができたのは、お力を貸していただいた皆さんとの協働作業だったのだと、いまつくづく思い出している。
(大田市文化協会 井戸公碑調査団)

【現地調査の参考にさせていただいた資料】「井戸公碑巡拝」宮本豊（昭和 50 年～平成 18 年）／「井戸平左衛門正明公頌徳碑大田市内分布マップ」大田ロータリークラブ（平成 24 年）／「大田碑石散歩」三谷晃（昭和 52 年）／「芋代官頌徳碑調査資料」黒河邦之（昭和 57 年）／「石見湯第 7 号」江津市文化財研究会（昭和 56 年）／「桜江の碑と野の仏」桜江碑を探る会（平成 12 年）／「那賀・浜田の泰雲院殿碑を巡拝して」河田竹夫（昭和 59-61 年）浜田市文化財愛護会「亀山」誌第 11-13 号に連載）／「芋殿さんの碑」川本町歴史研究会（平成 2 年）／「美郷町内井戸平左衛門正明公頌徳碑資料集」美郷町銀山街道を護る会（平成 24 年）／「芋地藏さん拝観MAP」浜田市弥栄支所産業課（平成 23 年）／「美保関町の芋地藏さん」美保関町永田公夫（令和 2 年）ほか

【大田市01】大田市大田町加土 法蔵寺 井戸明府之碑

所在地 大田市大田町加土 法蔵寺本堂左

北緯35° 11' 40.06" / 東経132° 30' 53.14"

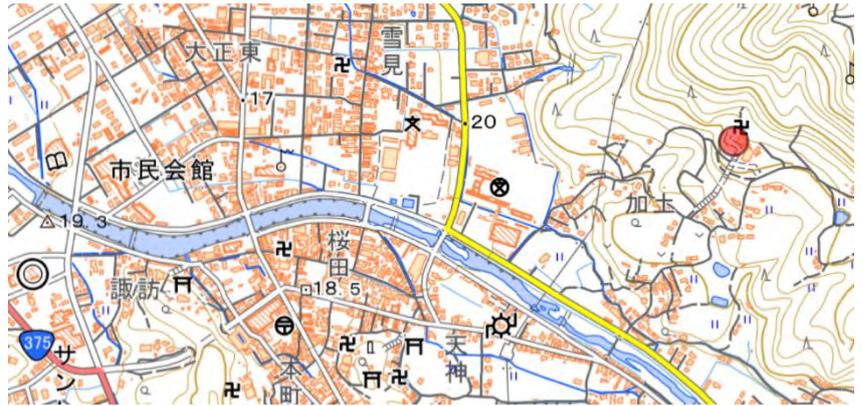


(調査日2020年11月26日)

「調査の経過」
 碑石は表面が粗く、やせていること
 ともあつて「井戸明府之碑」以外の
 の文字は読めなくなっている。表
 記は「大田碑石散歩」(三谷晃/
 昭和52年)を転記した。不安定
 に見えるが、2018年の島根県
 西部地震でも無事だった。

【建立年】昭和3年(1928)
 【建立者】加土区民一同
 【碑石前面】井戸明府之碑(右に)
 日城謹書(左に)加土区民一同
 【碑石右面】昭和三年十月十五日
 【碑石左面】日城代/西本豊蔵/
 有藤東蔵/山本平吉/松本勘
 造/□□□□
 【碑石裏面】□□/七十一老/世
 はかわり/□□□れ中の□□
 り/は□□□/きみのみ□□
 □/□□しかわらじ
 【台石】文字なし

(単位: cm)
 碑石 高さ113/幅42/奥行33
 台石1段目
 高さ47/幅86/奥行65
 台石2段目(石組)
 高さ110/幅140/奥行135



【大田市02】大田市大田町宮島 大願寺 井戸正明碑

所在地 大田市大田町宮島 大願寺山門前

北緯35° 11' 22.65" / 東経132° 30' 19.35"



(調査日2020年11月26日)

「調査の経過」
 大田町の本通りの1本西側の
 道路沿いに4寺院が並んでい
 るが、北から2番目が大願寺。
 碑は石段を上がつた右手に立
 つ。碑石は卵型の自然石。前の
 植木が大きくなくなってきたので
 真正面からは見えないが、碑石
 の表面も裏面も文字ははつき
 りと読める。碑銘は「正明」で
 なくどちらかという少数派
 の「正朋」を採用している。

【建立年】明治28年(1895)
 【建立者】世話人中
 【碑石前面】井戸正朋碑
 【碑石後面】(右下)小谷梅吉/外
 世話人中(中央)享保十八丑年
 五月二十六日/當山十四世嚴
 誉代/明治廿八年十一月
 【台石】文字なし

(単位: cm)
 碑石 高さ116/幅83/奥行53
 台石1段目
 高さ30/幅120/奥行95
 台石2段目
 高さ27/幅153/奥行136



【大田市03】大田市大田町蛭子 明善寺 井戸正朋公碑

所在地 大田市大田町蛭子 明善寺車参道右手

北緯35° 11' 20.71" / 東経132° 30' 22.11"



(調査日2020年11月26日)

この碑は、門信徒の皆さんが、「昔は芋法事があったが、戦後は営む寺も少なくなつた。せめて石碑でも建てよう」と提案されて実現したという。巨石といつてもいいほどの大きな石碑だ。

【建立年】昭和30年(1955)
 【建立者】世話人
 【碑石前面】井戸正朋公碑／勸学源哲勝書⑩⑪
 【碑石後面】昭和廿年五月世話人建之／竹葉昇平／岩倉富造／熊谷誠之助／深田勘助
 【台石】文字なし
 【調査の経過】大願寺から約130以南にある明善寺。車の参道のカーブの外側を庭のように整備して、真ん中に井戸公碑を配置。



(単位：cm)
 碑石 高さ195/幅105/奥行47
 台石1段目 高さ54/幅146/奥行99
 台石2段目 高さ32/幅297/奥行150

【大田市04】大田市川合町鶴府 湯川氏宅横 井明府追念

所在地 大田市川合町鶴府 湯川氏宅南側の丘の上 地藏堂の隣

北緯35° 07' 31.92" / 東経132° 32' 30.10"

(調査日2020年4月17日)

地域の皆さんが思っているように見える。

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井明府追念
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】硬そうにない自然石だが、環境がいいのか、剥落などはない。大邑農道の東側、湯川氏宅の南側の丘の上にある。細い歩道は草刈りされており、その奥のちよつとした広場に地藏とともに建てられている。昔は人の行き来があっただろうが、今は広場の奥は行き止まりになっているようなので、井戸公碑と地藏にお参りするためだけのために手入れがされているのだろう。碑の前には線香立てと花立てがあった。



(単位：cm)
 碑石 高さ124/幅80/奥行28
 台石1段目 高さ27/幅130/奥行85
 台石2段目 高さ28/幅150/奥行139



【大田市05】大田市川合町南 浄教寺 井戸明府記念碑

所在地 大田市川合町南 浄教寺境内（物部神社近く、川合保育園前）

北緯35° 09' 11.53" / 東経132° 30' 46.62"

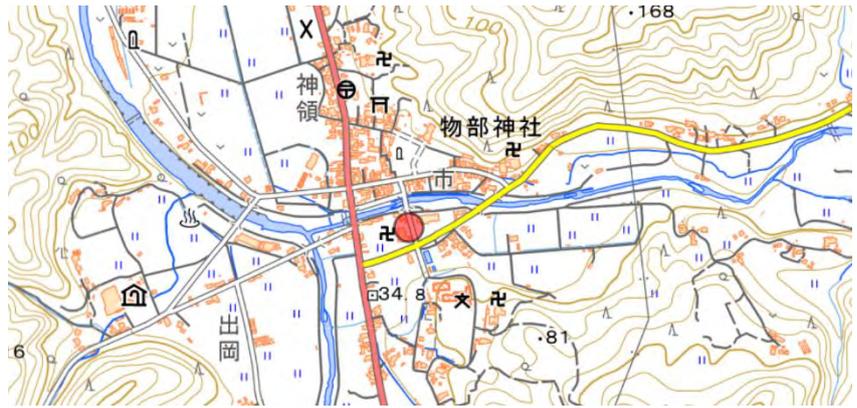


（調査日2020年11月25日）

「調査の経過」
「紀」の文字を使った「記念碑」は珍しい。福光石だが傷みは少なくきれいに残っている。台石の文字も読みやすい。約10年前に有志が修理されたという。

【建立年】明治20年（1887）
【建立者】川合村
【碑石前面】井戸明府記念碑
【碑石右面】明治二十年十一月建之「一段目台石前面」川合村「二段目台石前面」世話人／岩谷勝吉／原田吉十郎／三浦幾太郎／祭田柳七「三段目台石前面」岩崎盛郎／三ツ田政七／岡本啓市／松本只八／那須喜八／坂本惣十／松井文四郎／右田儀七／森脇善助／松本亀市／松本彌市／藤本米作

碑石 高さ155/幅61/奥行33
台石1段目（猫足）
高さ37/幅95/奥行64
台石2段目
高さ33/幅125/奥行95
台石3段目
高さ37/幅158/奥行127
台石4段目
高さ12/幅181/奥行150



【大田市06】大田市川合町吉永下 建功寺 無縁墓地 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市川合町吉永下 建功寺 無縁墓地

北緯35° 10' 22.49" / 東経132° 30' 34.00"

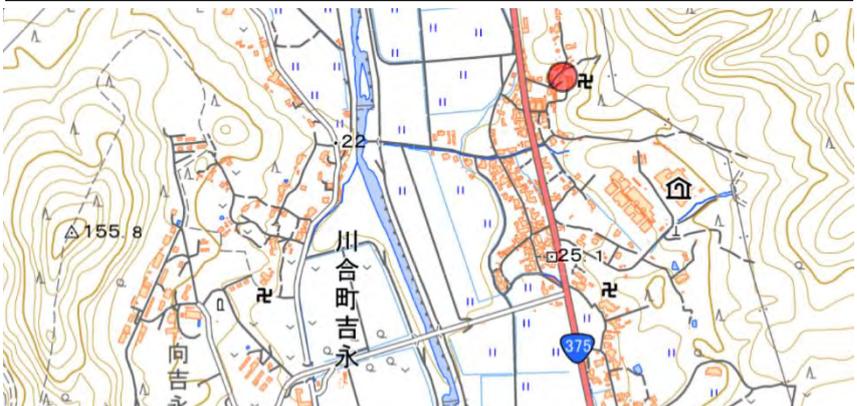


（調査日2020年11月25日）

【建立年】明治22年（1889）
【建立者】不明
【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士（宮本調査）
【碑石右面】当山十三世黒牛代
【碑石左面】明治廿二年五月
【調査の経過】
碑が傷んだため、台石を埋めて碑石だけが無縁墓地に残した。碑石前面の文字は今では全く読めないが、宮本調査を生かした。碑の幅が40センチあるので、当初は台石を含めると比較的大きい方だったと思われる。「今のうちに井戸公碑を訪ねて写真に残しておかなくてはなくなってしまう」と宮本氏が決意されたように、この碑のように崩れてしまう井戸公碑が今後次第に増えていくだろう。

（単位：cm）
碑石 高さ99/幅40/奥行22

宮本豊氏の自宅近くにあり、氏が井戸公碑調査を始めるきっかけとなった碑。無縁墓地の奥のほぼ中央、五輪塔の隣に安置されている。



【大田市07】大田市三瓶町池田野畑 なし

所在地 大田市三瓶町池田野畑（野畑のソリガ市の西、字ジャガ市地内の野畑～楨原への旧道（赤道）北緯35°08'37.42" / 東経132°33'23.13"



全体像のコラージュ



斜面下に倒れた碑石

（調査日2019年3月26日）

人が行き来していたと思われる。現在は山の中だが、以前は碑の下に道があり、

隣にあった地蔵本体はどなたかがほかの場所に移動したのかもしれない。

現在山の中だが、以前は碑の下に道があり、人が行き来していたと思われる。現在は山の中だが、以前は碑の下に道があり、

調査で確認した。中村氏の調査票には「伐採木搬出の際、架線の振動により倒伏した」とある。コラージュを作成してみると、中村氏の復元想定図とほぼ同様の写真になった。

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石・台石全面】刻字の全くない自然石
【調査の経過】三瓶町池田の中村和平氏の調査で、場所と、碑石が倒れていることが判明しており、現地調査で確認した。



碑石 高さ93/幅48/奥行20
台石1段目 高さ20/幅53/奥行33
台石2段目 高さ9/幅78/奥行不明

【大田市08】大田市三瓶町小屋原 徳善寺向い 井明府追念

所在地 大田市三瓶町小屋原 徳善寺向い
北緯35°09'16.56" / 東経132°35'36.49"



（調査日2020年4月17日）

【調査の経過】石に傷みはなく、台石の文字も読める。「井明府追念」という碑銘も珍しい（No.04にあり）。

【同左面】石工/墨田惣市/吉志久市/森次持市/松尾米市/多根村/林喜作/大谷亀五郎/森山為助【同右面】村中寄附/一金五十銭/熊谷吉二郎/一金五十銭/月森傳十

【建立年】明治22年（1889）
【建立者】（世話人名等あり）
【碑石前面】井明府追念
【碑石右面】明治廿二年
【碑石左面】己牛十一月五日是調一段目台石前面 世話人/和田森太郎/田中武七/松本円四郎/吉志友四郎/太田文太郎/山下竹市/住田長市/平井兼太郎/松尾與市/岩田亀吉



（単位：cm）
碑石 高さ128/幅37/奥行27
台石1段目 高さ23/幅64/奥行55
台石2段目 高さ29/幅98/奥行88
台石3段目 高さ13/幅137/奥行141

【大田市09】大田市三瓶町志学東上山 専勝寺 井戸正明公碑

所在地 大田市三瓶町志学東上山 専勝寺参道入口

北緯35° 06' 20.00" / 東経132° 39' 25.64"



【建立年】昭和6年（1931）
 【建立者】佐比賣村青年団上山支部
 【碑石前面】井戸正明公碑
 【同右面下部】大田町石工／政所要二郎
 【同左面下部】当山十五世住職敬書
 【同後面】昭和六年七月／佐比賣村青年団／上山支部
 【台石】なし
 【調査の経過】
 専勝寺の参道入口左手にある。調査の日は4月17日だったが、碑の後ろの桜が満開で、山門、本堂をバックに、美しい風景だった。自然石だが、正面以外の文字は読みにくくなっていた。軟らかい石なのかもしれない。台石も角から傷んできている。
 （調査日2020年4月17日）



(単位: cm)
 碑石 高さ136/幅75/奥行50
 台石1段目
 高さ38/幅106/奥行89
 台石2段目
 高さ41/幅140/奥行125

【大田市10】大田市三瓶町多根 宝陀寺 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市三瓶町多根 宝陀寺参道入口

北緯35° 10' 15.61" / 東経132° 35' 55.70"



【建立年】不明
 【建立者】多根中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【一段目台石前面】多根中
 【同右面】發起／寶陀寺／西善寺／森山覚五郎／林藤十郎
 【調査の経過】
 寺に入る左手に1段高い場所を作り、一畑薬師の碑などとも立っている。前から見ると、すらりとした三角形の碑石の形が珍しい。茶色っぽい石で、堅い素材のように見え、傷みはない。台石の文字もはっきり読める。建立年がないのが惜しい。参道に入ってすぐの場所にあるこの碑に手を合わせた後、寺に参っていた村人の姿が想像できる。
 （調査日2020年11月25日）



碑石 高さ165/幅70/奥行27
 台石1段目
 高さ18/幅76/奥行49
 台石2段目
 高さ24/幅99/奥行73
 台石3段目
 高さ20/幅126/奥行105

【大田市11】大田市三瓶町野城 円城寺下 **井戸明府碑**

所在地 大田市三瓶町野城 円城寺下 三瓶ダム近くから円城寺に上がる道路沿い
北緯35°10'25.96" / 東経132°34'08.46"



【建立年】明治18年(1885)
【建立者】不明
【碑石前面】井戸明府碑
ほかに文字は読めない(建立年は宮本調査による)
【調査の経過】
宮本調査によると三瓶町野城の香勝寺にあったということだが、石碑の表記、大きさが同じことから、三瓶ダムの建設に伴って廃寺となった同寺から移設されたと思われる。現在の場所は県道から円城寺に上がる道の途中の右カーブの外側に平地を作り、「壱石翁石の標」などととも、比較的きれいに手入れされた状態で立っている。香勝寺の碑には3段の台石があったが、現在は1段目の下石に石組の台石が組まれている。
(調査日2020年11月25日)



(単位: cm)
碑石 高さ91/幅57/奥行33
台石1段目
高さ14/幅64/奥行67
台石2段目(石組)
高さ86/幅155/奥行157

【大田市12】大田市富山町高原 松林寺 **芋代官頌徳碑**

所在地 大田市富山町山中高原 松林寺参道入口(県道から参道に入っすぐ右手)
北緯35°12'54.46" / 東経132°34'16.15"



【建立年】昭和48年(1973)
再建
【建立者】富山町内中
【碑石前面】芋代官頌徳碑(左に)
昭和四十八年春再建 松林寺十六世珠禅書
【碑石右面】碑石寄附者 島林金作/設計施工 林和吉/賛助 富山町内中
【そのほか】文字なし
【調査の経過】県道から松林寺までの、直線で長い坂道の参道に入っすぐの場所にあるため県道からよく目立っている。非常に硬い、表面を鏡面状に加工した自然石。
再建にあたり、珠禅住職は「芋代官井戸平左衛門正明略伝」を著している。
(調査日2020年4月17日
撮影は2014年9月7日)



(単位: cm)
碑石 高さ119/幅65/奥行41
台石1段目
高さ27/幅125/奥行63
台石2段目(石組)
高さ98/幅190/奥行110

【大田市13】大田市富山町本郷 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市富山町山中本郷 道路沿い地藏堂隣

北緯35°12'30.87" / 東経132°34'51.74"



【建立年】弘化4年(1847)
 【建立者】村中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】皆享保十八丑年五月二十六日
 【碑石左面】井戸平左衛門尉正明
 【一段目台石正面】村中
 【同右面】石工林蔵／弘化／四年／未八月
 【調査の経過】
 道路沿い山手の1段高いところに地藏堂があり、その隣に立つ。周囲はきれいに手が入っている。そう硬そうにない自然石で170年経っているが、傷みはなく、すわりと立っている。気象条件がよかったのか。1段目台石の中央に大きな文字で明瞭に「村中」と彫ってある。
 (調査日2020年4月17日)



(単位: cm)
 碑石 高さ131/幅40/奥行45
 台石1段目 高さ33/幅71/奥行75
 台石2段目 高さ36/幅110/奥行80

【大田市14】大田市朝山町朝倉 朝倉彦命神社 泰雲院義岳良忠居士

所在地 大田市朝山町朝倉 朝倉彦命神社境内 本殿左手

北緯35°14'56.14" / 東経132°33'54.06"



【建立年】不明
 【建立者】當村中合等
 【碑石前面】泰雲院義岳良忠居士
 【碑石右面】維時 享保十八癸丑年／五月二十有六日
 【碑石左面】井戸恩謝碑
 【碑石後面】なし
 【一段目台石】當村中合等
 【調査の経過】
 石碑のすぐ後ろは国道9号で車の行き来もあるが、境内は静寂に包まれている。本殿左手にほかの碑石と並んで立つ。福光石だが剥落もない。ただし、2018年の島根県西部地震で碑石と台石の1段目が約20度回転した。
 「當村中」の文字が多い中、「當村中合等」と「みんなひとしく」の文字が誇らしい。
 (調査日2020年4月18日
 撮影は2011年2月8日)



碑石 高さ80/幅34/奥行34
 台石1段目 高さ36/幅59/奥行60
 台石2段目 高さ27/幅77/奥行77
 台石3段目 高さ24/幅95/奥行95
 台石4段目 高さ28/幅111/奥行110

【大田市15】大田市朝山町仙山 元花雪温泉横 井明府恩澤碑

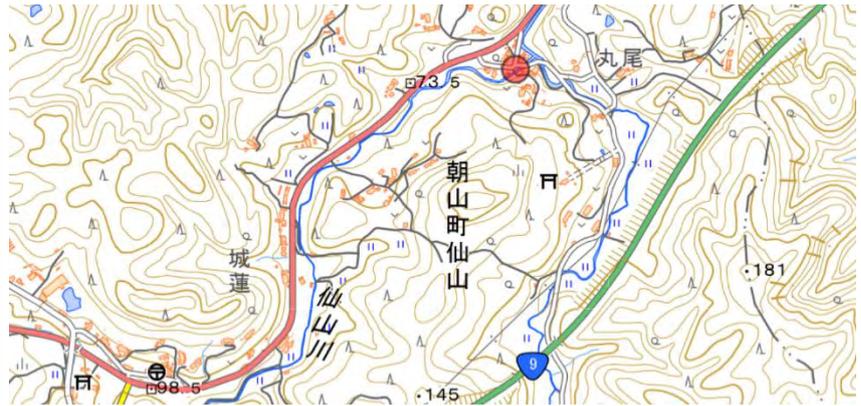
所在地 大田市朝山町仙山 元花雪温泉横 市道5差路交差点

北緯35°15'17.42" / 東経132°34'31.02"



〔建立年〕安政4年(1857)
 〔建立者〕村中合等
 〔碑石前面〕井明府恩澤碑
 〔碑石右面〕皆安政四丁巳年/七月廿六日
 〔碑石左面〕なし
 〔一段目台石前面〕村中合等
 〔調査の経過〕
 国道9号から少し入った市道の5差路の交差点に別の石碑と並んで立っている。近所の人に聞くと、元は別の場所にあったようだ。一番下の台石は半ば埋まっているが、台石を5段も積んだ立派な碑だ。この碑にも「村中合等」とあるので、朝倉の碑と前後して建てられたと思われる。
 色が黒ずんでいてわかりにくいのが福光石のような石で、少し剥落もある。
 (調査日2020年4月18日)

碑石 高さ83/幅33/奥行24
 台石1段目
 高さ24/幅56/奥行46
 台石2段目
 高さ25/幅82/奥行72
 台石3段目(石組)
 高さ28/幅107/奥行99
 台石4段目(石組)
 高さ28/幅130/奥行128
 台石5段目(石組)
 高さ15/幅170/奥行155



【大田市16】大田市波根町上町 波根八幡宮 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市波根町上町 波根八幡宮境内(拝殿右)

北緯35°14'34.71" / 東経132°32'04.31"



〔建立年〕文政3年(1820)
 (別資料による)
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士
 〔碑石右面〕當御料前御代官/井戸平左門尉正□
 〔碑石左面〕享保十八癸丑年/五月二十六日
 〔台石〕二段目の右側中央の石に「施主當」の文字あり
 〔調査の経過〕
 元は拝殿左側の高手で目立たない場所にあったが、2018年4月の島根県西部地震で倒れたため、地元で再建実行委を組織して浄財を集め、同神社の壺倉薫官司の配慮もあって、拝殿の右側の境内社をまとめたコンクリート製の台の上に移築された。
 (調査日2020年5月24日)

(単位: cm)
 碑石 高さ143/幅45/奥行44
 台石1段目
 高さ37/幅73/奥行72
 台石2段目
 高さ32/幅119/奥行118



【大田市 16】大田市波根町上町 波根八幡宮 泰雲院殿義岳良忠大居士 続き

建立年は波根町の加藤家に伝わる「観聴随筆」によるもので、碑にその文字はない。文政3年(1820)建立は大田市内では最古となる。碑の左に設置された説明板(写真下)の内容は右のとおり。



井戸平左衛門正明公謝恩碑

井戸平左衛門正明公は、享保16年(1731)石見銀山御料の第19代代官に任命された。60歳の高齢で、その上病気がちであった。

翌17年、近畿以西一帯は長雨や冷夏、害虫の発生にみまわれ、大飢饉となった。井戸公は御料内を踏査して現況の把握に努め、年貢米の減免、飢えた領民への飯米の支給、さらには薩摩国からサツマイモを取り寄せ栽培に成功させた。西日本では1万2千人以上の餓死者があったが、銀山御料からは飢えによる死者を一人も出さなかったといわれる。

享保18年(1733)5月、兼任していた笠岡の代官所で病に倒れ、帰らぬ人となった。享年62歳。墓は笠岡市の威徳寺にある。在任期間はわずか2年弱だったが、その功績は大きく、今も「いも代官」として語り継がれている。

この碑は元々波根中町の旧荒神社境内(大丸屋の裏付近)に、村民の浄財を集めて文政3年(1820)に建てられた。その後、明治末年に波根八幡宮拝殿の西側に移されたが、平成30年4月9日の島根県西部地震により倒壊し、この地に移転再建された。

平成30年(2018)12月

井戸公碑再建実行委員会

【大田市 17】大田市久手町宮の前 荻田神社 井戸明府

所在地 大田市久手町宮の前 荻田神社境内(拝殿の下の段)

北緯35°14'02.03" / 東経132°30'31.49"



(単位: cm)
石宮 高さ150/幅106/奥行92
台石(石組)
高さ110/幅168/奥行194

【建立年】平成14年(2002)修復
【建立者】不明
【石宮】なし
【台石】後面に「平成14年11月吉日修復」とある
【石柱】石宮の前に立つ石柱に「井戸明府」の文字あり
【調査の経過】石で造られ、台石は城積み of 立派な石宮。柳瀬の石宮(No.19)と兄弟のような関係なのだろう。ここでは7月25日の夜に祭りが営まれる。祭りの日程が寺院で営まれる芋法事のように秋ではなく、7月になった経緯はわからないが、すぐ近くの柳瀬でも営まれており、今なお続けられているのは貴重だ。
(調査日2020年5月24日)



【大田市18】大田市久手町寺前 観音寺 泰雲院殿義岳良忠居士

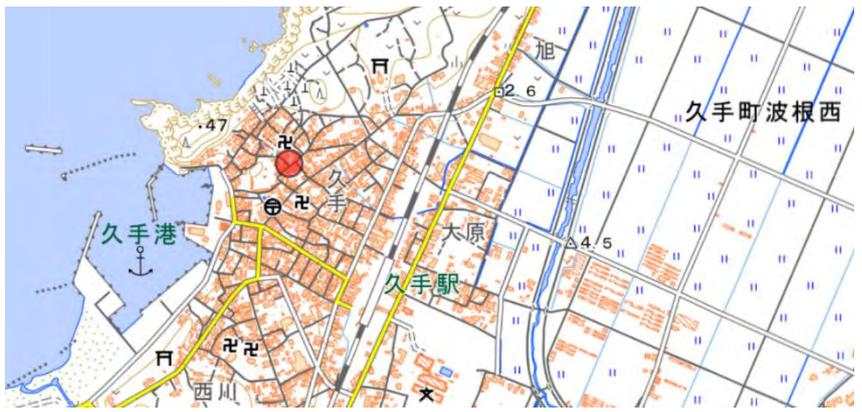
所在地 大田市久手町寺前 観音寺境内

北緯35° 13' 56.57" / 東経132° 30' 23.06"



碑石 高さ121/幅37/奥行37
 台石1段目
 高さ25/幅60/奥行61
 台石2段目
 高さ24/幅91/奥行92
 台石3段目(石組)
 高さ77/幅130/奥行130

【建立年】不明
 【建立者】久手/柳瀬/大津
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八子五月廿六日/造主/久手/柳瀬/大津
 【碑石左面】世名/井戸平左衛門尉正明公塚
 【台石】なし
 【調査の経過】
 久手町の中心街にある観音寺の境内、本堂と向い合う形で百体地藏の右側に立っている。碑は3段の台石を積み、一番下は3段の石組の立派なもの。石の傷みも少ない。「造主」「世名」など他では見られない言葉も彫られている。享保18年は丑年だが「子」と間違っている。2段目の台石に盃状穴がある。
 (調査日2020年5月24日)



【大田市19】大田市久手町柳瀬 井戸明府霊

所在地 大田市久手町柳瀬 県道波根久手線とJR山陰線との間の広場 河元寺墓地向い

北緯35° 14' 18.06" / 東経132° 31' 16.37"



(単位: cm)
 石宮 高さ113/幅89/奥行93
 台石
 高さ56/幅233/奥行102

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【石宮】なし
 【台石】なし
 【石柱】石宮の左側に倒れている石柱に「井戸明府霊」の文字
 【調査の経過】
 コンクリート製だが、荻田神社の石宮とよく似ている。石宮の左右には細い脇宮のようなものが立っていたが、2018年の県西部地震で倒壊したのだから、屋根だけが残っている。石宮の前には2対の石灯籠と大きめの1対の狛犬が並び、聖域の雰囲気醸している。ここでは地域の皆さんが集まって、毎年7月26日の夜に、荻田神社の宮司を招いて祭礼がにぎやかに営まれる。
 (調査日2020年5月24日)



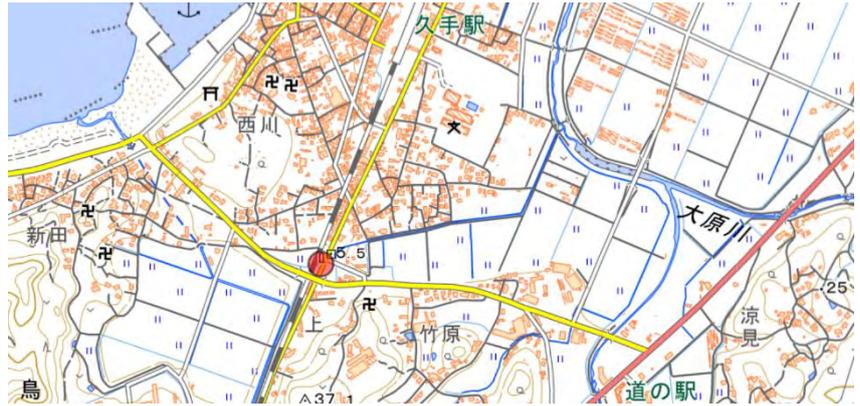
【大田市20】大田市久手町西川 県道三差路 **井戸明府之碑**

所在地 大田市久手町刺鹿西川 県道三差路 JR線路沿い

北緯35° 13' 29.48" / 東経132° 30' 22.57"



【建立年】明治39年（1906）
 【建立者】七老人
 【碑石前面】井戸明府之碑
 【台石前面】明治/三十/九年/八月/建之/發起/七老人/石工磯八
 【調査の経過】
 隣の歌碑とともに「井戸さんを見守る会」が公園として整備し、石灯籠1対と、擬木のテーブルと椅子を設置。横に植えられた桜は直径90センチを超えており、満開時には2つの碑が桜の花に抱かれる。別の資料から、7老人は岩谷竹三郎（定屋）、中村和十郎（工屋）、森井和七（吉野屋）、品川利兵衛（品川）、中村常四郎（竹中屋）、渡邊茂十（釜屋）、渡邊龜作（吉本屋）とわかっている。
 （調査日2020年11月25日）



(単位：cm)
 碑石 高さ207/幅102/奥行70
 台石 高さ42/幅165/奥行110

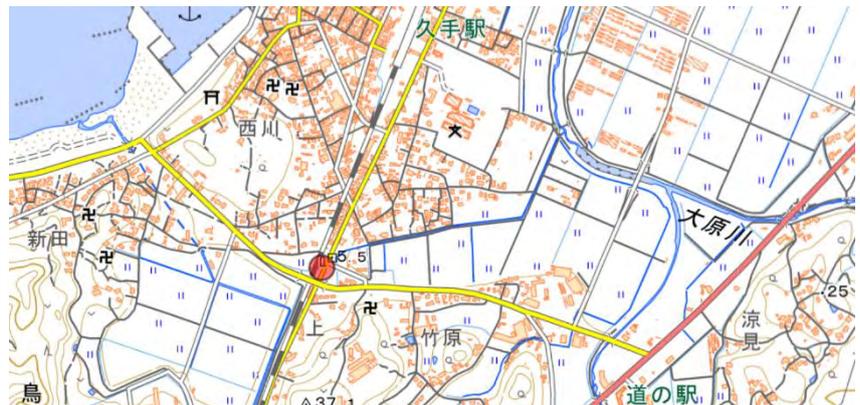
【大田市21】大田市久手町西川 県道三差路 **井戸公追善（歌碑）**

所在地 大田市久手町刺鹿西川 県道三差路 JR線路沿い

北緯35° 13' 29.48" / 東経132° 30' 22.57"



【建立年】大正4年（1915）
 【建立者】岩谷
 【碑石前面】井戸公追善/君の恩徳を感じて/飢ゆることしらて/うき世にくらすなり/君の功の影に住む身ハ/大正四之とし建之/岩谷性
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 隣の井戸公碑の9年後の建立で「岩谷」がだれかはわからないが、井戸公碑を建立した七老人の中に岩谷竹三郎（定屋）という名があるので、その人かもしれない。
 国道9号から西に進むとT字路の突き当りに井戸公碑とこの歌碑が目に入る。特に桜の季節には多くの人が目を止めていると思われる。
 （調査日2020年11月25日）



(単位：cm)
 碑石 高さ170/幅63/奥行30

【大田市22】大田市久手町刺鹿 円光寺 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市久手町刺鹿 円光寺参道入口 (車道参道と階段参道の間 羅漢堂隣)

北緯35° 13' 08.50" / 東経132° 30' 47.86"



(調査日2020年4月18日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 福光石でところどころ剥落がある。正面の碑銘以外に文字が全く彫られていないので、建立年や建立者がわからない。羅漢堂を挟んで右側に同様の大きさで同様のしつらいの「南無妙法蓮華経」の碑が対のように建っているが、こちらは「寛保二年(1742)」とある。井戸公碑はこの碑に倣って、後年建てたものだろう。



(単位：cm)
 碑石 高さ154/幅37/奥行37
 台石1段目
 高さ32/幅76/奥行75
 台石2段目
 高さ20/幅94/奥行95

【大田市23】大田市鳥井町新田 旧道沿い 井戸恩澤碑

所在地 大田市鳥井町新田 集落外れの旧道沿い南側

北緯35° 13' 32.13" / 東経132° 29' 51.14"



(調査日2020年11月25日)

【建立年】不明
 【建立者】村中等
 【碑石前面】井戸恩澤碑
 【一段目台石前面】村中等
 【調査の経過】
 新田集落の細い道から広い道路に合流する地点の近くに立つ。道路からコンクリートの進入路が数枚あり、その先の4段の石段を上がる。
 「井戸恩澤碑」と「村中等」以外に文字は見当たらない。碑石は1段目の台石に約20cm埋めてあり、そのためか1段目の台石が割れている。「村中等」の文字はほかには朝山町に2基あるだけの珍しい表記だが、「村民が等しく力を合わせた」という意味で興味深い。大きな碑ではないが、山影にある白っぽい石碑で、よく目立つ。



(単位：cm)
 碑石 高さ116/幅69/奥行20
 台石1段目
 高さ30/幅89/奥行52
 台石2段目
 高さ15/幅97/奥行60
 台石3段目
 高さ12/幅103/奥行75

【大田市24】大田市鳥井町八幡 鳥井まちづくりセンター前 **井戸明府厚澤碑**

所在地 大田市鳥井町八幡 鳥井まちづくりセンター前のK287 沿い (佐比売山神社下)
北緯35° 13' 03.36" / 東経132° 28' 45.41"



(調査日2020年11月25日)

〔調査の経過〕
県道287号沿いに玉垣を巻いて庭にしてある。碑石は黒っぽく堅そうだが、一部剥離が見られる。碑石の裏には難しい漢字を使った漢文調の碑文があり、台石にも飾り野がある。2段目台石の猫足も細かな細工があり、全体として格調高い。享保の飢饉のときに免税になった村だけに、井戸公への思いが強かったのだろう。

【建立年】天保10年(1839)
【建立者】鳥井村中
【碑石前面】井戸明府厚澤碑
【碑石後面】維峯天保己亥之冬至日後穀旦/奉/祀/奠/本邸鳥井拳里黔首等拜首稽顙謹建
【そのほか】文字なし

(単位: cm)
碑石 高さ132/幅51/奥行31
台石1段目
高さ14/幅76/奥行51
台石2段目(猫足)
高さ30/幅102/奥行83
台石3段目
高さ26/幅146/奥行126



【大田市25】大市長久町川南 **井戸仁澤碑**

所在地 大市長久町川南 (大田町山崎と長久町川南の境付近、現川南1不燃物集積所の上)
北緯35° 11' 49.15" / 東経132° 29' 37.75"



(調査日2020年11月25日)

〔調査の経過〕
丘の斜面に立つ。碑石に幅の狭い台石1段という建て方は隠岐島に多い建て方で大田市内では少ない。水と線香を供えるために台石の上が彫り下げられている。碑石右側からの風が強いのか、正面に比べて右面の文字がやせている。台石の正面にも小さい字が彫ってあるが読めなくなっている。宮本調査では「長久村/発起人/前原茂吉/坂根榮二他」となっている。広くて人口も多い長久町でただ1基の井戸公碑である。

【建立年】明治25年(1892)
【建立者】川南中
【碑石前面】井戸仁澤碑
【碑石右面】明治廿五年九月
【碑石左面】長久川南中
【台石前面】長久村……

(単位: cm)
碑石 高さ102/幅33/奥行27
台石 高さ31/幅53/奥行58

「大田碑石散歩」(三谷晃/昭和52年)では、古老の話として「神社にあったものを合祀せずに単独でこの場所に移した」とある。



【大田市26】大田市静間町棚 JR静間駅前 泰雲院表徳碑

所在地 大田市静間町棚 JR静間駅前

北緯35° 11' 44.58" / 東経132° 28' 05.74"

(調査日)
2020
年11月
25日

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】泰雲院表徳碑
【そのほか】文字なし
〔調査の経過〕
JR静間駅前にある。住宅の隣接地に3段の石組を積んで広場を作り、その上にこの碑だけが立っている。碑には痛みはなく端正なままだが、表面の「泰雲院表徳碑」以外に全く文字がない。
地元の方の中には「ここは元々楫野氏の土地なので、楫野氏が建てられ、建立者などが彫られていないのかもしれない」と言う方もある。自然石の碑石も大きく、台石も立派。2段目は形を整え、表面を平らにした石を2段組むなどかなりていねいな造りだ。



碑石 高さ110/幅74/奥行48
台石1段目
高さ43/幅184/奥行139
台石2段目(石組)
高さ58/幅257/奥行206

【大田市27】大田市静間町仮屋 円通寺 泰雲院殿義嶽良忠大居士

所在地 大田市静間町仮屋 円通寺境内 石段を上がって右手

北緯35° 11' 54.09" / 東経132° 28' 16.50"



【建立年】明治23年(1890)
【建立者】當組中
【碑石前面】泰雲院殿義嶽良忠大居士
【碑石左面】享保十八年五月廿六日卒/當組中/明治廿三年辰十月建之/當山廿世全山叟代
【そのほか】文字なし
〔調査の経過〕
円通寺の石段を上がると右手、車で上がると左手の広場の一角に立つ。広場はよく手入れされている。碑は福光石と思われるが傷みも苔もなく、文字がはっきり読める。碑はすっきりとした端正な形で、幅の狭い2段の台石が特徴的。碑石には罫線が刻まれ、「義岳」の「岳」の字に旧字体「嶽」が使われるなど、石碑全体から現代的ですっきりとした上品さが感じられる。
(調査日2020年11月25日)



碑石 高さ96/幅27/奥行27
台石1段目
高さ19/幅41/奥行41
台石2段目
高さ22/幅48/奥行48
台石3段目
高さ21/幅82/奥行69

【大田市28】大田市静間町平 静間小学校入口 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市静間町平 K297 沿い 静間小学校入口交差点 静間まちづくりセンター横
北緯35°12'13.13" / 東経132°27'51.49"



碑石 高さ92/幅33/奥行29
台石1段目
高さ12/幅46/奥行45
台石2段目
高さ26/幅64/奥行64
台石3段目
高さ34/幅81/奥行84

〔建立年〕昭和18年(1943) 再建
〔建立者〕楠屋(平部落)
〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士
〔碑石右面〕享保十八癸丑年五月廿六日/昭和十八年十二月再建/楠屋
〔碑石左面〕當御料御代官/井戸平左衛門正嗣
〔1段目台石前面〕平部落
〔調査の経過〕
碑は地藏堂の横にコンクリートのの上に立っており、黒っぽい石で傷みはない。以前に平の皆さんが建てたものを、昭和18年に楠屋さんが再建したということだろう。
供花があり、地域の方がこの碑を大切にされているようだ。
(調査日2020年11月20日)



【大田市29】大田市静間町魚津 市道沿い 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市静間町魚津 (現在は垂水地内) 市道交差点
北緯35°12'08.93" / 東経132°27'30.70"



碑石 高さ126/幅39/奥行39
台石1段目
高さ31/幅69/奥行69
台石2段目
高さ29/幅88/奥行88
台石3段目(コンクリート)
高さ60/幅136/奥行134

〔建立年〕不明
〔建立者〕魚津浦中(垂水中)
〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士
〔碑石右面〕享保十八癸丑年/五月二十六日
〔碑石左面〕當御料御代官/井戸平左衛門尉正朋
〔一段目台石前面〕魚津浦中〔同後面〕垂水中〔二段目台石左面〕波根/石工/善藏/勘四郎
〔調査の経過〕
以前は垂水も魚津の一部であり、2段目台石後面の小さい「垂水中」の文字は後年の刻字か。3段目のコンクリートは中に石組が入ったまま、崩れるのを防ぐためにカバーしたという。傷みは少なく、文字も読める。
(調査日2020年11月20日)



【大田市30】大田市静間町新田 泰雲院義岳良忠居士

所在地 大田市静間町新田 静間橋近くの新道沿い 地藏堂隣

北緯35°12'26.54" / 東経132°28'11.54"



碑石 高さ95/幅33/奥行30
 台石1段目
 高さ20/幅50/奥行50
 台石2段目
 高さ26/幅80/奥行57

(調査日2020年11月20日)

【調査の経過】
 道路建設に当たり、一時移設してあったが、道路の完成後、地藏堂とともに元の位置に戻った。以前から碑石の下部で斜めに割れていて補修してあった。工事中の移動で壊れる恐れがあったが、現在は色と見栄えを考慮してアルミのアンクルで添え木してある。理想的な形ではないが、保存しないことを考えると、残していただいていた。

【建立年】不明
 【建立者】新田中
 【碑石前面】泰雲院義岳良忠居士
 【碑石右面】施主 新田中
 【碑石左面】……平左衛門/享保……/於備中國笠……
 【そのほか】文字なし



【大田市31】大田市静間町和江 大年神社北隣 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市静間町和江 大年神社北隣 地藏堂前

北緯35°12'47.39" / 東経132°28'08.61"



碑石 高さ110/幅39/奥行38
 台石1段目
 高さ25/幅58/奥行56
 台石2段目
 高さ23/幅79/奥行78
 台石3段目
 高さ28/幅103/奥行103
 台石4段目(石組)
 高さ46/幅139/奥行155

(調査日2020年11月20日)

【調査の経過】
 最近建てた碑かと思うほど端正な姿を保っている。4段目の台石は石組でしかも角に反り加工があつて、ていねいな造りの碑だ。彫られている文字情報も多い。

【建立年】天保12年(1841)
 【建立者】和江浦中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】享保十八年癸丑五月廿六日「碑石左面」當御料前御代官/井戸平左衛門正明「碑石後面」天保十二年/辛卯十月/建之「二段目台石前面」和江浦中「三段目台石前面」世話人/吉野屋/廣右衛門/網屋/圓平/山田屋/市兵衛「同左面」亀屋住吉丸/傳兵衛



【大田市32】大田市五十猛町湊 共同墓地 泰雲院殿義岳良忠居士塔

所在地 大田市五十猛町湊 共同墓地入口

北緯35° 11' 39.94" / 東経132° 26' 44.92"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士塔
 〔碑石右面〕享保十八癸丑年／五月二十六日
 〔碑石左面〕當御料前御代官井戸平左衛門尉正明
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 共同墓地の入口に「謝恩碑」とともに墓地のモニュメントのように立っている。台石の左右の石は、二つの碑を囲むように置いたものだろう。台石の前には陶器の花立てが埋められ、碑石の前には湯飲み茶わんもあるので墓参に来た人が花を供えることもあるのだろう。後ろの大きな石が碑を支えている。
 (調査日2020年4月22日)



(単位: cm)
 碑石 高さ164/幅62/奥行60
 台石 高さ24/幅114/奥行63

【大田市33】大田市五十猛町地頭所 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市五十猛町地頭所 市道と里道の三差路の法面の上約1m

北緯35° 10' 34.22" / 東経132° 26' 37.99"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔そのほか〕文字なし
 〔調査の経過〕
 草に覆われて下の道路からはあまり見えず、草を刈って見えるようにした。頭部が欠けているの形に見えるが、最初からこの形の自然石だったと思われる。正面の文字以外は何も文字がないようで、その文字も浅くゆがんでおり、もしかしたら素人が彫ったものかもしれない。宮本調査では台石の下の離れた場所に小さな石があつて文字が見えたようなので、ここにか彫つてあるかもしれない。法面の土がずり落ちてきて後部はほぼ埋まっている。
 (調査日2020年4月22日)



(単位: cm)
 碑石 高さ92/幅60/奥行30
 台石 高さ22/幅70/奥行66

【大田市34】大田市五十猛町嘉庭 ……良忠居……

所在地 大田市五十猛町嘉庭 観音堂下

北緯35°10'10.13" / 東経132°26'50.43"



(単位：cm)
 碑石 高さ71/幅25/奥行25
 台石1段目
 高さ7/幅62/奥行52
 台石2段目
 高さ20/幅78/奥行55

【建立年】弘化4年(1847)
 【建立者】(世話人名あり)
 【碑石前面】……良忠居(以下欠落)
 【碑石右面】享保十八癸丑五月(以下欠落)
 【碑石左面】弘化四年七月建□ / 世話人 / 松原(以下欠落)
 【調査の経過】観音堂をご存じの方に案内を依頼し五十猛まちづくりセンター長ほかと現地へ。山の中の道は竹が生えて歩きにくい川に沿って道が続き、田の跡が随所に残っていて、人の営みを感じられた。約500m進むと、岩場の石を加工して場所を作り、道路から約4以上に建てられていた。観音堂に上る分かれ道の上になるという。碑の下の道は昔の往還道で、大屋町に続くという。
 (調査日2019年4月17日)



【大田市35】大田市五十猛町野梅 林氏宅裏山 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市五十猛町野梅 林氏宅裏山 賽の神の隣

北緯35°10'54.97" / 東経132°25'48.07"



(単位：cm)
 碑石 高さ76/幅27/奥行27
 台石 高さ22/幅46/奥行45

【建立年】不明
 【建立者】野梅・畑井
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑年五月廿六日
 【碑石左面】井戸平左衛門尉正明
 【台石右面】野梅 / 畑井
 【調査の経過】ツツジの庭が美しい林氏宅の裏山に賽の神と並んで立っている。この場所は大森町への往還道といい、往來の安全を祈願した賽の神と一緒に建てられたのだろう。周囲は平成になつてから再整備されたようで、黒御影の説明板が2枚設置されている。以前はもう1段台石があったようだ。碑石は福光石で一部剥離がある。
 (調査日2020年4月27日)



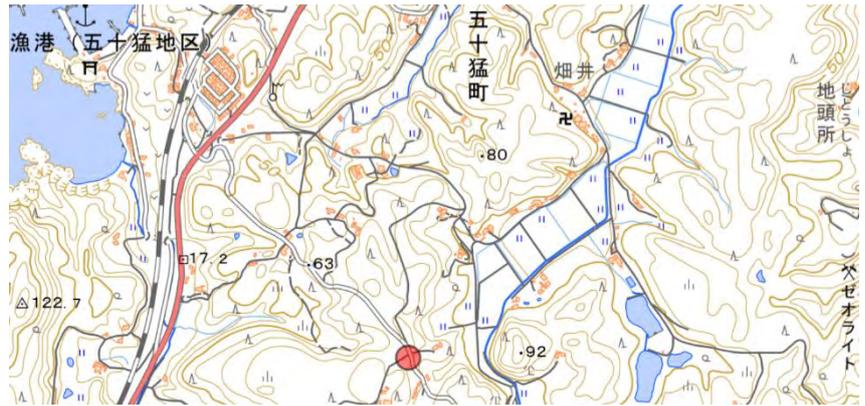
【大田市36】大田市五十猛町丹波 **井明府君碑**

所在地 大田市五十猛町丹波 R9 大浦入口点滅信号から南東へ 細い道との交差点
北緯35° 10' 43.80" / 東経132° 25' 46.90"



(調査日2020年4月27日)

【建立年】不明
【建立者】不明
【碑石前面】井明府君碑
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
五十猛まちづくりセンターで場所を尋ねた。国道9号の「大浦入口」点滅信号から南に入りゆるやかな上り坂を進んだ峠付近の、細い道との交差点の法面に立つ。
石碑の前に石の線香立てと、一對の陶器の花立てがあり、シビキ(シキミ)が供えてあった。宮本調査時には台石がもう2段あるように記録があるが、自然石の台石が1段だけである。前に石が並べられているので、崩壊した台石の石なのかもしれない。



(単位: cm)

碑石 高さ92/幅60/奥行30
台石 高さ22/幅75/奥行48

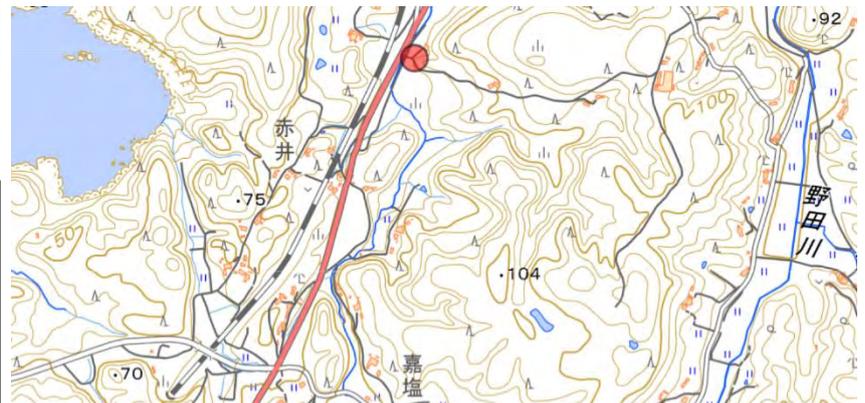
【大田市37】大田市五十猛町赤井 **井戸公之碑**

所在地 大田市五十猛町赤井 R9 近くの市道沿い 地藏堂隣
北緯35° 10' 41.22" / 東経132° 25' 22.42"



(調査日2020年11月20日、写真2014年2月12日)

【建立年】昭和3年(1928) 再建
【建立者】赤井區立
【碑石正面】井戸公之碑
【碑石裏面】享保十八年五月二十六日/元碑壊破/昭和三年九月再建
【一段目台石前面】赤井區立
【調査の経過】
国道9号からよく見える。特徴的な形で、台石の2段目3段目はコンクリート製。自然石の碑石と1段目の台石が宙に浮いたように見える。碑石はしっかりと見えた。表裏の碑文はよく読める。前の花立てには季節ごとに花が供えられ、地域の皆さんが大切にしている様子が見える。
碑石裏面の「元碑壊破」は壊れたため再建したとの意だろう。



碑石 高さ97/幅70/奥行33
台石1段目 高さ16/幅85/奥行80
台石2段目 高さ36/幅43/奥行43
台石3段目 高さ40/幅73/奥行72

【大田市38】大田市五十猛町大浦 浄圓寺 泰運院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市五十猛町大浦 浄圓寺墓地入口

北緯35° 11' 13.87" / 東経132° 25' 23.80"



(調査日2020年11月20日)

〔調査の経過〕
 建立年は彫っていないが、白っぽくて堅そうな石で傷みはなく、文字も読みやすい。「泰雲院」が「泰運院」になっていたり、「正明」が「保明」になっている。花立てと線香立てに隠れて見えないが、2段目台石前面にも刻字がある。

〔建立年〕不明
 【建立者】大浦湊中
 【碑石前面】泰運院殿義岳良忠大居士(右に)享保十八癸年(左に)丑五月廿六日
 【碑石右面】俗性/井戸平左衛門尉保明【碑石左面】施主/大浦湊中【一段目台石前面】世話人中/荒木/善右工門/松尾/弥助/林儀助【二段目台石前面】勝川屋/善平船/來/福重丸

碑石 高さ93/幅37/奥行36
 台石1段目
 高さ28/幅59/奥行58
 台石2段目
 高さ29/幅83/奥行78
 台石3段目(石組)
 高さ87/幅206/奥行183



【大田市39】大田市大屋町尾波 井戸明府之碑

所在地 大田市大屋町尾波 中尾波自治会館前

北緯35° 08' 56.42" / 東経132° 26' 56.34"



(調査日2020年4月23日)

〔建立年〕大正13年(1924)再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸明府之碑
 【碑石左面】大正十三年十一月再建
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道の尾波口バス停から入り、集落が始まる場所の三差路に地藏堂とともにある。川を挟んだ向かいには中尾波自治会館がある。周囲はきれいに手入れされ、石碑前には白い花が咲き、右側にはツツジの木もある。竹の花立てには野の花(キンポウゲ)が供えてあった。地域の皆さんに大切にされていることがうかがえる碑だ。

(単位: cm)
 碑石 高さ140/幅71/奥行50
 台石1段目
 高さ40/幅122/奥行63
 台石2段目(ブロック積)
 高さ66/幅120/奥行90



【大田市40】大田市大屋町鬼村 八代上入口付近 **欣澤碑**

所在地 大田市大屋町鬼村 八代上入口付近

北緯35° 09' 47.62" / 東経132° 27' 25.27"



碑石 高さ144/幅56/奥行33
 台石1段目
 高さ37/幅153/奥行116
 台石2段目
 高さ26/幅91/奥行91
 台石3段目
 高さ23/幅115/奥行115
 台石4段目(石組)
 高さ71/幅166/奥行166
 台石5段目(外枠)
 高さ13/幅308/奥行不明

【建立年】大正15年(1926)
 再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】欣澤碑
 【碑石右面】井戸平左衛門尉正明
 公【碑石左面】大正十五年十一月再建「そのほか」文字なし
 【調査の経過】
 かなり広い場所に、石灯籠と水鉢と思われる(現在は壊れている)構造物が残る。5段の台石の上に乗る堂々たる石碑。文字は「欣澤碑」の3文字だけ。大正15年に再建した当時の地域の皆さんの意気込みの大きさが感じられる。それだけに、建立した皆さんの情報が彫られていないのが残念だ。碑の後ろに再建前の旧碑が寝かせてある。



【大田市41】大田市大屋町菰口 **泰……忠居士**

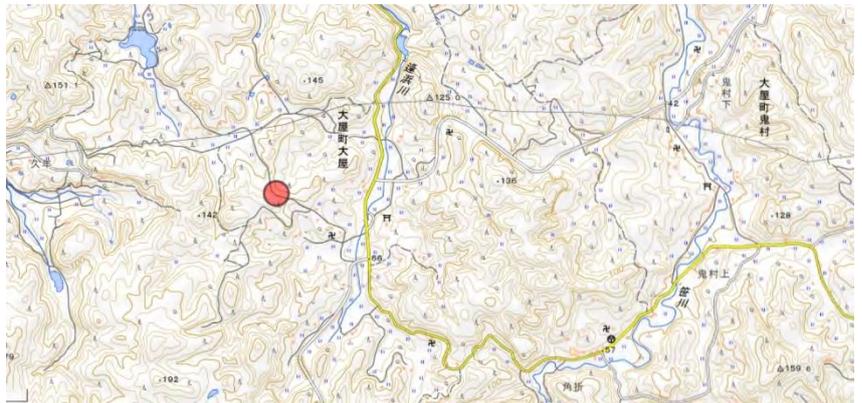
所在地 大田市大屋町菰口 細い市道沿い

北緯35° 09' 36.99" / 東経132° 26' 11.00"



碑石 高さ98/幅60/奥行41
 台石1段目
 高さ18/幅66/奥行66
 台石2段目
 高さ18/幅85/奥行88
 台石3段目(石組)
 高さ65/幅118/奥行115

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】不明(宮本調査では「泰……忠居士」)
 【碑石左面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 第26代代官天野助次郎の頌徳碑と並んで立つ。天野代官の石碑も文字が読めないが、この碑も全く文字が読めない。硬そうな石に見えるが、彫りが浅かったのだろうか。碑銘は宮本調査の記録を採用した。現在は近くに民家はないが、今でも碑の周囲は手入れされている。碑の前には新しそうな石の花立てもあり、今も変わらず地域の皆さんに大切にされていることがうかがえる。



【大田市42】大田市久利町市原 元正善坊 (家紋)井戸公之碑

所在地 大田市久利町市原 元正善坊 流水氏宅庭

北緯35° 08' 25.70" / 東経132° 28' 15.03"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】(家紋) 井戸公之碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 このお宅は以前は正善坊という寺院だった。その庭に立ち木に立てかけるように碑石が置いてあり、正面に井戸公の家紋である丸に違い鷹の羽紋と「井戸公之碑」の文字がある。どちらも彫りは浅いが、硬い自然石のため比較的鮮明に残っている。家紋が彫られている碑は少なく、大田市内では唯一。正善坊だった時代には別の場所があり、台石もあったかもしれないが、現状ではほかに文字がない。
 (調査日2020年5月22日)



(単位: cm)

碑石 高さ90/幅60/奥行25

【注】建立場所は現在個人の宅地内であり、訪問の際には流水氏の許可が必要。

【大田市43】大田市久利町赤波 井戸公之碑

所在地 大田市久利町赤波 市道沿い 戦没者之碑と並んで立つ

北緯35° 08' 43.88" / 東経132° 27' 39.02"



【建立年】大正7年(1918)
 再建/旧碑は嘉永4年(1851)
 【建立者】(世話人名あり)
 【碑石前面】井戸公之碑(左側に正五位勲四等西村保吉謹書
 【碑石右面】嘉永四年/創設者杉谷喜右衛門/大正七年十一月建立
 【碑石左面】世話人/清水直義/山崎要一
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 道路沿いの岩盤を高さ約1段で平らに加工し、井戸公碑と「戦没者之碑」の2基が並んで立つ。台石3段目に花立てを差し込む穴が加工してあり、竹の花立てが立ててあった。痛みも少なく、きれいな状態で残っている。
 (調査日2020年4月23日)



碑石 高さ160/幅72/奥行40
 台石1段目
 高さ40/幅110/奥行76
 台石2段目
 高さ29/幅126/奥行93
 台石3段目
 高さ55/幅179/奥行85

【大田市44】大田市大森町昭和 井戸神社

所在地 大田市大森町昭和

北緯35° 07' 11.90" / 東経132° 26' 53.09"



【建立年】大正5年（1916）
 【建立者】井戸神社興復会

「調査の経過」

井戸神社は当初、現在の場所の北側、河村氏宅の北隣（現井戸さん広場の場所）に、大森町戸長、川北徹蔵や町の有力者松原小兵衛らが発起人となり、有志から浄財を募って、明治12年に創立された。まだ無格社だったが、5月26日の鎮祭は出雲大社の千家尊福宮司が斎主となつて執り行われた。

明治23年から、神社の一部を削る形で国道が建設されたため、境内が非常に狭い状態になった。

井戸公に従四位が贈られた翌年の明治44年、衆議院議員、恒松隆慶（長久村）が興復会長に就任して精力的に寄付金を募集し、同年6月に現在の場所ので地鎮祭を行い大正5年4月に完成、遷座奉祝祭を行った。大正7年5月7日には県社に昇格。現在も毎年5月と11月の2回、例大祭が行われている。

境内には「井戸公顕彰碑」「恒松君頌功碑」「松浦屋与兵衛之碑」があるほか、次の通り多くの灯籠が奉納されている。明治12年 安井好尚 嶋根県巡查数名 / 大正6年 岸本房太郎 / 昭和55年 恒松隆慶（幸） 扁額は勝海舟の揮毫。これは明治時代に貴族院議員だった物部神社の金子有郷宮司が依頼したとも、産業、教育に功績があり、初代の井戸神社創建にも尽力した仁摩町大國の安井好尚の働きかけだったとも言われる。昭和57年の没後250年祭に金森丈兵がコンクリート製の鳥居を奉納した際に外され、石見銀山資料館で保管。現在はレプリカを掲示している。鳥居は2018年4月の島根県西部地震で傷んだため、2年後の令和2年、時の総代松葉大吉らによって京都産の檜で再建された。

（調査日2020年5月22日）



【大田市45】大田市大森町昭和 井戸神社 井戸公顕彰碑

所在地 大田市大森町昭和 井戸神社境内

北緯35° 07' 11.94" / 東経132° 26' 52.23"



【建立年】昭和57年（1982）
 【建立者】わかさの会
 【調査の経過】
 井戸神社総代だった故河村政経氏によると、わかさの会は川本町の団体という。
 拜殿の下の段の、向かって右側に恒松隆慶の「恒松君頌功碑」と並んで立つ。
 台石は戦前まで神馬が乗っていた台で、供出して神馬がなくなったため、そこにこの石碑が建てられたという。
 碑石と台石に別々の碑文があり、下欄に紹介する。
 境内にはほかに「松浦屋与兵衛之碑」が向かって左側にある。
 （調査日2020年5月22日）



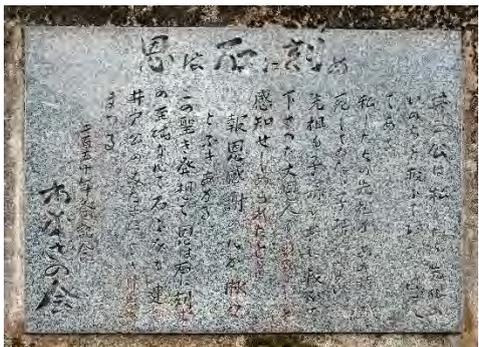
(単位：cm)
 碑石 高さ113/幅149/奥行5
 台石 高さ163/幅237/奥行141

「井戸公顕彰碑」「恒松君頌功碑」の横には、大田ロータリークラブが平成29年に設置した「井戸平左衛門正明公頌徳碑 大田市分布マップ」の解説板もある。

【大田市45】大田市大森町昭和 井戸神社 井戸公顕彰碑 続き



井戸公顕彰碑
 碑石の碑文
 時は徳川の中期將軍吉宗の頃當時全国をおそった享保の大飢饉に石見銀山領二十万人民の窮乏はその極に達し正に餓死の一步寸前をさまようてゐたが時の大森代官井戸平左衛門正明公は食料対策百年の計をたてこの地方に初めて甘藷を移入その栽培奨励に力を注ぎ一方義金の募集公租の減免を断行遂には独断で幕府直轄の米倉を開くなど非常措置により一人の餓死者も出さなかつたといふ
 この深い慈愛と至誠責任を貫いた偉大なる善政は千古に輝き今も尚いも代官様と敬慕して公のみたまをこの地に祀りその遺徳を永く顕彰してゐる



台石の碑文
 恩は石に刻め
 井戸公は私したち先祖のいのちを救ふて頂いた恩人である。
 私したちの先祖があの時餓死してゐたら子孫はない。先祖も子孫も共に救ふて下さった大恩人である……と
 感知せしめられたとき
 報恩感謝の心が脈々とふさあがる。
 この聖き発想で恩は石に刻むの至純な心で石ぶみを建て井戸公のみたまにささげたまつる。
 二百五十年祭記念
 わかさの会

【大田市46】大田市大森町上佐摩上 尾川氏宅上 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市大森町上佐摩上 尾川氏宅左手の高手

北緯35°06'40.25" / 東経132°27'13.74"



碑石 高さ92/幅30/奥行24
 台石1段目
 高さ23/幅45/奥行51
 台石2段目
 高さ17/幅69/奥行75
 台石3段目(コンクリート)
 高さ16/幅82/奥行88

【建立年】安政3年(1856)
 【建立者】上組中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】安政三丙辰年九月造之/井戸平左衛門正明
 【碑石左面】享保十八癸丑年/五月廿六日
 【一段目台石前面】石工/常七
 【一段目台石右面】上組中
 【一段目台石後面】百姓代/柳助
 【頭百姓/市平/庄屋/逢助】
 【調査の経過】
 大森町内で地域住民が建てた須徳碑としては唯一のもの。3段目の台石が崩れていたが、平成22年に上佐摩上自治会によってコンクリート製の台石が作られた。碑の周囲も手入れされ、地域の人が大切にしている様子がうかがえる。
 (調査日2020年5月22日)



【大田市47】大田市水上町白坏 肥田氏宅裏 **泰雲院殿義……土位**

所在地 大田市白坏高津上 K31 三差路前 肥田氏宅裏

北緯35°04'49.00" / 東経132°27'34.50"



碑石 高さ96/幅32/奥行32
 台石1段目
 高さ26/幅56/奥行45
 台石2段目
 高さ23/幅82/奥行78

【建立年】不明
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿義……土位
 【碑石右面】享保十八年癸丑年/五月廿六日
 【碑石左面】大森前御代官井戸平左衛門正明
 【台石】施主/當村中/惣百姓/百姓代/三九郎/頭百姓/助十郎/庄屋/文左衛門
 【調査の経過】
 左隣に別の碑も2基建っているが、民有地ということが無断で入ることができず、草に覆われていて、手前に小川もあるため調査を断念し、宮本調査台帳の情報を使った。
 2020年現在、碑は存在しているが、遠望すると碑石の前面の文字が読めなくなっているように見える。
 (情報は宮本調査資料による)



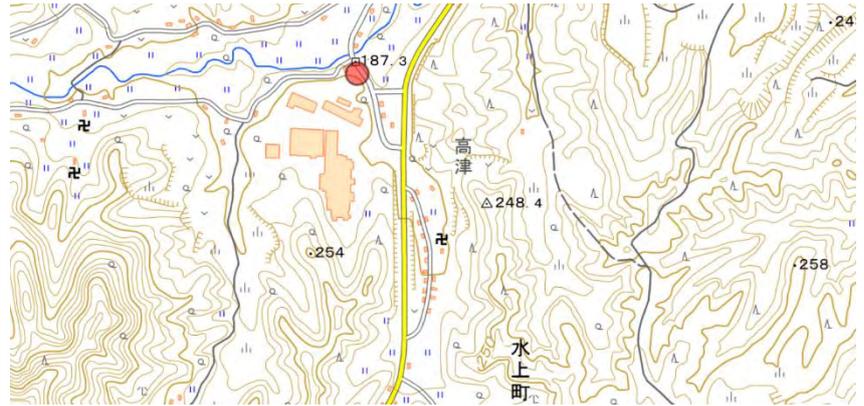
写真は水上町の中田俊光氏が平成初期に撮影された写真を使わせていただいた。

【大田市48】大田市水上町三久須 元森山商店横 **泰雲院殿義岳良□□居士**

所在地 大田市水上町三久須高津下 元森山商店横 武間氏宅向いの高手
北緯35°05'18.33" / 東経132°27'29.99"



【建立年】嘉永7年(1854)
【建立者】三久須中
【碑石前面】泰雲院殿義岳良□□居士
【碑石右面】享保十八癸丑年/五月廿六日逝去「碑石左面」御代官/井戸平左衛門正朋「一段目台石前面」(上部に横書きで)施主三久須中(その下に縦書き)嘉永七甲寅/十月建之/庄屋義助/見習辰二良/頭百姓三右エ門/惣百姓中「一段目台石左面」石工/伊助
【調査の経過】
周囲はツツジが植えられて公園のようになっていた。碑石の傷みが激しく、傷み方が大代町の石碑の傷み方と似ている。碑石に比べて台石の傷みは少なく文字がしっかり読めた。
(調査日2020年5月22日)



(単位: cm)
碑石 高さ105/幅35/奥行25
台石1段目
高さ29/幅59/奥行50
台石2段目
高さ23/幅85/奥行76

【大田市49】大田市水上町福原 元中島商店横 **井嗣府之碑**

所在地 大田市福原 元中島商店横 市道川合水上線沿いの地藏堂の上の平地
北緯35°05'45.77" / 東経132°28'12.87"



【建立年】安政5年(1858)
【建立者】當村中
【碑石前面】井嗣府之碑
【碑石右面】享保十八年辛亥五月廿六日「碑石左面」安政五年戊午八月建之「三段目台石前面」當村中「三段目台石右面」百姓代/泰助/庄屋見習/健十郎/庄屋/吉太郎「三段目台石左面」五人組頭/林四郎/直助/仙平/惣四郎/梅二郎/順助/好太郎/元□/龜藏/茂七/興六/勇助/柳兵衛/郡平
【調査の経過】
台石を4段も積み、1段目は猫足になっている。碑石の文字も深く、大きい。「明」の文字に異体字が使われている。享保18年の干支が違っている。辛亥は井戸公着任の16年の干支。
(調査日2020年5月15日)



碑石 高さ135/幅47/奥行30
台石1段目(猫足部分)
高さ48/幅88/奥行71
台石2段目
高さ26/幅117/奥行88
台石3段目
高さ19/幅152/奥行不明
台石4段目
高さ22/幅215/奥行不明

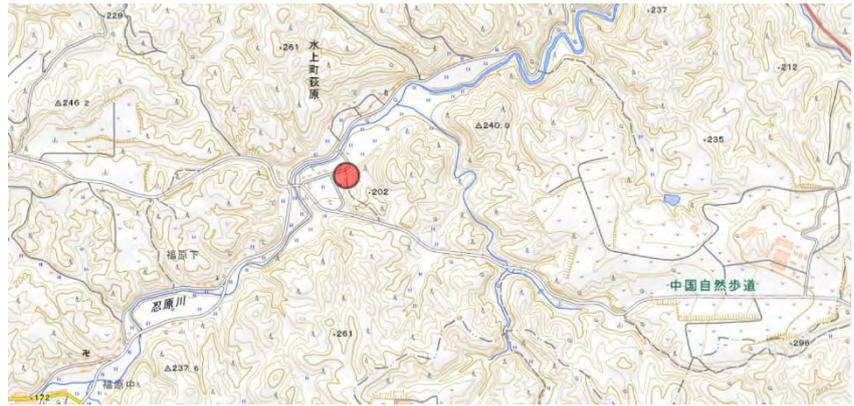
【大田市50】大田市水上町荻原 元本宗寺跡 **泰雲院義岳良忠居士**

所在地 大田市水上町荻原 元本宗寺入口

北緯35° 06' 17.91" / 東経132° 29' 09.72"



【建立年】昭和33年（1958）
再建
【建立者】荻原村中
【碑石前面】泰雲院義岳良忠居士
【碑石右面】昭和三十三年八月再建
【碑石左面】享保十八癸巳歲五月廿六日「一段目台石前面」
荻原村中
【調査の経過】
碑の後ろに旧碑が積まれており、「癸巳」の文字があるので、元の碑も干支が違うようだ。
2018年の島根県西部地震で傾いたため、地元有志により3段目以下の台石が修復された。碑石と1段目の台石が昭和33年製で2段目以降は以前のもののように見える。
前の市道には「荻原千軒」の説明板がある。
（調査日2020年5月15日）



(単位：cm)
碑石 高さ94/幅33/奥行26
台石1段目
高さ22/幅58/奥行50
台石2段目
高さ9/幅82/奥行73
台石2段目（コンクリート）
高さ66/幅138/奥行153

【大田市51】大田市祖式町下町 円福寺 **井戸正朋公碑**

所在地 大田市祖式町下町 円福寺境内（山門の左）

北緯35° 04' 04.95" / 東経132° 27' 05.39"



【建立年】昭和8年（1933）
再建
【建立者】不明
【碑石前面】井戸正朋公碑（左に）
島根懸知事正五位勲四等福邑正樹書
【碑石後面】昭和八年九月四日再建
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
総高さ3mを超す大きな碑。2段目の台石は3段の石積みで反りもあり城壁のよう。当時の島根県知事が揮毫しているが、昭和8年再建という情報もなく、歴史のある円福寺に立っているということもあって、再建の経過が興味深い。
井戸公の名前は「正朋」を採用している。
（調査日2020年5月15日）



(単位：cm)
碑石 高さ187/幅123/奥行42
台石1段目
高さ30/幅167/奥行80
台石2段目（石組）
高さ86/幅247/奥行186

【大田市52】大田市祖式町瀬戸 バス停横 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市祖式町下瀬戸 K31 沿い瀬戸橋バス停横

北緯35° 03' 52.75" / 東経132° 27' 45.44"



碑石 高さ86/幅29/奥行25
 台石1段目
 高さ25/幅47/奥行47
 台石2段目
 高さ9/幅66/奥行65
 台石3段目
 高さ14/幅86/奥行80

〔調査日〕2020年5月8日
 (写真)2012年10月30日

〔建立年〕嘉永7年(1854)
 〔建立者〕瀬戸本江惣連中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八癸丑年/五月二十六日
 〔碑石左面〕井戸平左衛門正明
 〔碑石後面〕嘉永七年
 〔一段目台石前面〕庄屋/文治郎/瀬戸本江惣連中
 〔一段目台石右面〕石工/市右エ門

〔調査の経過〕
 県道沿いの法面に立つ。保存状態もよく、傷みは少ない。建立年が碑石後面に彫つてあるのが珍しい。後面は削らないまま文字がないものが多い。
 祖式町の7基のうち3基が嘉永7年の建立、山中の1基が安政4年で、4年間に4基が相次いで建立されている。



【大田市53】大田市祖式町山中 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市祖式町山中 市道沿いの「オオイエカン293次1」の電柱の右を入って約100m

北緯35° 03' 04.01" / 東経132° 26' 23.40"



碑石 高さ97/幅33/奥行33
 台石1段目
 高さ26/幅53/奥行53
 台石2段目
 高さ28/幅76/奥行77
 台石3段目
 高さ23/幅111/奥行111
 台石4段目
 高さ18/幅151/奥行168
 台石5段目(石組)
 高さ110/幅210/奥行220
 台石6段目(外枠)
 高さ37/幅305/奥行330

〔調査日〕2020年4月24日

〔建立年〕安政4年(1857)
 〔建立者〕祖式村上組中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八年癸丑五月廿六日
 〔碑石左面〕井戸平左衛門正明君
 〔碑石後面〕安政四年丁巳春建之
 〔二段目台石前面〕施主/祖式村/上組/中
 〔二段目台石左面〕庄屋/文四郎/頭百姓/助五郎/同/卯一郎

〔調査の経過〕
 碑への道は、現在は何とか通れる状態。約100mほど進んで広場に着くと壮大な石碑が現れる。台石が6段もあり、5段目の石組は高さ110cmもある。
 村中で最も立派な石碑を建てようとした先人の意気込みが伝わってくる。



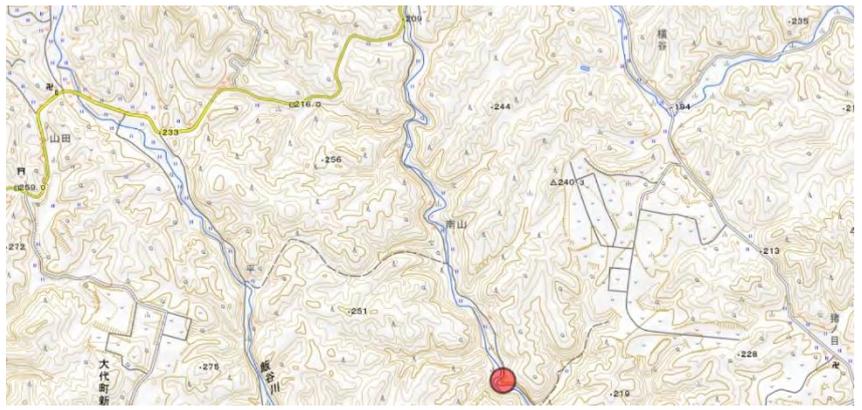
【大田市54】大田市祖式町南山 井明府……碑

所在地 大田市祖式町南山 K46号南山入口から約2^{km}の笠岡氏宅先を左側の山に少し上がる。
北緯35°02'10.18" / 東経132°27'12.40"



碑石 高さ76/幅33/奥行33
台石1段目
高さ17/幅53/奥行53
台石2段目
高さ19/幅76/奥行77
台石3段目
高さ21/幅111/奥行111

【建立年】不明
【建立者】南山中
【碑石前面】剥落して読めない
(文字は宮本調査による)
【碑石右面】享保十八癸丑五月廿六日
【碑石左面】井戸平左衛門正明
【台石二段目前面】南山中
【台石二段目左面】世話人/甚三郎/文右エ門/兼市良
【調査の経過】
この場所は地域の方の墓地の入口にあたる場所だった。崖までわずかに約1^{km}という場所に立つ。石碑はそれほど傷みが激しいわけではないが、碑銘の部分だけがそぎ取られたように剥落していて読めなくなっている。後方に石灯籠の屋根だけが残っている。



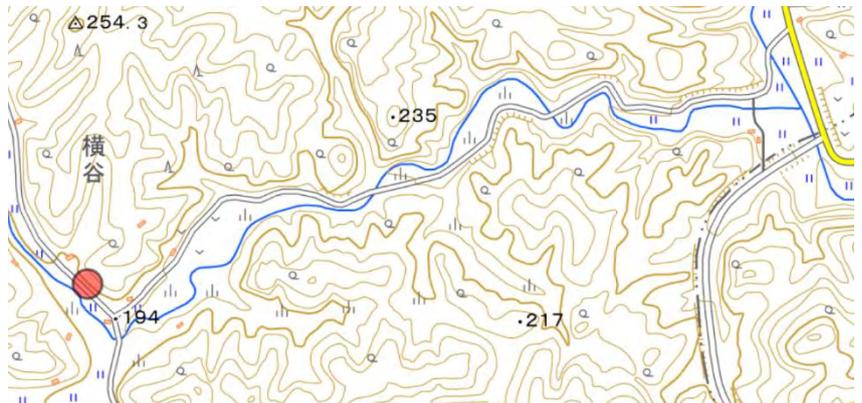
【大田市55】大田市祖式町横谷 井明府□碑

所在地 大田市祖式町横谷 市道の北側の高台
北緯35°02'54.40" / 東経132°27'41.55"



碑石 高さ66/幅38/奥行19
台石1段目
高さ9/幅43/奥行34
台石2段目
高さ16/幅49/奥行42
台石3段目
高さ10/幅61/奥行62
台石4段目(石組)
高さ50/幅123/奥行不明

【建立年】明治44年(1911)再建
【建立者】横谷中
【碑石前面】井明府……(宮本調査「井明府□碑」)
【碑石右面】享保十八年五月廿六日/井戸平左衛門正明「碑石左面」明治四十四年八月吉日再建
【二段目台石前面】横谷中「二段目台石右前面」世話人/森田善次郎「二段目台石左面」福光石工/山中清一
【調査の経過】
猪ノ目の碑と同じ道路沿い。道路の約3^{km}の高さの擁壁の上に立つ。碑石の正面の文字だけがえぐれたように剥離していて、「井明府」しか読めないが、その他の面の文字は鮮明だ。4段目は石積みで立派な造りだ。



【大田市56】大田市祖式町猪ノ目 泰雲院殿義岳良忠居士

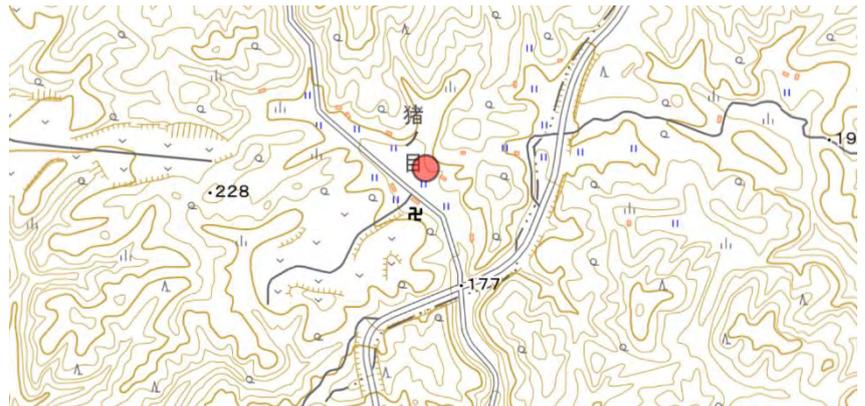
所在地 大田市祖式町猪ノ目 市道の北側向いの高台

北緯35° 02' 15.97" / 東経132° 28' 15.21"



〔建立年〕嘉永7年（1854）
 〔建立者〕井之目谷内
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八年五月二十六日逝去〔同左面〕井戸平左衛門正明〔同後面〕昭和九年五月再建／世話人 山下潮現〔一段目台石前面〕祖式村〔二段目台石前面〕井之目谷内〔同右面〕嘉永七歳／甲寅八月／立之／庄屋／政左衛門〔同左面〕世話人／鍛冶屋□兵衛／福光／石工利兵エ／作
 〔調査の経過〕
 横谷の碑の前の市道を南東に進んだ場所の左手、田を一枚挟んだ高台の平地に立つ。台石を4段も積み、しかも4段目は石組の立派な造りだ。
 （調査日2020年5月7日）

碑石 高さ85/幅32/奥行25
 台石1段目
 高さ20/幅49/奥行49
 台石2段目
 高さ21/幅67/奥行67
 台石3段目
 高さ20/幅91/奥行91
 台石4段目（石組）
 高さ62/幅127/奥行127



【大田市57】大田市祖式町大原 泰雲院殿義岳良忠居士

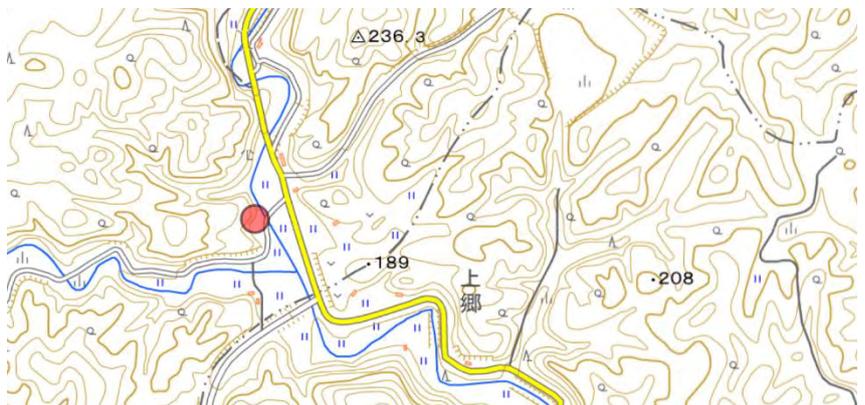
所在地 大田市祖式町大原 市道大原横谷線の大原側の橋のたもと

北緯35° 03' 09.55" / 東経132° 28' 34.16"



〔建立年〕嘉永7年（1854）
 〔建立者〕當組中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士（右に）享保十八癸丑五月廿六日（左に）井戸平左衛門正明
 〔碑石左面〕嘉永七甲寅三月廿五日建之／當組中／庄屋政左衛門／頭百姓万平／在極平
 〔調査の経過〕
 橋のたもとの擁壁を削る形で、地蔵と並んで立つ。小さな石碑で文字も浅く、素人が彫ったような感じだが、石が硬いため傷みはない。碑の前には花立てが1対あり、野の花が供えられ、いつ行っても水のペットボトルが置いてある。近くの人が世話をされているのだろう。
 （調査日2020年5月7日）
 （写真2012年10月31日）

（単位：cm）
 碑石 高さ91/幅52/奥行33



【大田市58】大田市大代町新屋本郷 大葉氏宅横 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市大代町新屋本郷 大葉氏宅横 地藏堂後ろ

北緯35° 02' 28.37" / 東経132° 24' 53.18"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕新屋本郷
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八癸丑年／五月二十六日「碑石左面」井戸平左衛門正明君「二段目台石前面」新屋本郷「二段目台石右面」頭百姓／源四郎／庄屋／彦右衛門「二段目台石左面」世話人／好三郎／大三郎／周蔵
 〔調査の経過〕
 近くには墓所も2か所あり、合わせてきれいに手入れしてある。石碑は福光石でかなり剥落が進んでいる。4段目の台石は崩落して構成石が周囲に散乱している。
 町内の多くの碑と同様、台石に彫られた建立者名が大きい。
 (調査日2020年4月30日)

碑石 高さ99/幅31/奥行31
 台石1段目 高さ26/幅52/奥行52
 台石2段目 高さ28/幅73/奥行73
 台石3段目 高さ25/幅103/奥行103
 台石4段目(崩落) 高さ25/幅200/奥行200



【大田市59】大田市大代町新屋山田 バス停前 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市大代町新屋山田 K46 沿いバス停前 (大江高山山田側登山口)

北緯35° 02' 33.66" / 東経132° 25' 20.13"



〔建立年〕天保15年(1844)
 〔建立者〕知雲
 〔碑石前面〕泰雲院殿……(剥落して読めないが宮本資料では「泰雲院殿義岳良忠大居士」)
 〔碑石左面〕井戸平左衛門殿正明／天保十五辰七月〇日知雲立之「そのほか」文字なし
 〔調査の経過〕
 県道46号の南側から北側に移設された。石碑の傷みが激しく、読めない文字がある。台石は以前は3段目が厚さ18センチ、その下に25センチ厚の4段目もあった。隣には元治2年(1865)に建てた灯籠があり「當組若連中」とある。灯籠の左面には「山田寺」の文字もあるので、知雲はその寺の住職だったか。
 (調査日2020年5月7日)

碑石 高さ77/幅24/奥行24
 台石1段目 高さ16/幅40/奥行40
 台石2段目 高さ17/幅49/奥行49
 台石3段目(下が埋まっている) 高さ6/幅73/奥行75



【大田市60】大田市大代町新屋飯谷 浄願寺 井戸明君碑

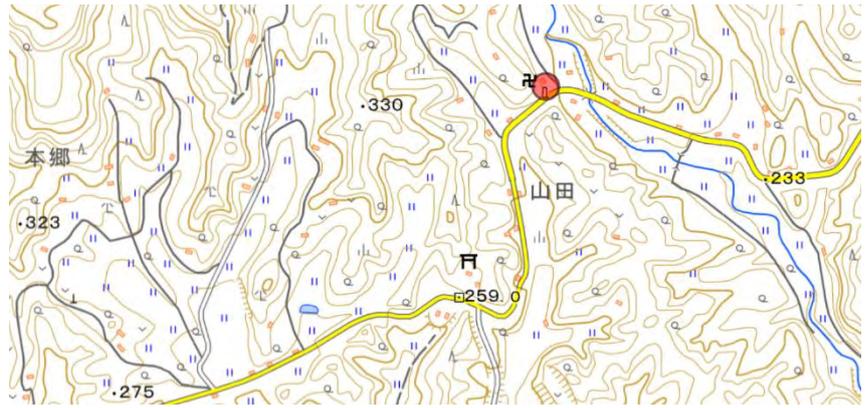
所在地 大田市大代町新屋飯谷 浄願寺境内（大江高山飯谷側登山口）

北緯35° 02' 55.43" / 東経132° 25' 49.60"



碑石 高さ172/幅77/奥行43
 台石1段目 高さ31/幅115/奥行85
 台石2段目 高さ23/幅130/奥行144
 台石3段目（コンクリート）高さ53/幅228/奥行180

【建立年】不明
 【建立者】新屋村飯谷組中
 【碑石前面】井戸明君碑（右に）享保十八年（左に）癸丑五月廿六日
 【台石一段目前面】新屋村／飯谷組中／庄屋／助十郎／同見習／吉五郎／頭百姓／種右エ門／百姓代／常三郎
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】この碑のために造られたコンクリート製の広い台に乗る（台石3段目とした）、大きな自然石の堂々たるもの。白っぽい苔は生えているが傷みはなく、文字もよく読める。専用の石の花立て（これは時代が新しそう）や「飯谷組中」という建立者名に、心意気を感じられる。
 （調査日2020年5月7日）



【大田市61】大田市大代町新屋右原 泰……

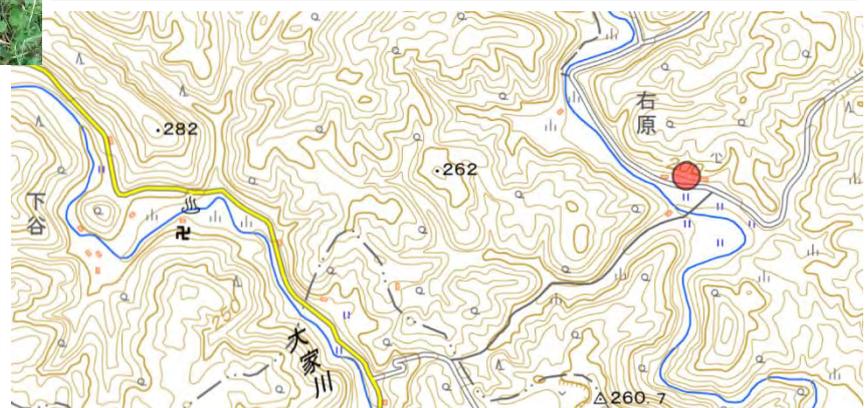
所在地 大田市大代町新屋右原 中垣氏宅西側道路右手の山際

北緯35° 01' 22.86" / 東経132° 25' 54.71"



碑石 高さ80/幅28/奥行25
 台石1段目 高さ22/幅47/奥行47
 台石2段目 高さ23/幅65/奥行65
 台石3段目 高さ23/幅95/奥行不明
 台石4段目 高さ34/幅133/奥行不明

【建立年】明治26年（1893）
 【建立者】右原組
 【碑石前面】泰……
 【碑石右面】井戸……【碑石左面】享保十八癸丑……五月廿……
 【二段目台石正面】右原組【そのほか】文字なし（と思われる）
 【調査の経過】奇妙な形に見えるが碑石が折れたため、台石の上に寝かせたものだという。碑石の上の楕円形の石に「泰」の字が読めるので、折れた碑石の上部だろう。台石の「右原組」の文字も大きくて深い。
 左の石柱も同時に建てられたと思われる、正面に「明治廿六年十月廿」とあり、これを碑の建立年とした。
 （調査日2020年4月30日）



碑石の寸法は立った状態を想定して計測した。

【大田市62】大田市大代町大家植松 正法寺 井戸君報徳碑

所在地 大田市大代町大家植松 正法寺山門左

北緯35° 02' 02.19" / 東経132° 24' 29.47"



【建立年】安政3年（1856）
 【建立者】當町中
 【碑石前面】□□□報徳碑（各種資料により「井戸君」とした）
 【碑石左右面】320字の碑文（下欄に掲載）「二段目台石前面」當町中「二段目台石左面」寄□／助二郎／庄屋／喜兵衛／頭百姓／善右衛門／世話人／惣左衛門／徳五郎／武平太／繁平／孫一郎／藤五郎
 【調査の経過】
 碑石は幅40センチもあり、4段の台石がある堂々たる碑。2段目の台石に「當町中」とあり、「當組中」や「當村中」とは違って宿場町として栄えていた大代の「町」のプライドを示しているように思える。碑がやせていて、碑文はほぼ読めない。
 （調査日2020年5月5日）

台石に盃状穴がある



碑石 高さ123/幅40/奥行39
 台石1段目 高さ36/幅70/奥行68
 台石2段目 高さ32/幅104/奥行107
 台石3段目 高さ34/幅135/奥行144
 台石4段目 高さ21/幅18/奥行180

【大田市62】大田市大代町大家植松 正法寺 井戸君報徳碑 続き（碑文）



碑文が彫られている碑石の左面（上下）

【碑文】熊谷正範著「大家から大田市へ」（昭和57年同氏発行）より
 臨百里之地而受生民之寄有一夫不得所者罪将就帰宣 郡宰□難平得父也如□井戸君諱政明乃其因興君通称平左衛門享保中来石見為代官時管下新承凋荒民産未立君下□洲口謀求齊民之方属耆老而諮詢或曰 君不見夫甘諸 類芋而沙種出於琉伝於薩故俗又呼曰薩摩芋其味甘温可以民食矣 君聞之大喜乃請種於薩以其宜沙地先令浴海民戸□之種則繁行利逐遍於郡内被其澤者不□君之名而秘為芋代官云□者大家本郷人某来請余曰芋代官卒已者五十年矣 部諸村莫不樹碑以報其德而我郷独未有一石之以相表也某等□夏之願子幸文之具專將□□示之後矣嗚呼君之逝□手其已□焉而其德澤之 玉今尚能使人追感思慕如此任救民之□者其真可不以鑿於斯也乎哉万余難 □惡得□樂而文之
 安政三年歲在丙辰出雲姉展謹

【訳文】石村勝郎著「いも神さま 井戸平左衛門 石見銀山代官」（平成6年石見銀山資料館発行）より
 碑文の作者（出雲の人らしい）のところへ、大家本郷の有志が訪ねて来て、いも代官が亡くなって五十余年になる。他の村では、その徳に報いて碑を立てているが、ひとり、わが村にない、これは悲しいことであり、お願いするから碑文を書いてほしい、後世に志を伝えたいといつて来た。
 ああ君が逝つて既に遠いが徳沢はいまも人を追慕させているではないか。救民の責に任ずる者は、このようでなければならぬ。才能劣る自分だが、これを文に表わさざるを得ない。

【大田市63】大田市大代町大家四日市 西臨寺先 **泰雲院殿義岳良忠大居士**

所在地 大田市大代町大家四日市 西臨寺先 四日市バス停付近の三差路
北緯35° 02' 07.58" / 東経132° 24' 20.11"



〔建立年〕不明
〔建立者〕當組中
〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士
〔碑石左面〕享保十八癸丑年五月二十六日 / 井戸平左衛門
〔一段目台石前面〕當組中
〔一段目台石左面〕□□ / □話人 / 庄屋 / 喜右衛門
〔一段目台石右面〕福光石工 / 山中九平エ / 市□ / 山屋新助
〔調査の経過〕
二段目の台石の下には地藏堂と共通のコンクリートの基礎がある。碑の後ろは休耕田。碑の周囲はきれいに草が刈ってあり気持ちがいい。一段目の台石には数個の盃状穴がある。
(調査日2020年5月5日)



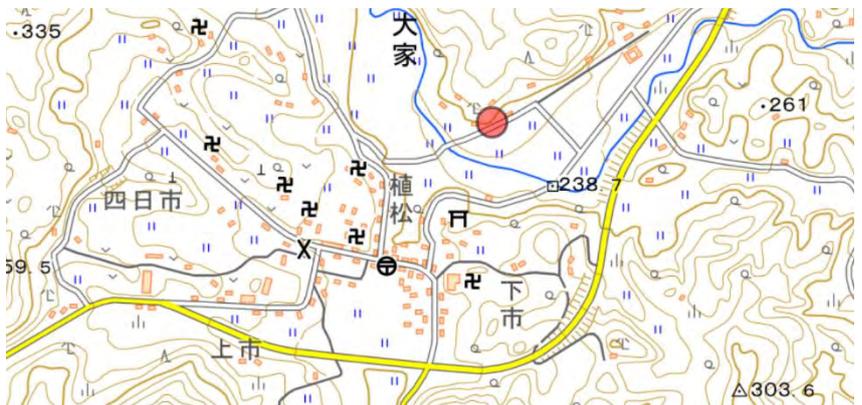
(単位: cm)
碑石 高さ124/幅54/奥行34
台石1段目
高さ18/幅67/奥行52
台石2段目(石組)
高さ21/幅128/奥行90

【大田市64】大田市大代町大家八反田 ……**殿義岳良**……

所在地 大田市大代町大家八反田 元小学校の西 市道沿いの法面
北緯35° 02' 08.76" / 東経132° 24' 44.71"



〔建立年〕不明
〔建立者〕八反田組
〔碑石前面〕……殿義岳良……
〔碑石右面〕享保十八癸丑年 / 五月二十六日
〔碑石左面〕井戸平左衛門正明
〔二段目台石前面〕八反田組
〔二段目台石右面〕福光石□ / 山中秀□ / 下□ / 山屋新□
〔二段目台石左面〕庄屋 / 喜三衛門 / 百姓代 / 大□衛 / 世話人 / 殿兵□ / 喜平□ / 常三郎
〔調査の経過〕
規模といい造りといい、柿田の碑(No.65)とよく似ている。石も似ており、日当たりのいい場所にあるにもかかわらず、傷み方まで似ている。現在ははやつと「殿義岳良」が読める。台石に盃状穴がある。周囲はよく草が刈ってある。
(調査日2020年5月7日)



碑石 高さ97/幅31/奥行30
台石1段目
高さ26/幅53/奥行52
台石2段目
高さ28/幅74/奥行77
台石3段目
高さ20/幅106/奥行不明

【大田市65】大田市大代町大家柿田 泰雲院殿義岳良忠……

所在地 大田市大代町大家柿田 市道沿い地藏堂上

北緯35° 02' 27.26" / 東経132° 24' 27.27"



碑石 高さ100/幅31/奥行31
 台石1段目
 高さ24/幅53/奥行53
 台石2段目
 高さ28/幅73/奥行74
 台石3段目
 高さ20/幅110/奥行105

〔建立年〕不明
 〔建立者〕柿田組
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠……
 〔碑石右面〕享保十八癸……/五月……
 〔碑石左面〕井戸平……
 〔二段目台石左面〕當役/庄屋/新右衛門/九屋仙助
 〔二段目台石前面〕柿田組
 〔二段目台石右面〕福光石工/谷中秀平工
 〔調査の経過〕
 三差路にある地藏堂の上の丘に立つ。雪が深かった当時の自然条件のためか、大代町の石碑は傷みが激しく、この碑もかなり崩落が進んでやせており、石碑の下部はセメントで補修してある。
 (調査日2020年5月1日)



【大田市66】大田市大代町大家川上 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市大代町大家川上 鳴ヶ鼻橋先の市道沿い

北緯35° 02' 56.67" / 東経132° 24' 30.30"



(単位：cm)
 碑石 高さ159/幅83/奥行30
 台石 高さ42/幅133/奥行110

〔建立年〕不明
 〔建立者〕川上連中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士
 〔碑石右面〕享保十八癸丑皆五月廿六日「碑石左面」井戸平左衛門正明君/祀奠碑/川上連中建之「そのほか」文字なし
 〔調査の経過〕
 川沿いの道の山側にある高さ約1.5m、幅約60cmの石垣の上にほかの碑と共に立つ。大き目の1段の台石の上に大きめで幅広の自然石が乗り、気持ちのいい、雄大な眺めだ。碑の花が供えてあり、調査日には碑の横に咲くシヤガの花が供えてあった。建立年がないのが残念だ。
 (調査日2020年5月1日
 写真は2012年10月31日)



【大田市67】大田市温泉津町湯里 専念寺 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市温泉津町湯里温泉郷下 鉄道高架下 専念寺の道路脇
 北緯35°06'32.68" / 東経132°22'33.71"



碑石 高さ200/幅62/奥行36
 台石1段目 高さ46/幅110/奥行109
 台石2段目 高さ30/幅148/奥行141
 台石3段目 高さ27/幅199/奥行164

【建立年】天保11年(1840)
 【建立者】本郷/温泉郷下組/湯湊
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保癸丑之夏五月二十六日卒/故明府井戸平左衛門正明君祀奠碑「碑石左面」維皆天保庚子初夏謹建焉「一段目台石前面」(右から)本郷/温泉郷下組/湯湊「同左右面」世話人名数人か(読めない)
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】道路沿いに地藏堂と並んで立つ。碑銘は道路側に彫ってある。大きな碑で、道路から約50m高い場所にあることもあって、見上げるほど大きい。比較的軟らかそうな石だが、傷みは少ない。
 (調査日2019年1月17日)



【大田市68】大田市温泉津町湯里中村 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市温泉津町湯里中村 K201 沿い (豊田屋の下)
 北緯35°05'48.25" / 東経132°22'44.91"



(単位: cm)
 碑石 高さ160/幅77/奥行60
 台石 高さ18/幅106/奥行105

【建立年】文政11年(1828)
 【建立者】温泉本郷上組
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑五月廿六日/前御代官井戸平左衛門□□□/調立主温泉本郷上組/世話人周平エ/好藏「碑石左面」皆文政十一戊子五月謹立/村役人 林義助/山根周助/同苗勇藏/安田豊平エ「碑文の一部は「ふるさとアルバム」(平成8年山本隆慶著)による」
 【台石】なし
 【調査の経過】比較的重い自然石だが、碑石右面の小さな文字は浅くなっているため読みにくい。碑銘と、文字の下に蓮の花を配した図案が野田、専念寺の碑に踏襲されたようだ。
 (調査日2019年1月12日)



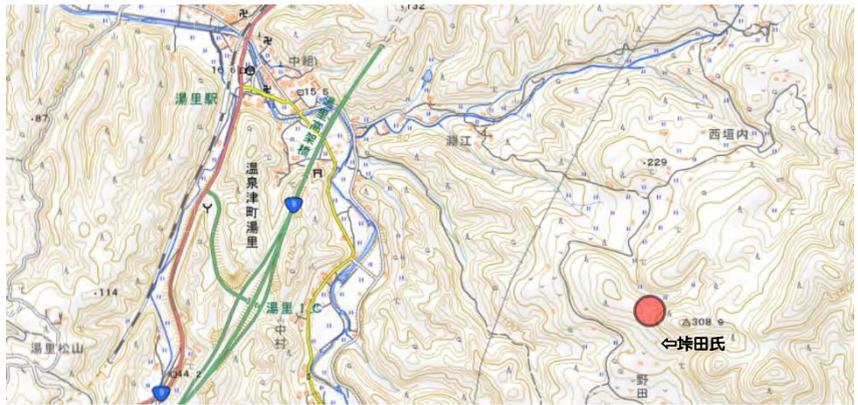
【大田市69】大田市温泉津町湯里 野田新谷 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市温泉津町湯里野田 埵田氏宅前の山道を約200メートル上がった新谷家の墓地
北緯35°05'56.88" / 東経132°23'37.44"



碑石 高さ180/幅62/奥行36
台石1段目 高さ23/幅95/奥行93
台石2段目 高さ27/幅130/奥行130
台石3段目 高さ30/幅185/奥行188

【建立年】不明
【建立者】野田組中
【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士(右に) 享保十八癸丑五月廿六日 野田(左に) 井戸平左衛門尉諱正明 組中
【碑石左右面】なし
【一段目台石前左右面】(ふるさとアルバム)より) 当時庄屋坂根一平/当時頭百姓臼井仁五右エ門/当時百姓代帯刀又十郎/世話方宮原祐右エ門/同山田千代太郎/山田吉子平エ/山本佐平/足利吉左エ門/福光石工忠四/竹作/野田石工藤十郎/同保国/難波松太郎/新右エ門
【そのほか】文字なし
【調査の経過】
傷みは少ない。専念寺の石碑同様、大きな石碑だ。
(調査日2019年1月12日)



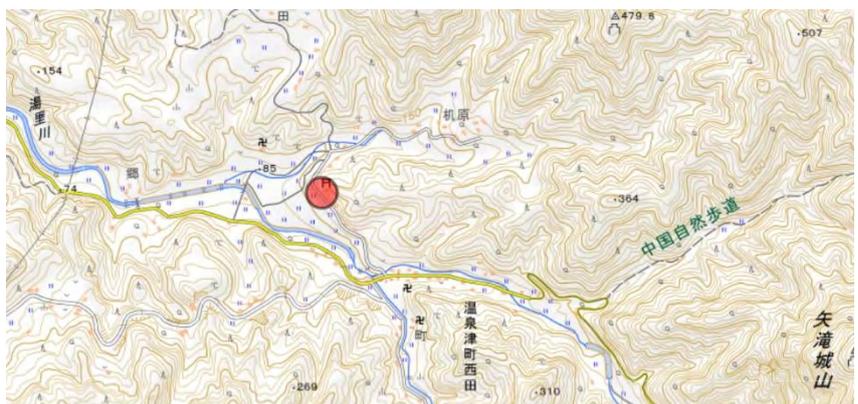
【大田市70】大田市温泉津町湯里西田 水上神社 **井明府之碑**

所在地 大田市温泉津町湯里西田 水上神社参道石段右手
北緯35°05'24.95" / 東経132°23'41.99"



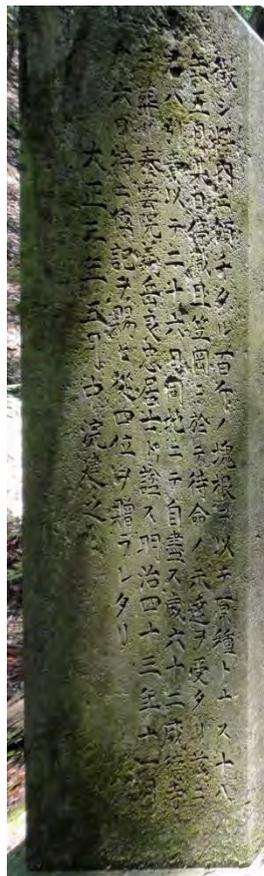
碑石 高さ128/幅47/奥行33
台石1段目(猫足部分) 高さ59/幅92/奥行76
台石2段目 高さ25/幅122/奥行97
台石3段目 高さ21/幅152/奥行123

【建立年】安政2年(1855年)
【建立者】不明
【碑石前面】井明府之碑
【碑石左面】安政二年龍舎乙卯七月建之「そのほか」文字なし
【調査の経過】
「井明府之碑」の文字が深く彫られていて「碑」の文字の下部分が剥落している。碑石の背面全面ほかセメントで補強されている。猫足にするなど格調高い(No.49 水上町福原下の碑と酷似)。神社に上がる石段の右手に、道路から約1.5m高い場所に設置場所を整備して設置されており、丁寧な扱いが感じられる。安政2年の「泰雲院殿石碑取立勘定帳」に設立時の記録が残る。
(調査日2019年1月12日)



【大田市72】大田市温泉津町日祖 大元神社 井戸平左衛門君之碑 続き (碑文)

碑石後面



碑石左面



碑文 (碑石左面)

君諱ハ正明享保十六年九月二日石見代官ニ補セラレ十三日大森ニ着任シ石見備中備後三國ノ幕領ヲ支配ス當時比年稔ラス大森銀山料地ハ荒涼ヲ極メタルヲ以テ賑恤救荒ハ大ニ力ヲ致シタルトコロナレハ凍餓流亡者ヲ生セス殊ニ中國に於ケル今日ノ甘藷ハ君力鹿兒島ヨリ

(碑石後面)

徴シ料内ニ頒チタル百斤ノ塊根ヲ以テ原種トナス十八年五月某日停職且笠岡ニ於テ待命ノ示達ヲ受タリ茲ニ君ハ引責以テ二十六日同地ニテ自盡ス歳六十二威徳寺ニ葬リ泰雲院義岳良忠居士ト諡ス明治四十三年十一月十六日特ニ記ヲ賜ヒ從四位ヲ贈ラレタリ

大正三年五月中浣建之

【大田市73】大田市温泉津町温泉上町 正明井戸君碑

所在地 大田市温泉津町温泉街温泉上町 町営バス温泉津上町バス停前の交差点
北緯 35° 05' 48.27" / 東経 132° 21' 04.90"



【建立年】明治16年(1883) 再建

【建立者】不明

【碑石前面】正明井戸君碑(左に)
大教正華頂山松翁(印)

【碑石右面】明治十六癸未年五月再建之/福光石工 坪内和七

【調査の経過】
温泉津温泉の温泉街を海岸側から進むと、町並みが終わる付近の交差点の北側を整備して、地蔵と井戸公碑が立っている。約1.5段の高さにブロックを積んで広場を作り、階段で上がるようになっていたため、道路から見ると見上げる形になる。

「正明井戸君碑」の文字は知恩院の高僧、養鷗徹定(うがいてつじょう)の揮毫。碑石に苔はあるが傷みはない。

(調査日2020年11月20日)



(単位: cm)

碑石 高さ206/幅70/奥行46
台石1段目 高さ42/幅150/奥行96
台石2段目(コンクリート) 高さ74/幅138/奥行130

【大田市74】大田市温泉津町上村 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市温泉津町上村 市道福光西田線沿い

北緯35°04'26.71" / 東経132°21'30.23"



〔建立年〕嘉永7年（1854）
 〔建立者〕當上村中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠大居士（右に）享保十八癸丑年（左に）五月二十六日逝
 〔碑石左面〕井戸明鑑之鴻恩ヲ謝シテ時／嘉永七年寅四月建碑之／発起者／庄屋木島市郎兵衛／見習木島栄三郎／頭百姓木島吉郎兵衛／伊勢七郎平衛／見習伊勢助一郎
 〔碑石後面〕爰ニ明治廿四年第四月補工事主唱者／木島清之助
 〔玉垣記載文字〕下欄に記載
 〔調査の経過〕市道福光西田線の改良工事の際にここに移転された。石碑広場のような広い場所に立派な玉垣がめぐらされている。広場の規模などが大きく、情報量も非常に多い。
 （調査日2020年4月20日）



(単位：cm)
 碑石 高さ190/幅101/奥行84
 台石 高さ47/幅182/奥行173

【大田市74】大田市温泉津町上村 泰雲院殿義岳良忠大居士 続き（玉垣碑文）

石碑広場のような広い場所に井戸公碑を挟んで「幽蘭女史松尾米子之碑」「故林崎政子先生追慕碑」の2碑、巨大な石灯籠が並んでいる。



〔玉垣右側〕
 當上村中／組頭／平石林平／福富平一郎／原田新平／田儀藤平
 盡力者／組頭／松尾佐平太／田儀良平／田儀健助／木島豊兵衛
 福光西田線道路改良工事二伴ヒ井戸公碑外移転修復工事 昭和六十二年十二月竣了ス／施主兼修復代表石田豊秋
 男／上村東区長 田中正男／上村西区長 平石秀敏
 〔玉垣左側〕
 初工ヲ起シタル際細文字彫刻玉垣等ノ工事ヲ終サルヲ以爰ニ明治廿四年四月再工竣了ス
 組頭／堂本種平／伊勢糸四郎／石田眞十郎／足利臺四郎／矢研田芳平
 再工世話人／坪内與吉／花田源次／大畑玉次郎／山口源市
 石工／坪内利平／坪内善八／重田岡平／重田惣七
 再工石工／坪内利市／坪内和市

【大田市75】大田市温泉津町飯原 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 大田市温泉津町飯原 市道福光西田線沿い

北緯35° 05' 05.63" / 東経132° 22' 45.39"



【建立年】平成8年(1996) 再建
 【建立者】飯原地区中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石左右・裏面】なし「台石」なし「周囲のブロック塀前」この井戸公碑は約百メートル西の森ヶ段地内にあったものを福光西田線工事にもない移転再建したものである／平成八年六月／飯原地区中
 【周囲のブロック塀の石碑裏】施工 青笹組／石工 おぎや石材 中祖勉／協力 木山組／世話人／代表 田中清秋／重田明／青笹元
 【調査の経過】上村と同じ市道福光西田線沿いにある。道路工事に伴って再建。周囲を広くブロック塀で囲んでいて立派なしつらいだ。
 (調査日2020年4月20日)



(単位：cm)
 碑石 高さ163/幅130/奥行48
 台石1段目 高さ21/幅174/奥行112
 台石2段目 高さ40/幅165/奥行100

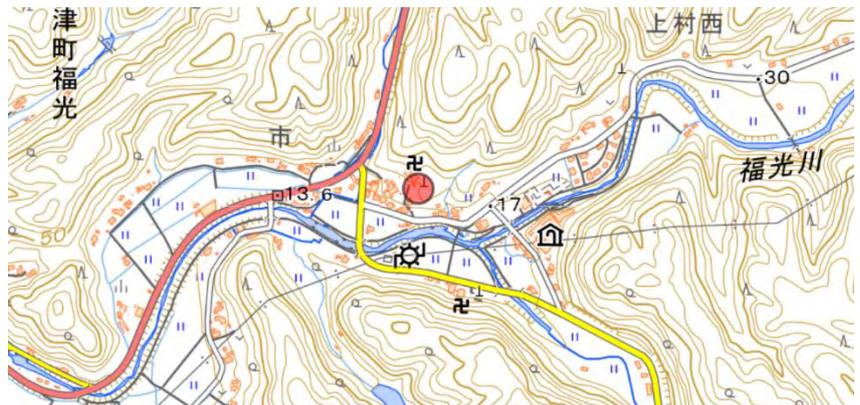
【大田市76】大田市温泉津町福光市 浄光寺 井戸公之碑

所在地 大田市温泉津町福光市 浄光寺墓地入口

北緯35° 04' 14.86" / 東経132° 20' 48.66"



【建立年】昭和59年(1984) 再建
 【建立者】(発起人名等あり)
 【碑石前面】井戸公之碑
 【碑石裏面】昭和五十九年秋再建／当山第三十二世／信誉正行代「台石裏面」発起人／坪内嘉雄／本田松代／協賛者／大道正信／坪内敬夫／札場実三／坪内善作／坪内良／長畑義徳／田儀善一／平野清市／木村アキヨ／福富トミヨ／滑正
 【調査の経過】ブロックを積んだ3段の石組の上に自然石の台石を乗せ、碑石は御影石の前面を磨いたもの。昭和59年建立と新しく、「井戸公之碑」の文字も近代的だ。「滑正」は協賛者とは別の場所に彫られている。石工の名か。
 (調査日2015年5月5日)



(単位：cm)
 碑石 高さ95/幅80/奥行36
 台石1段目 高さ38/幅120/奥行78
 台石2段目(ブロック) 高さ70/幅183/奥行146

【大田市77】大田市温泉津町福光林 西田氏宅裏 井明府之…

所在地 大田市温泉津町福光林 西田氏宅裏

北緯35°03'56.15" / 東経132°20'20.42"



(調査日2015年5月5日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井明府之：
 【碑石側・裏面】記載なし
 【台石】記載なし
 【調査の経過】
 西田氏宅は家の裏に楞嚴寺の末寺の龍泉寺があったとい、碑は境内跡地に立つ。碑銘以外には何の刻字もないので、建立者、年代は不明。福光石製で一部剥離している。
 【注】建立場所は個人の宅地内なので、訪問の際には西田氏の許可が必要。

碑石 高さ87/幅35/奥行28
 台石1段目
 高さ11/幅46/奥行38
 台石2段目
 高さ26/幅52/奥行55
 台石3段目
 高さ28/幅76/奥行78
 台石4段目
 高さ32/幅107/奥行105
 台石5段目(石組)
 高さ13/幅142/奥行142



【大田市78】大田市温泉津町福光白谷 市道三差路 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市温泉津町福光 白谷 市道白谷線と同白谷取付線の交差点 (K32 から約100m)

北緯35°03'14.48" / 東経132°20'49.16"



(調査日2013年9月14日)

【建立年】慶応4年(1868)
 【建立者】上組中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑年/五月廿六日
 【碑石左面】井戸君平左衛門諱正明/原卒去後五拾回當福光中依/恩澤百姓始建是本願今茲慶/應四戊辰三月上組新建立之
 【二段目台石前面】上組中
 【調査の経過】
 碑文を読むと井戸公没後50年を記念して建てたとあり、後半には「新建立」とあるので、没後135年に再建したのでろう。4段の台石を積み端正な碑だが、剥離が進んでおり、訪ねるたびに文字が読めなくなっている。

碑石 高さ115/幅38/奥行40
 台石1段目
 高さ36/幅65/奥行67
 台石2段目
 高さ35/幅96/奥行93
 台石3段目
 高さ36/幅126/奥行125
 台石4段目
 高さ34/幅156/奥行155



【大田市79】大田市温泉津町福光 福光八幡宮 井戸神社

所在地 大田市温泉津町福光 福光八幡宮 拝殿左手

北緯35°04'28.23" / 東経132°19'54.01"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕不明
 〔祠前面〕井□□□ (井戸神社)
 〔調査の経過〕
 福光八幡宮の拝殿に向かつて左側に2つの祠があり、その左側。「井戸神社」と書いてあると思われるが、現在は「井」だけがはっきり読み取れる。神社の案内板に境内社として「井戸神社」の文字がある。
 石村勝郎氏の「いも神さま 井戸平左衛門 石見銀山代官」には、「明治時代に郡長が戸長(村長)を集めて『小地区内ごとに井戸神社を祭るよう』と指示があった」と書かれており、それを受けて、福光八幡宮や太田八幡宮などに井戸神社があるのだろうか。
 (調査日2020年11月11日 写真2011年2月10日)



(単位: cm)
 祠 高さ148/幅125/奥行115
 台石(石組)
 高さ108/幅141/奥行135

【大田市80】大田市温泉津町福光湊西 井戸公頌徳碑

所在地 大田市温泉津町福光湊西 K203 沿い

北緯35°04'25.51" / 東経132°19'43.93"



〔建立年〕昭和26年(1951)
 〔建立者〕不明
 〔碑石前面〕井戸公頌徳碑
 〔碑石裏面〕昭和二十六年十月建之「そのほか」文字なし
 〔調査の経過〕
 県道沿い北側の民家の隣接地を公園のようにしつらえ、数段の階段を上がって行くようになっていた。碑石は254センチ、最大幅81センチもある御影石の艶のある堅い自然石。碑石だけの大きさでは大田市で最大のもの。自然石の台石1段目の下にはきちんと石を2段積んだ石組がある、とても立派な碑だ。総高さは355センチもある。ただ、建立年はあるものの(再建か?)建立者の名などが彫ってなく情報が少ない。
 (調査日2020年4月22日)



(単位: cm)
 碑石 高さ254/幅81/奥行48
 台石1段目
 高さ41/幅134/奥行55
 台石2段目(石組)
 高さ60/幅151/奥行117

【大田市81】大田市温泉津町福光釜野 **井戸殿墓口**

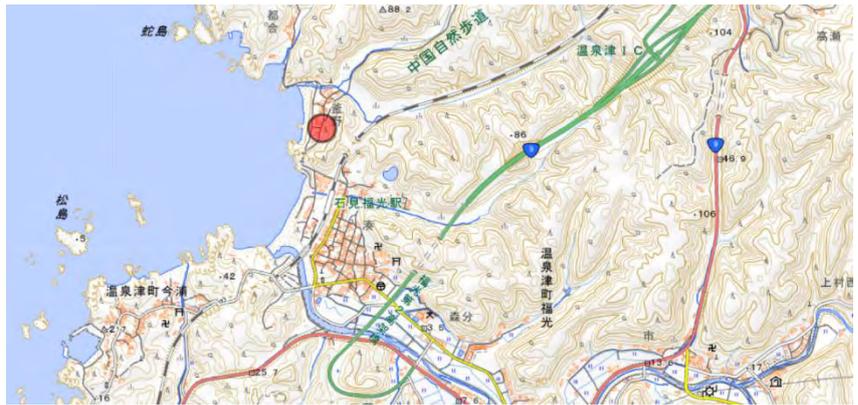
所在地 大田市温泉津町福波釜野 市道沿い

北緯35°04'46.42" / 東経132°19'43.98"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸殿墓口（「塔か？」）
 【調査の経過】市道沿いの高手に、この石碑を設置するために設けられたと思われる場所に立つ。左右に桜の木が1本ずつ植えられている。近くに鉄道のトンネル工事をする際に、擁壁をしてここに設置したか、碑の前の道路工事の際に移設されたか。石段と擁壁に囲まれているが、木々にも覆われていて、割と湿気の多そうな場所。碑石は自然石だが比較的軟らかく、「井戸殿墓」の下の文字が痩せて読めない。すぐ近く（南側）の市道沿いに松浦屋与兵衛の解説板がある。

（調査日2020年11月11日）



(単位: cm)
 碑石 高さ161/幅43/奥行40
 台石1段目 高さ30/幅87/奥行87
 台石2段目 高さ61/幅147/奥行147

【大田市82】大田市温泉津町今浦 **井戸公頌徳碑**

所在地 大田市温泉津町今浦 K203 沿い

北緯35°04'11.32" / 東経132°19'08.77"



【建立年】昭和45年（1970）再建
 【建立者】今浦浦会
 【碑石前面】井戸公頌徳碑
 【碑石裏面】昭和四十五年五月二十六日再建／今浦浦会
 【調査の経過】ブロック製の玉垣もあり、その一部に「福光村石工／坪内平作」とある。碑はしっかりした造りに見える。3段目の台石はコンクリート製だと思われるが、いかにも石を積んだようなていねいな造り。1段目の台石には海岸部らしく海石が使われている。近所の方に聞くと、旧碑が折れたため再建したと言う。碑の後ろに旧碑が寝かされており「井戸平左衛門尉」などの文字が読める。

（調査日2020年11月11日）



碑石 高さ173/幅60/奥行38
 台石1段目 高さ27/幅119/奥行67
 台石2段目 高さ23/幅139/奥行95
 台石3段目(コンクリート) 高さ120/幅224/奥行173

【大田市83】大田市温泉津町吉浦 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 大田市温泉津町吉浦 敬願寺前 K203 海側

北緯 35° 03' 50.41" / 東経 132° 18' 57.55"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【その他】刻字なし
 【調査の経過】
 大田市最西端の碑。神社の神輿が休憩する「御幸所」として整備されたコンクリートの広場に立つ。どっしりとした自然石に隷書で碑銘が彫られ、その下に蓮の花もあしらった堂々とした碑だが、建立者、建立年などの情報が彫られていないのが残念。
 碑の前の県道203号の延長には今浦、湊西と3基の碑が続いて立っており、福光地域の皆さんの井戸公に対する思いが強いことがうかがえる。
 (調査日2020年11月11日)



(単位: cm)
 碑石 高さ178/幅90/奥行32
 台石1段目
 高さ36/幅134/奥行64
 台石2段目
 高さ24/幅197/奥行158

【大田市84】大田市温泉津町井田元井田 井戸公之碑

所在地 大田市温泉津町井田元井田 市道沿いの法面

北緯 35° 02' 32.52" / 東経 132° 21' 56.73"



【建立年】大正15年(1926)再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸公之碑
 【碑石右面】享保十八年五月廿六日卒去「碑石左面」大正十五年八月再建
 【調査の経過】
 県道32号から市道を少し入った場所。法面には崩落防止の金網が張つてあるが、その一部を平らに加工し、この碑だけが建っている。草に覆われてしまいそうな場所だが、いつ行っても碑の周囲はきれいに手入れがされている。旧碑の部分と思われる石材が碑の後ろに置いてある。碑の前には田んぼが広がり、井戸公が豊作を願いながら農作業を見守っているようだ。
 (調査日2020年11月11日)



(単位: cm)
 碑石 高さ123/幅47/奥行44
 台石1段目
 高さ20/幅75/奥行65
 台石2段目
 高さ50/幅125/奥行不明

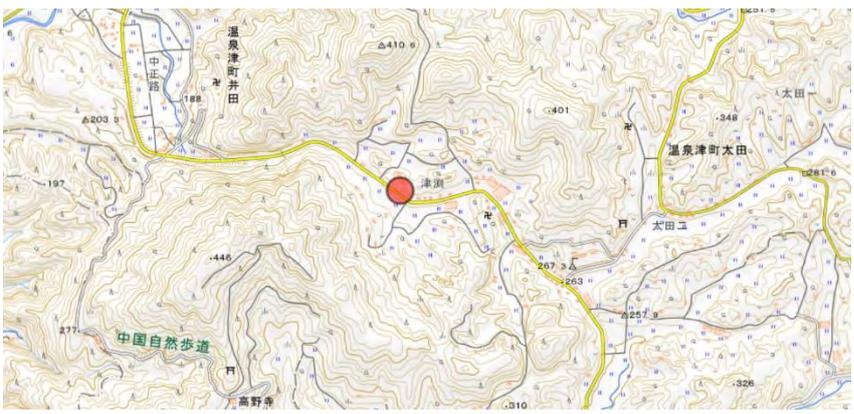
【大田市85】大田市温泉津町井田津淵 K32 沿い **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市温泉津町井田津淵 K32 沿い JA ライスセンター下
 北緯 35° 02' 05.43" / 東経 132° 22' 38.52"



【建立年】不明
 【建立者】當邑中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑五月二十六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正明
 【二段目台石前面】當邑中
 【二段目台石左面】世話人／新七／安平
 【調査の経過】
 県道32号沿いの北側の高手約2メートルの場所に立つ。この碑の後ろには地域の方の墓地がある。碑は福光石でかなり剥落が進んでいる。世話人の名に姓がないので江戸時代の建立だろう。台石2段目「當邑中」の文字はかなり大きく、石碑建立を実現させた当時の皆さんの意気込みが感じられる。
 (調査日 2020年11月11日)

碑石 高さ98/幅35/奥行35
 台石1段目 高さ27/幅56/奥行57
 台石2段目 高さ27/幅80/奥行80
 台石3段目 高さ21/幅105/奥行110



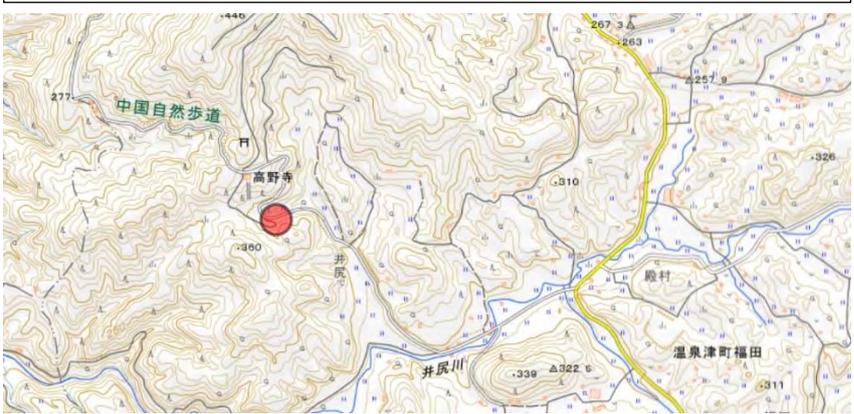
【大田市86】大田市温泉津町井田井尻 高野寺下 **寿真碑**

所在地 大田市温泉津町井田井尻 高野寺参道階段手前の道路沿い 地藏堂横
 北緯 35° 01' 30.75" / 東経 132° 22' 14.60"



【建立年】不明
 【建立者】當村中
 【碑石前面】寿真碑
 【碑石右面】享保十八年／五月廿六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正明
 【碑石裏面】なし
 【二段目台石前面】當村中
 【二段目台石左面】発起人／田仲彦太郎／重富繁太郎／石戸徳市／渡邊種市
 【二段目台石後面】金一円高野寺／同五十銭涅槃寺／同全田中庄太郎／同四十五銭田中久吉／同全渡邊綱田良／同全重富繁太良／同四十銭石戸徳市／同廿六銭山中文吉／同廿五銭山中原吉／同廿三銭花田庄太良／同全松原房太良
 同全森川元三良／同全桜木新吉
 同全福田コト
 【二段目台石右面】同老円三十二銭五厘三十名
 石工／坪内小十郎作
 【調査の経過】
 地藏堂の横。寄附者名と金額が彫られているのが珍しく興味深い。
 (調査日 2020年4月20日)

碑石 高さ91/幅31/奥行30
 台石1段目 高さ20/幅47/奥行47
 台石2段目 高さ20/幅65/奥行61
 台石3段目 高さ22/幅91/奥行90



【大田市87】大田市温泉津町井田殿村 市道沿い **井戸正明碑**

所在地 大田市温泉津町井田殿村 市道沿い

北緯35° 01' 25.53" / 東経132° 22' 59.45"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕元殿村中
 〔碑石前面〕井戸正明碑
 〔碑石右面〕享保十八年五月廿六日
 〔二段目台石前面〕元殿村中
 〔二段目台石左面〕□話人／池野善四郎／川村権吉／川平□治／福光石工／山中清七
 〔調査の経過〕
 県道32号の殿村から折れて高野寺に向かう道を右折してすぐの坂道沿いに地蔵堂と並んで立っている。台石を6段も積んだ迫力のある碑で、殿村の皆さんの意気込みが感じられる。かなり傷みがあり、ひび割れや剥落、台石のゆがみも見える。碑の後ろには桜の木が1本植えられている。台石2段目と3段目に盃状穴がある。
 (調査日2020年11月11日)

碑石 高さ107/幅37/奥行38
 台石1段目 高さ23/幅59/奥行58
 台石2段目 高さ25/幅80/奥行80
 台石3段目 高さ30/幅103/奥行101
 台石4段目 高さ31/幅137/奥行138
 台石5段目 高さ21/幅170/奥行171
 台石6段目 高さ31/幅219/奥行220



【大田市88】大田市温泉津町井田福田 願林寺向い **嘉恵碑**

所在地 大田市温泉津町井田福田 願林寺下 K32 北側 地蔵堂隣

北緯35° 00' 58.80" / 東経132° 23' 35.17"



〔建立年〕不明
 〔建立者〕當村中
 〔碑石前面〕嘉恵碑
 〔碑石右面〕享保十八癸丑年／五月二十六日
 〔碑石左面〕井戸平左衛門正明
 〔台石二段目正面〕當村中
 〔調査の経過〕
 県道32号の川本町境。石碑のたずまいといい、3文字の碑銘といい、高野寺下の「寿真碑」とよく似ている。ただ、寄付者の名前などの情報は無い。こちらも地蔵堂の横にあり、しかもどちらの地蔵堂も新しい。色が黒ずんでいてわかりにくいのが福光石のような石。苔はあるがあまり傷んではいない。台石4段目は宮本調査では高さ32センチとあるので、後日コンクリートが巻かれたのだろう。
 (調査日2020年4月20日)

碑石 高さ100/幅33/奥行32
 台石1段目 高さ25/幅55/奥行55
 台石2段目 高さ28/幅74/奥行75
 台石3段目 高さ29/幅105/奥行105
 台石4段目 高さ10/幅140/奥行138



【大田市89】大田市温泉津町井田横道 **井明府之碑**

所在地 大田市温泉津町井田横道 横道集落センター裏の法面下
 北緯35° 01' 47.85" / 東経132° 24' 01.77"



碑石 高さ99/幅33/奥行32
 台石1段目
 高さ24/幅55/奥行55
 台石2段目
 高さ26/幅74/奥行75
 台石3段目
 高さ28/幅105/奥行105

【建立年】安政2年(1855)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】井明府之碑
 【碑石右面】安政二乙卯歲冬十月建之「碑石左面」碑文「恭惟井戸正明君徳性温厚而仁愛洽於洲邦合ノ民教植蕃薯芋故從□□高諭而後□歲植之明ノ蔓繁殖諸民共食之而凌飢渴者居多也無嗚呼ノ正明君之為偉□哉無□□其澤者故諸民欽□□無疆依而建碑以長感□其恩徳云爾」
 【二段目台石前面】當村中
 【同左面】庄屋ノ平治衛門ノ頭百姓ノ清右衛門ノ同ノ力蔵ノ世話人ノ會蔵ノ平一郎ノ除平
 【同右面】石工ノ平□□エ
 【調査の経過】地蔵堂の近くに、ほかの碑2基と並んで立つ。石がやせていて、読めない文字もある。
 (調査日2020年5月25日)



【大田市90】大田市温泉津町井田太田 太田八幡宮 **井戸神社**

所在地 大田市温泉津町井田太田 太田八幡宮(合祀)
 北緯35° 01' 59.90" / 東経132° 23' 16.58"



【建立年】明治40年(1907)
 合祀
 【建立者】太田八幡宮
 【調査の経過】石段下に設置された説明板には「(前略)合祀された神社に井戸神社(祭神、井戸正明)がある(中略)明治40年(1907)の合祀」とある。祠はない。
 (調査日2020年5月25日)

太田八幡宮
 御祭神 応神天皇 玉依姫命 功皇后
 合祀された神社に井戸神社(祭神、井戸正明)があるのが歴史的興味をそそる。
 明治40年(1907)の合祭。ほかに明治40年(1907)に合祀された神社に嶽山神社(天御雲主命)、三輪神社(大物主命、大國魂命、事代主命)、春日神社(天児屋根命ほか三神)、嶽島神社(市杵島姫命)
 八幡宮の前身は嶽山神社で、平安時代に大家庄、西の郷(太田・福田・横道・當村・津洲・井尻・田窪・谷住郷の八か村)の氏神だったが、やがて妙見宮と改称した。
 鎌倉時代になって地頭の御神本氏が八幡宮を迎えて氏神とし、妙見宮を横道の嶽山に移し、妙見宮は明治6年(1873)に嶽山神社となった。



【大田市91】大田市温泉津町井田太田 市道沿い **泰雲院殿義岳良忠大居士**

所在地 大田市温泉津町井田太田 市道沿い

北緯35° 02' 01.90" / 東経132° 23' 37.20"



【建立年】昭和5年(1930)再建
 【建立者】太田區
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】享保十八年五月二十六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正朋
 【碑石裏面】昭和五年十月再建
 【一段目台石前面】太田區
 【同左面】再建発起者/重田為市/萩本政太郎/森田春市/寄附者芳名/イロハ順/花田辰太郎/埜阿一/長尾仵/小川真/岩倉又市/板倉円吉/花田弥吉/花田時太郎
 【同裏面】萩本伊吉/萩本與吉/萩本晴信/埜作市/竹崎文吉/長尾正樹/室田仁太郎/柳井流情/榎進吉/畦田善作/坂根賢/坂井政知/水黒幾太郎/澄田松市/萩本政行/重田貢/森田春市



【同右面】役人/新右衛門/只右衛門/勝右衛門/世話人/平助/幾七/伊之吉/再建発起者/水黒幾太郎/萩本友市/萩本安二/木村清太郎/板倉円吉
 【調査の経過】
 台石の3面に渡って寄付者等の名前が彫ってある。
 (調査日2020年5月25日)

碑石 高さ110/幅34/奥行28
 台石1段目 高さ24/幅60/奥行61
 台石2段目 高さ26/幅79/奥行79
 台石3段目 高さ28/幅108/奥行120

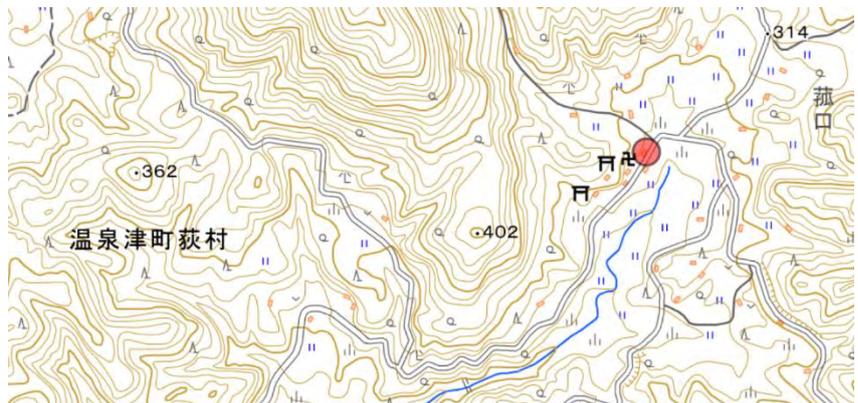
【大田市92】大田市温泉津町井田菰口 荻村集会所向い **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 大田市温泉津町井田菰口 荻村集会所向い

北緯35° 03' 40.38" / 東経132° 23' 53.81"



【建立年】不明
 【建立者】荻邑
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士/右側に「享保十八癸丑歳/施主」左側に「五月二十六日/荻邑」
 ほかに文字はなし
 【調査の経過】
 道路沿いに石積み3段の約1坪の高さに広場を作り、石碑、石灯籠などが並べられたうちの中央に位置する。建立年はないが、ほかの石碑に「明治三十八年」石灯籠に「大正五年」とあるので、同時代に建立されたのだろう。碑石も大きい部類だし、飾り野や法名の下に蓮の花をあしらうなど、ていねいな造りだ。道路の高手に並ぶ8基の石碑群はかなり存在感がある。
 (調査日2020年11月11日)



(単位: cm)
 碑石 高さ185/幅60/奥行49
 台石1段目 高さ25/幅92/奥行90
 台石2段目 高さ33/幅127/奥行122

【大田市93】大田市仁摩町仁万天神 仁摩小学校下 井戸正明……

所在地 大田市仁摩町仁万天神 仁摩小学校下 前谷工務店前

北緯35° 09' 07.79" / 東経132° 23' 56.52"



碑石 高さ82/幅35/奥行26
 台石1段目 高さ20/幅49/奥行42
 台石2段目 高さ18/幅65/奥行56
 台石3段目 高さ22/幅128/奥行100

【建立年】明治30年(1897)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸……(宮本調査では「井戸正明……」)
 【碑石右面】享保十八年五月廿五日死去「碑石左面」明治三十年八月六日「台石」なし
 【調査の経過】
 仁摩小学校の下、大田西中学校の横に当たる。道路の海側に岩盤を削って広場を作り、碑の前には山茶花が植ええられるなど庭園風のしつらいだ。碑は福光石で傷みが激しく、剥落も多くて、宮本調査では建立者の名前が「本地亀五郎」と読めたところが、調査日には読めなかった。場所が海に近いため傷みが早かったと思われる。
 (調査日2020年11月20日)



【大田市94】大田市仁摩町天河内 泰雲院殿義岳良忠居士欽徳碑

所在地 大田市仁摩町天河内 天河内から馬路に抜ける里道沿い(馬路の琴ヶ浜展望台から100m北の、右手に地蔵がある場所から里道を入れて約200m)

北緯35° 08' 29.38" / 東経132° 23' 34.00"



(単位: cm)
 碑石 高さ164/幅47/奥行27
 台石1段目 高さ46/幅87/奥行60
 台石2段目 高さ43/幅170/奥行124

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士欽徳碑
 【碑石右面】「享保十八癸丑五月廿六日……」と思われる文字があるが不鮮明。「碑石左面」文字が彫ってあるが不鮮明で読めない。「台石」自然石で刻字なし
 【調査の経過】
 琴ヶ浜展望台の北の道路山側の小さな地蔵から里道を約200m進んだ場所にある。約1mの石垣を積んだ平地が整備され、中央部の階段を上がると広場の中央部に石碑がある。石碑は白っぽい少し粗めの自然石で硬く、しつかりしている。左右の文字は浅く彫られたためか読むのが難しい。石碑も大きく、端正なたたずまいだ。
 (調査日2019年2月22日)



【大田市95】大田市仁摩町宅野 波啼寺上 井戸府報徳碑

所在地 大田市仁摩町宅野 波啼寺の右側にある往還道の上り坂を約700m上がった峠の広場
北緯35° 10' 08.37" / 東経132° 24' 48.05"



【建立年】元治元年（1864）
【建立者】不明
【碑石前面】井戸府報徳碑
【そのほか】文字なし
【調査の経過】郷土資料によると碑石前面の文字は貫名海屋の揮毫という。石碑前の石灯籠には右に「元治元年」の文字があるので、石庭全体の建設が元治元年（1864）と推察される。この場所は宅野と五十猛を結ぶ往還道の峠の広場で、向かいには茶屋もあってにぎわったという。当時の宅野の有力者たちが、貫名海屋の書に恥ずかしくないようにと、たくさん大きな石を運び込んで石庭を建設したのだろう。行き交う人々が井戸公に思いを寄せた風景が蘇る。
大田市内で唯一、市の文化財に指定されている井戸公碑だ。
（調査日2019年2月24日）



碑石 高さ180/幅70/奥行70
台石1段目 高さ37/幅135/奥行135
台石2段目 高さ31/幅136/奥行130
台石3段目 高さ28/幅170/奥行162
台石4段目 高さ35/幅205/奥行190

【大田市96】大田市仁摩町大國 石見城下 井戸平左衛門府君遺澤之碑

所在地 大田市仁摩町大國 石見城下
北緯35° 08' 26.02" / 東経132° 25' 09.86"



(単位：cm)
碑石 高さ128/幅49/奥行33
台石1段目 高さ17/幅79/奥行き62
台石2段目(猫足) 高さ27/幅110/奥行93
台石3段目 高さ23/幅140/奥行119
台石4段目(石組) 高さ48/幅190/奥行171
台石5段目(石組) 高さ70/幅378/奥行343

(調査日2020年11月20日)

宮本調査の勝音寺のデータを参照すると、碑石、台石とも元のまま使われているようだ。傷みはなく、文字もはっきり読める。周囲には松や山茶花が植えられており、公園風のところになっている。近くには世界遺産石見城の解説板もあるので、石見銀山を訪れる人の中には、この立派な井戸公碑を見学する人もあるだろう。

【建立年】平成元年（1989）再建
【建立者】大國町文化推進協議会・井戸公石碑移転建設委員会
【碑石前面】井戸平左衛門府君遺澤之碑
ほかに文字はないが、碑の左隣に石の解説版が設置されている（碑文と地図は次葉記載）
【調査の経過】石見城のふもとの旧道沿いに広場を整備して建てられている。この碑はもともと川西地区の勝音寺にあったものを、大國町文化推進協議会・井戸公石碑移転建設委員会が町内から寄付を募り、この場所に移転した。

【大田市96】大田市仁摩町大國 石見城下 井戸平左衛門府君遺澤之碑 続き (解説板)



井戸平左衛門(正明)公は石見銀山第十九代代官として享保十六年(一七三二)から同十八年迄三年間務められた。当時は享保の大飢饉の最中で西日本に於ける餓死者は十数万人におよんだといわれる。この時幕府の命令にさきがけて官庫を開いたり年貢の減免などを決断しその上私財を投じて領民を救いさつま芋栽培の奨励をして「いも殿様」とあがめられた。その遺徳を偲ぶ頌徳碑は県下全域に建立されている。本町にも先祖が建立した稀に見る程の立派な石碑が元勝音寺境内に設置されていたがこの程人目にふれるこの地に移転して末永く井戸公の恩に報いることとした。

平成元年(一九八九) / 大國文化推進協議会

碑文揮毫 安政三年 / 選書揮毫 近藤芳樹

(歌人・書家) 周防(山口)の出身にて国学を学び号を寄居子庵という 宮内省文学御用掛をつとめ明治十三年八十才で没す

【大田市97】大田市仁摩町馬路 乙見神社 永欽遺澤

所在地 大田市仁摩町馬路 乙見神社境内 本殿右側

北緯35° 07' 31.93" / 東経132° 23' 52.64"



〔調査の経過〕
本殿の右側、ほぼ同じ高さに立つ。「永欽遺澤」の文字は中央に寄っており、上下にスペースがある。上には家紋か梵字でも彫る予定だったのだろうか。石碑の左右面には碑文と世話人の名前が彫ってあるが、石が軟らかいか痩せているのか、文字が読みにくい。ただ剥落や傷みは見受けられない。
(調査日2020年11月20日)

〔建立年〕 明治16年(1883) 再建
〔建立者〕 馬路村
〔碑石前面〕 永欽遺澤
〔碑石右面〕 碑文(次葉に記載)
〔碑石左面〕 幹事 / 山崎五次 / 山崎弥三郎 / 船原庄三郎 / 松浦和兵衛 / 田中□□ / 松浦□□ / 松浦與七郎「台石」なし



(単位: cm)
碑石 高さ240/幅78/奥行65
台石1段目
高さ35/幅35/奥行165
台石2段目(石組)
高さ100/幅285/奥行240



是井戸君平左衛門某之碑也君之來令于此懸元享保十六辛亥年其善政盡行
不□枚拳矣壇其觀土空而移甘薯其澤於黎庶雖經幾千歲不可磨滅者也宕巖
明治十五年壬午五月廿六日為百五十回忌辰而旧碑已茂缺矣於是村民相糺結
据數月更建新碑以表欽慕之意云尔而題碑面者龍谷學士大淵鉄熙記其由者
本邨□生恒三惠建

明治十六歲次癸未五月□旦

位三□志

【江津市01】江津市黒松町内の浦 泰雲院殿義岳良忠居士塔

所在地 江津市黒松町内の浦 大田市境の旧道沿い

北緯35° 03' 40.07" / 東経132° 18' 51.40"



【建立年】平成10年（1998）
 再建
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士塔
 【碑石左面】平成拾戌寅年四月再建
 【二段目台石前面】當村中
 【調査の経過】
 車が入れない旧道沿いに立つ。元の碑は台石が5段あり全高267^セだったが、福光石で傷んだため、町内有志が再建した。2段目から下の台石は旧碑のものを使い、碑石は御影石とした。台石4段目までで313^セあり、それが高さ110^セの石組の上に乗っている。総高さは423^セという壮大なもの。旧碑は後ろに寝かせてあり、できるだけ旧碑の姿や内容を生かして再建された地域の皆さんの心意がすばらしい。

碑石 高さ165/幅55/奥行35
 台石1段目
 高さ33/幅91/奥行65
 台石2段目
 高さ46/幅110/奥行112
 台石3段目
 高さ49/幅146/奥行146
 台石4段目
 高さ20/幅190/奥行190



【江津市02】江津市波積町北 堂ヶ鼻入口 井明府之碑（新碑）

所在地 江津市波積町北 堂ヶ鼻入口にある巨石の上

北緯35° 02' 21.00" / 東経132° 19' 58.76"



【建立年】不明
 【建立者】波□□
 【碑石前面】井明府之碑
 【碑石右面】享保十八年丑年五月二十六日卒
 【二段目台石前面】波□□
 【調査の経過】
 波積町北の堂ヶ鼻入口の道路わきに高さ約1・5^ミの巨石があり、その上に新碑と旧碑が並んで立ち、一対の灯籠もある。湿気の多そうな場所で、草が覆っている状況だったが、碑が傷んでいるようなので草を完全には排除しなかった。台石2段目前面に3文字あったと思われ、右側は「波」と読めるので「波積北」と彫ってあったか。規模としては旧碑とほぼ同様の大きさなので、旧碑を参考にして建立したことがうかがえる。

碑石 高さ111/幅46/奥行31
 台石1段目（猫足まで）
 高さ46/幅77/奥行60
 台石2段目
 高さ28/幅100/奥行87
 台石3段目
 高さ14/幅120/奥行125



【江津市03】江津市波積町北 堂ヶ鼻入口 **不明** (旧碑)

所在地 江津市波積町北 堂ヶ鼻入口にある巨石の上

北緯35° 02' 21.00" / 東経132° 19' 58.76"



(調査日2022年8月26日)

【建立年】不明
 【建立者】波積北
 【碑石前面】……………
 【碑石右面】波積北
 【台石】文字なし
 【調査の経過】
 波積町北の堂ヶ鼻入口の道路わきに高さ約1・5メートルの巨石があり、その上に新碑と旧碑が並んで立ち、一对の灯籠もある。湿気の多そうな場所です、草が覆っている状況だったが、碑が傷んでいるようなので草を完全には排除しなかった。旧碑はさらに多くの草に覆われていた。碑銘は剥落していて文字が読めない状態だった。規模としては旧碑には猫足はないものの、新碑とほぼ同様の大きさだ。

碑石 高さ110/幅48/奥行25
 台石1段目
 高さ30/幅73/奥行58
 台石2段目
 高さ25/幅98/奥行96
 台石3段目
 高さ38/幅145/奥行140



【江津市04】江津市波積町本郷 福城寺 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 江津市波積本郷 福城寺 山門の左手

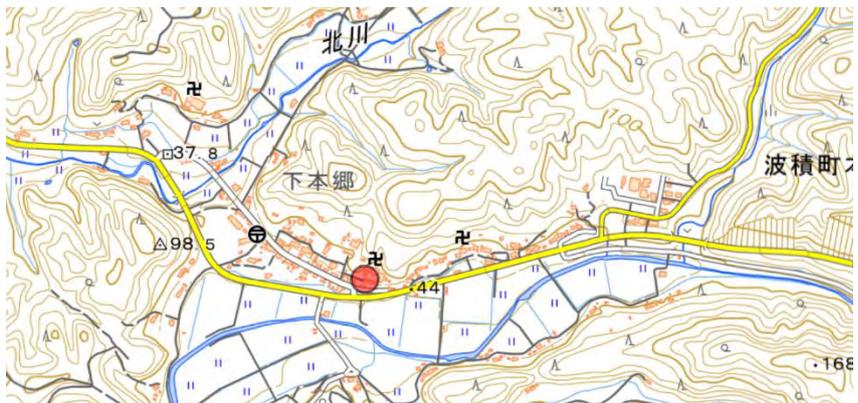
北緯35° 02' 02.04" / 東経132° 19' 57.19"



(調査日2022年8月26日)

【建立年】文政10年(1827)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士(右に)享保十八癸丑(左に)五月二十六日
 【二段目台石右面】文政十丁亥/七月/建之
 【調査の経過】
 福城寺への石段を上がって、山門をくぐらずに左に進むと地藏や灯籠が安置されており、一番左に井戸公碑が立つ。福光石のようだが、屋根で守られているためか全く傷みはなく、最近の石碑に見えるほど。碑の横には卒塔婆が数本立ってかけられており、大切に供養されている様子がわかる。

(単位: cm)
 碑石 高さ123/幅37/奥行25
 台石1段目
 高さ20/幅57/奥行45
 台石2段目
 高さ31/幅73/奥行63



【江津市05】江津市波積町南 立畑前 道路沿い高手 **泰雲**……………

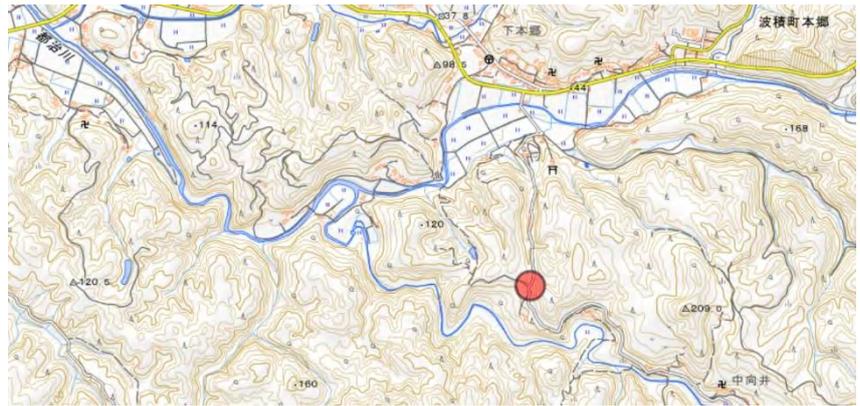
所在地 江津市波積町南 立畑前 道路沿い高手

北緯35° 01' 35.74" / 東経132° 19' 54.59"



【調査の経過】
場所は波積町本郷から波積町南に向かう道路の峠に当たる位置の道路沿い。碑は道路から少し上がった高手にあり、周囲の木々が大きくなっていて目立ちにくい。「奉報惠澤」という珍しい言葉を彫るなど、総高さ344^{センチ}の堂々たるものだ。
(調査日2022年8月26日)

【建立年】天保15年(1844)
【建立者】波積南……………
【碑石前面】泰雲……………
【碑石右面】享保十八年癸丑五月廿六日卒／御代官井戸平左衛門正明君碑
【碑石左面】天保十五年甲辰八月吉日謹建之
【一段目台石前面】奉報惠澤
【二段目台石前面】波積南／頭百姓等10人の氏名(読めず)「同左面」小前中「同右面」發願／越堂



碑石 高さ130/幅45/奥行42
台石1段目
高さ34/幅72/奥行72
台石2段目
高さ42/幅101/奥行101
台石3段目
高さ42/幅111/奥行111
台石4段目
高さ44/幅180/奥行不明

【江津市06】江津市後地町波来浜 大火矢 **不明**

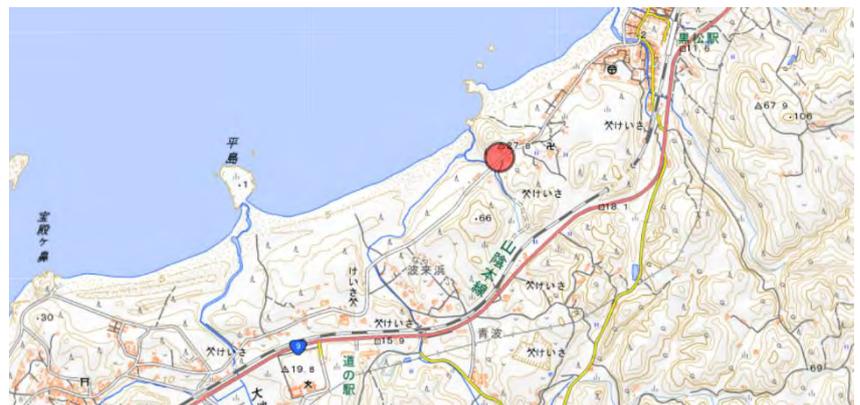
所在地 江津市後地町波来浜 大火矢 道路海側 地藏堂横

北緯35° 03' 08.63" / 東経132° 18' 21.07"



【調査の経過】
後地町から黒松町に向かう海岸道路の海側の、道路から一段低い場所に地藏堂と並んで立つ。周囲はきれいに草刈りがしてあり、気持ちがいい。碑の形は細くて背が高く、比較的小さな台石が一段という、珍しいもの。浅利町曙の碑(No.11)もこの形だ。碑石左面の長文の碑文は文字が小さいこともあつて読めないが、長文であるだけにその内容が興味深い。
(調査日2022年8月26日)

【建立年】文化9年(1812)
【建立者】不明……………
【碑石前面】……………(やせていて読めず)
【碑石右面】千時文化九……………/五月廿六日建／施主……………
【碑石左面】長文の碑文があるが、石の目が粗くやせているため読めない



(単位：cm)
碑石 高さ152/幅26/奥行25
台石 高さ30/幅55/奥行55

【江津市07】江津市後地町尾浜 共同集荷所横

井戸公頌徳碑

所在地 江津市後地町尾浜 共同集荷所横

北緯35°02'42.16" / 東経132°17'23.36"



碑石 高さ137/幅92/奥行52
 台石1段目
 高さ46/幅114/奥行86
 台石2段目
 高さ10/幅82/奥行92
 台石3段目(石組)
 高さ60/幅218/奥行214

(調査日2022年8月26日)

【建立年】平成4年(1992) 再建
 【建立者】尾浜浦
 【碑石前面】井戸公頌徳碑
 【碑石後面】嘉永四年春創建/平成四年十一月再建/尾浜浦
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 尾浜にある共同集荷所の横を広く整地、舗装して場所を造り、この碑が広々と建てられている。旧碑は台石を4段も積んだ堂々たるものだったが、再建された新碑も大きな自然石を使った立派なもの。3段目の石組みの台石も美しい。



【江津市08】江津市後地町藪 K171 沿い

井戸平左衛門之碑

所在地 江津市後地町藪 K171 沿い北側 地藏堂横

北緯35°02'05.47" / 東経132°17'09.42"



(単位: cm)
 碑石 高さ142/幅77/奥行55
 台石1段目
 高さ15/幅113/奥行103
 台石2段目(コンクリート+石)
 高さ85/幅166/奥行160

(調査日2022年8月26日)

【建立年】平成15年(2003) 再建
 【建立者】藪自治会
 【碑石前面】井戸平左衛門之碑
 【碑石後面】平成十五年三月吉日再建/藪自治会
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 「石見瀉」(昭和56年・江津市文化財研究会)によると旧碑は明治3年建立で「多田店前/47年の水害で倒壊」とあり、台石だけ残っているとの記録があった。調査は難航が予想されたが、旧碑の所在地あたりで地元の方に尋ねたところ、県道沿いに再建しているとの情報をいただき、すぐに発見できた。県道の少し高手の階段を上がった場所に、自然石を使い、台石を8段も積んでしっかりした碑が再建されていた。



【江津市09】江津市浅利町宮町 浅利寺 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 江津市浅利町宮町 浅利寺 本堂の裏手

北緯35° 02' 06.28" / 東経132° 16' 03.46"



【建立年】明治18年(1885)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】明治十八年西十月建之
 【碑石左面】當山兼務常福寺住職和田宗達
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 本堂の裏の少し高手に立つ。井戸公の法名は「泰雲院義岳良忠居士」だが、頌徳碑では「院」の下に「殿」、「居士」の前に「大」をつけて碑銘を「泰雲院殿義岳良忠大居士」としているものが多い中、江津市では「殿」だけをつけて「泰雲院殿義岳良忠居士」とした碑が多い(No.01, 04など)。この碑は江津市では少数派の「殿」「大」の両方を採用した碑銘となっている。
 (調査日2022年9月22日)



(単位: cm)

碑石 高さ92/幅32/奥行25
 台石 高さ22/幅68/奥行81

【江津市10】江津市浅利町椽 寄江神社西 200m 泰雲井口君碑

所在地 江津市浅利町椽 寄江神社西 200m R9 沿いの高手

北緯35° 02' 10.09" / 東経132° 15' 45.99"



【建立年】文化7年(1810)
 【建立者】□村中
 【碑石前面】泰雲井口君碑
 【碑石左右後面】長文の碑文あるも読めず(次葉に掲載)
 【二段目台石前面】□主 / □村中 / □世話人 / □工屋此兵衛 / □屋八郎兵衛 / □屋又三郎 / □福光甚七
 【調査の経過】
 国道9号山側に擁壁があり、その高手に立つ。「浅利の今昔」(平成23年)には、「市内の井戸公碑中3番目に古いもの。周囲には玉垣をめぐらした立派なもの。明治20年に国道がこの地をそれについてからは衆目から遠ざかって、今の人にはその所在さえも知らない者が多い。草生え碑は崩れ往昔の面影は全く見られない」(抄)とある。玉垣もほぼ崩れている。
 (調査日2022年9月22日)



碑石 高さ138/幅46/奥行43
 台石1段目 高さ30/幅76/奥行76
 台石2段目 高さ41/幅106/奥行110
 台石3段目 高さ46/幅141/奥行143
 台石4段目 高さ59/幅184/奥行185



写真上が碑石左面、下が碑石右面。どちらも上部にわずかに文字が残っている。

碑石裏面は全面剥落して文字は残っていない。



〔井戸平左衛門正明公〕頌徳碑調査史料
 (昭和55年/島田駒男) による

(碑石左面)
 井戸君諱正朋稱……左衛門……
 管石州銀山之……享保十六年……
 餓死者甚多君愍之如喪其子因凶年……
 段先是琉球國貢甘藷種於薩摩薩人植之味殊甘
 美可以代穀今之所謂琉球芋一名薩摩芋者也蓋
 當時未遍於吾 邦特薩海不毛之地往往以為糧
 而已君聞其有利干民請 官徵其種子薩摩頌諸

(碑石背面 現在は全面剥落している)
 口部令民樹芸逐年繁敷民大説既而君住滿帰干
 江戸享保十八年五月二十六……
 民追感舊恩弗惜每……
 己巳之夏爰老……無知樹石以遺愆……
 止某价京人……田氏請余誌其碍陰会素……
 如未然而君……反乎愛民之愛如斯自非……
 而克此一举……以推君之平生也昔者……

(碑石右面)
 圖襄陽建羊祐碑雖小大事異彼……
 戀戀隨淚則彼我小大亦何別焉……
 其概係以銘銘曰
 功敷艸野民仰其賢一粒之種蒔徳百年……
 文化己巳夏五月 從四品下琴希聲延調撰

島田駒男さんは山梨県の人。農民の姿を研究しているうちに井戸公の治績を知り、大田市、江津市を訪ねて井戸公碑を調査された。江津市分は江津市図書館調査として同館からの提供分を縮小複写して掲載されている。同館の照会調査に対する回答書が複写で紹介されており、浅利町椽の碑は浅利小学校が詳しく回答。それによると玉垣は幅約5 葎、奥行約4 葎もあり、碑の前には石灯籠が1 対建てられていたと平面図も添付されている。

【江津市11】江津市浅利町曙 岡野屋前 道路沿い 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市浅利町曙 岡野屋前 道路沿い

北緯35° 01' 36.76" / 東経132° 16' 23.52"



〔建立年〕明治31年(1898)
 〔建立者〕當村奥口中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八年丑五月二十六日/原田忠市/佐々木好太郎/玄羽喜嘉作/田中増吉/笠藤徳四郎/下河戸
 〔碑石左面〕井戸正朋君碑/明治三十一年十月二十六日建之
 〔一段目台石前面〕當村/奥口中/世話人/松原萬吉/森田兵作/岩谷忠作〔同左面〕施主/杉原萬吉/森田兵作/岩谷忠作/佐々木順市/田中常市/玄羽三代吉/松村柳吉/岩谷林作/田中イワ/植田政吉/上田友市/田中新吉/嶋田安吉/佐々木貞市〔同右面〕佐々木力吉/佐々木大吉/佐々木梅市/上田富市/佐々木政市/玄羽幾市/下河戸/笠藤ウメ/杉原源市/佐々木作市/松村林四郎/上田重吉/佐々木清市/佐々木助四郎/施主

(調査日2022年9月22日)



(単位: cm)
 碑石 高さ135/幅26/奥行26
 台石1段目 高さ32/幅59/奥行59
 台石2段目(ブロック) 高さ40/幅98/奥行137

【江津市12】江津市渡津町塩田 R9 沿い **井明府碑**

所在地 江津市渡津町塩田 国道9号沿い

北緯35° 01' 45.83" / 東経132° 14' 21.58"



碑石 高さ107/幅40/奥行40
 台石1段目
 高さ31/幅64/奥行64
 台石2段目
 高さ25/幅104/奥行104
 台石3段目
 高さ54/幅146/奥行147

【建立年】昭和23年（1948）
 再建
 【建立者】嘉戸・塩田・金川
 【碑石前面】井明府碑
 【碑石左面】萬延元年創建／昭和二十三年十一月再建／再建者 嘉戸・塩田・金川部落
 【二段目台石左面】發起人／室崎勝造／世話人／塩田／林治三次／山根柳作／児玉林七／坂根昇作／安木作市【同後面】金川世話人／岩根好太郎／浅井勇作【同右面】嘉戸世話人／野林源作／野村和市／安部倉清四郎／井上梅三／井上平造
 【調査の経過】
 国道9号に沿う形で坂を下りると、広場に碑が立っている。地図を見ると3自治会の境になるようだ。周囲に玉垣があり、碑の前には新しい石灯籠が1対立っている。碑に傷みはなく、文字もはっきり読める。
 （調査日2022年9月18日）



【江津市13】江津市渡津町岩貝 コミュニティ広場 **井戸公碑**

所在地 江津市渡津町岩貝 コミュニティ広場 国道9号バイパス下

北緯35° 00' 47.05" / 東経132° 13' 58.10"



(単位：cm)
 碑石 高さ171/幅76/奥行33
 台石1段目
 高さ15/幅137/奥行121
 台石2段目
 高さ30/幅206/奥行216

【建立年】昭和33年（1958）
 再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】井戸公碑
 【碑石後面】昭和三十三年四月再建
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 岩貝コミュニティセンターの前に広場があり、そのはずれに静かに立っている。ちょうど国道9号のバイパスのほぼ真下になる。碑石の傷みはない。碑銘は「井戸公碑」と明快。再建年はあるが再建者名がないのが残念。碑の前にある灯籠1対には「世話人 青木寅吉」とある。
 （調査日2022年8月26日）



【江津市14】江津市松川町太田 元佐々木店後 泰雲院殿義岳良忠居士塔

所在地 江津市松川町太田 国道261号沿い 元佐々木店後 (近く移転する可能性あり)
北緯35°00'38.46" / 東経132°15'12.21"



〔建立年〕文化4年(1807)
〔建立者〕施主名大勢あり
〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士塔(居)以下は剥落(右に)享保十八癸丑年(左に)五月二十六日
〔碑石右面〕當御料前御代官/井戸平左衛門尉正明
〔碑石左・後面〕長文の碑文(下欄に記載)「二段目台石前面」施/室田辰之右衛門/石田権左衛門/山根喜右衛門/金川宇平治/金川茂理右衛門/山根嘉久次/中村初五郎/金川種左エ門/山根惣左エ門/主(同右面)清八/利兵エ/清口口/由良茂/次右エ門/武右エ門/市兵エ/次兵エ/十五郎/欠七/多蔵/半蔵
〔同左面〕10人の名があるが浅くて読めず
〔調査の経過〕
碑文の最後に「文化四年」とあり、建立年が分かっているものの中で最も古い。河川工事のため、近く移転する可能性あり。(調査日2022年8月26日)



碑石 高さ105/幅31/奥行31
台石1段目 高さ18/幅50/奥行50
台石2段目 高さ25/幅71/奥行72
台石3段目 高さ31/幅92/奥行94
台石4段目 高さ37/幅116/奥行122

【江津市14】江津市松川町太田 元佐々木店後 泰雲院殿義岳良忠居士塔 続き (碑文)



碑石左面 (殆ど読めない)

〔碑文〕(石見鴻第二号)より (金川宣泰史書写)
夫天地人の三才は天下の堅の柱のごとし天種を下し地苗を生し人たかへして実を収む是天の時なり地の利なり人の和なり当銀山前御代官井戸公御支配享保十六辛亥頃天大に飢饉し農民かてに苦む此公深くあはれみ給ひ江府に届てかてを乞ひ民のうえをすくわしむ官に居り禄に住すと雖も心安にあらず愛憐のしめきにじひの心をしぼり給ふ事諸民の知る所万分が一にも足らずすでに薩州に使用してりうきう芋をもとめかての為に植さしむ此芋の由来は慶長の頃島津候琉球平定の主献せりと聞けり矣諸民此種を拝受すと雖も其作方をしらず茲に長田の医青木秀誠医術求長崎に赴き耕道習伝今民業となす事公の恵なり然りといへども此村畠乏しくて植る土地なし維波積屋五代男石田初右エ門春律常に是を憂い天明三卯大にむし付一統飢渴にたゆ此時諸民介ほうの為め細川に山畠を開き四辺に高さ七尺のへいをつき猪のぼるをふせぎ上に竹垣をゆひしかのとぶをしのぎ其人夫の価を以て困民をいかし其地に芋を植る畠とす再天明八申平山田平を發し四辺の囲を前の如くし倍々民の困きうをすくい安全ならしむる事公と年月隔ると云へども志の深き事ふせつを合る如し故に公の美名をきさんで其徳をのぶほん字を用い又は漢文に書きしるすべけれともわらんべまでよむに安からしめんために和字にて有のまゝに書く
文化四丁卯年 那賀郡太田村医 井上文敬拝書

【江津市15】江津市松川町上河戸 浄国寺 泰雲院殿義……

所在地 江津市松川町上河戸 浄国寺境内 道路側

北緯35° 01' 02.28" / 東経132° 17' 21.03"



(調査日2022年9月22日)

【建立年】文化15年(1818)
 【建立者】村民
 【碑石前面】泰雲院殿義……
 【碑石右・後面】碑文あり(読みにくい。下欄に記載)
 【台石左面】福光石工……
 【調査の経過】
 No.16の天満宮のすぐ北東。気象条件はそう悪く見えませんが、風当たりが強かったのか、かなり剥落している。碑石左から後面にかけて長文の碑文があるが、草書体で彫られていることや石がやせていることなどからほとんど読めない。
 碑の前に一對の石灯籠があるが、どちらも屋根だけが崩落している。

碑石 高さ95/幅34/奥行35
 台石1段目 高さ25/幅58/奥行58
 台石2段目 高さ30/幅76/奥行76
 台石3段目 高さ30/幅107/奥行107
 台石4段目 高さ16/幅136/奥行136



【江津市15】江津市松川町上河戸 浄国寺 泰雲院殿義…… 続き(碑文)



写真は碑石左面。文字を読むのが難しい。後面は上部4分の1を残し剥落していて、全く読めない状態。

石見国那賀郡上河戸村地誌
 (「石見潟第七号」より)
 右側(碑石左面)
 往昔享保の頃御代官井戸平左衛門殿様郡縣の百姓を御憐愍の覚意の御政事より琉球出来の種を蒙厚惠農民爾来是を芽植作凶年飢饉の患を知らず移其粟於河内の御仁惠報し尽しかたし。
 吉日文化十五戊寅歲
 紫門軒 亮篤 謹曰
 後面(碑石後面)
 正陽穀旦村民石に彫て其広大の恩徳を仰く所而已。

【江津市16】江津市松川町下河戸 天満宮 **井戸神社**

所在地 江津市松川町下河戸 天満宮境内(本殿裏)

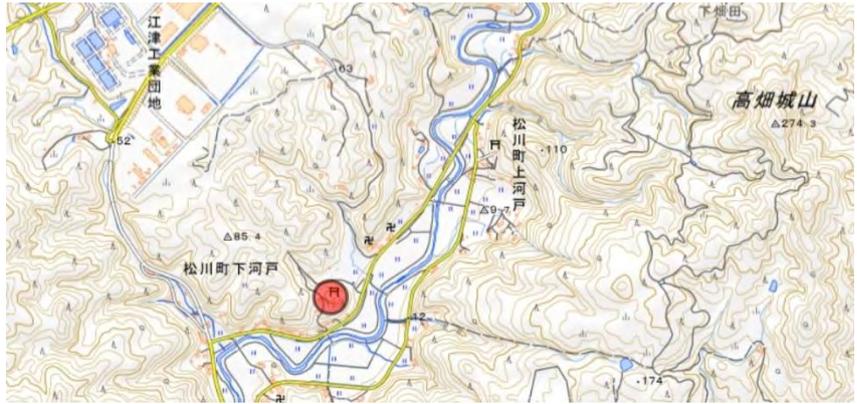
北緯35° 00' 54.81" / 東経132° 17' 12.13"



【調査日】2023年1月17日

〔調査の経過〕
旧江津市では唯一の神社内の祠。建立年は石碑の後ろに立てかけてあった旧祠の扉の部分石に彫ってあった。

〔建立年〕明治20年(1887)
〔建立者〕(寄附人名等あり)
〔祠前面〕井戸神社
〔祠右面〕福光：作
〔そのほか〕文字なし
〔隣の石碑〕御殿/敷地/地料/工事/寄附/人名/世話人
山政太/下河戸長谷平市畑
金七長谷多市重田米一/渡和
原田平太郎山口真一中家佐太
笠田興作/石田重利長谷作次横
手儀三郎山本為市福田五市/太
田伊佐市重田久一郎太田計作森
甚口信市/島田勘一竹原佐
吉横手竹市原田仁/高見福一河
見清市太田太郎土井口湯谷
安市太田源二郎土井善助山本正
義/竹田寅市長谷英作太田伍作
太田久義/石工湯谷又次



(単位：cm)
祠 高さ103/幅77/奥行62
台石 (隣の石碑と共通)
高さ30㍉のブロック

【江津市17】江津市松川町下河戸 円立寺 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 江津市松川町下河戸 円立寺境内

北緯35° 00' 43.60" / 東経132° 17' 04.57"



【調査日】2022年9月22日

〔調査の経過〕
天満宮(No.16)、浄国寺(No.15)の川を挟んだ向かい側になる。浄国寺の碑と規模、造りが似ているが、こちらは傷みが少なく、文字は読める。
碑の前に1対の石灯籠があり「二百回忌記念」としてあるので、昭和7年(1932)ころの建立だろう。

〔建立年〕不明
〔建立者〕當村中
〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
〔碑石右面〕享保十八癸丑五月廿六日
〔碑石左面〕當御料前御代官/井戸平左衛門正明
〔二段目台石前面〕當村中「同左面」世話人/堀兵左衛門/長谷紋平太/石田多左衛門「同右面」石工/坪内庄兵衛寅福



碑石 高さ98/幅33/奥行33
台石1段目 高さ25/幅57/奥行57
台石2段目 高さ28/幅75/奥行75
台石3段目 高さ27/幅105/奥行105
台石4段目 高さ27/幅144/奥行138
台石5段目 高さ31/幅194/奥行188

【江津市18】江津市松川町市村 三仏寺 泰雲院殿義岳良忠居士塔

所在地 江津市松川町市村 三仏寺 境内（道路側）

北緯35° 00' 05.69" / 東経132° 16' 53.58"



碑石 高さ120/幅37/奥行35
 台石1段目 高さ21/幅58/奥行58
 台石2段目 高さ24/幅76/奥行76
 台石3段目 高さ25/幅98/奥行100

【建立年】天保3年（1832）
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士塔（右に）享保十八癸丑年（左に）五月二十六日
 【碑石右面】當御料前御代官／井戸平左衛門尉正明「碑石左面」干時天保三壬辰年建之
 【台石前面】當村中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 国道261号から1本道路を入った市村の市街地の郵便局前にある三仏寺。山門をくぐった右側にこの碑が立つ。白っぽい石で、石質は硬く傷みはない。台石2段目前面の「當村中」が大きく誇らしげだ。花立てと線香立ては後から設置されたと思われる。調査日にはシビキ（シキミ）が供えてあった。
 （調査日2022年7月8日）



【江津市19】江津市松川町畑田四熊 坂本氏宅横 泰雲院殿義岳良忠居士

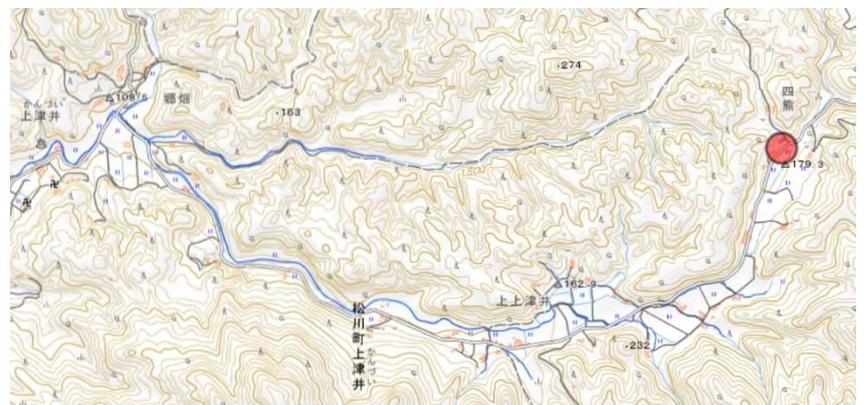
所在地 江津市松川町畑田四熊 坂本氏宅横道路沿い

北緯35° 00' 29.45" / 東経132° 20' 06.06"



碑石 高さ93/幅32/奥行32
 台石1段目 高さ26/幅49/奥行49
 台石2段目 高さ24/幅70/奥行70
 台石3段目 高さ21/幅94/奥行95

【建立年】明治29年（1896）
 【建立者】（発起人名等あり）
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八癸丑五月廿六日「碑石左面」大森御代官井戸平左衛門尉正明／君碑／茲明治二十九年一月新建立之
 【二段目台石前面】山本伊吉／宮下□土／原田征四郎／本田□□／本田利吉／三嶋作太郎／迫田龜吉／二人朗造／本田義治／西本□□／上元□□（2人の名不明）
 【二段目台石後面】石工□□才一郎（4人の名不明）／起人／山本幸一郎／坂本□四郎／世話人／山本善興四郎／宮原岩太／森畑右太郎／阪本徳市【二段目台石右面】（16人の名不明）
 【調査の経過】
 道路沿いに石組の広場を造り、地藏堂と碑と1対の石灯籠がある。碑の周囲はきれいにしておいて気持ちよかった。
 （調査日2022年8月26日）



【江津市20】江津市松川町畑田 旧都治道分岐点 **泰雲院殿義岳良忠居士**

所在地 江津市松川町畑田 旧都治道分岐点 (林道入口から徒歩約1.3^{キロ})

北緯35° 00' 51.77" / 東経132° 18' 57.63"



【建立年】天保3年(1832)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】天保三壬辰/三月吉日
 【碑石左面】當御料前御代官
 /井戸平左衛門尉正
 【一段目台石前面】當村中
 【二段目台石前面】吉……林五良衛門
 /藤田重蔵/宮下和一郎
 ……伯/山本房右衛門/花田……
 /三嶋右衛門/三嶋四良衛門
 【三段目台石前面】助三郎/忠兵
 三郎/忠三郎/平十郎/常蔵/種
 應/常右エ門/伊右エ門/良三
 郎/恵三郎
 【調査の経過】
 松川町上津井から徒歩のみで
 入れる林道を約1・3^{キロ}進む
 と、左は都治、右は波積に向か
 う広い三差路があり、その分岐
 点の高さ約一坪の岩の上に立
 つ。かなり傷んでおり、碑石裏
 面は剥落が進んでいる。
 (調査日2022年12月16日)

碑石 高さ110/幅32/奥行32
 台石 1段目
 高さ21/幅52/奥行52
 台石 2段目
 高さ23/幅73/奥行73
 台石 3段目
 高さ26/幅97/奥行98
 台石 4段目
 高さ31/幅126/奥行126



【江津市21】江津市松川町上津井 宮本氏宅前 **井明恩澤碑**

所在地 江津市松川町上津井 宮本氏宅前地藏堂上

北緯35° 00' 07.57" / 東経132° 19' 06.81"



【建立年】安政3年(1856)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井明恩澤碑
 【碑石左面】安政三丙辰年/二月
 廿有六日/造立
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 舗装路から宮本氏宅に上がる
 坂道沿いに地藏堂があり、その
 上に立つ。幅の広い墓石型。周
 囲は荒れていて、前にある1対
 の石灯籠も崩れかけている。周
 りには玉垣があったようで、そ
 れらしき石が立ったり倒れた
 りして散乱している。碑そのも
 のの傷みは少なく文字ははっ
 きり読める。
 (調査日2022年9月22日)

碑石 高さ101/幅61/奥行25
 台石 1段目
 高さ8/幅78/奥行39
 台石 2段目
 高さ40/幅104/奥行67
 台石 3段目
 高さ22/幅122/奥行89



【江津市22】江津市松川町長良 久坪橋東南 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市松川町長良 R261 下の旧道 久坪橋東南

北緯 34° 59' 52.65" / 東経 132° 17' 23.13"



(単位: cm)
 碑石 高さ83/幅29/奥行25
 台石 1段目
 高さ20/幅43/奥行43
 台石 2段目
 高さ16/幅61/奥行62

(調査日 2022年7月8日)

〔調査の経過〕
 江の川に架かる松川橋の東に、国道261号の旧道があり、ここに架かる久坪橋の東南に立つ。位置的には櫃原トンネルの西になる。地藏堂と江川遭難者供養塔の間に立っている。碑石は福光石だが傷みは少なく、文字ははっきり読める。

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八丑年五月廿六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正明
 【そのほか】文字なし



【江津市23】江津市松川町長良呂木 峠上 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市松川町長良呂木 峠上 林道沿い

北緯 34° 59' 41.44" / 東経 132° 18' 18.20"



(単位: cm)
 碑石 高さ80/幅26/奥行23
 台石 1段目
 高さ19/幅42/奥行42
 台石 2段目
 高さ14/幅61/奥行61

(調査日 2022年9月22日)

〔調査の経過〕
 松川町上津井で偶然道を尋ねた上畑さんの先導で到達できた。林道を約2.5km上がった道沿いに立つ。林道沿いに人家はないが、上畑さんによると、碑の近くに実家がある方がとさきどき手入れをされているそう。隣には地藏堂もあり、一帯を草刈りしてきれいにしておられた。石は福光石だが傷みは少なく文字は読める。

【建立年】不明
 【建立者】當所上中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八丑年五月廿六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正明
 【二段目台石前面】當所上中 / 発起人笠江源四良



【江津市24】江津市松川町長良新屋原 R261 沿い **泰雲院殿義岳良忠居士**

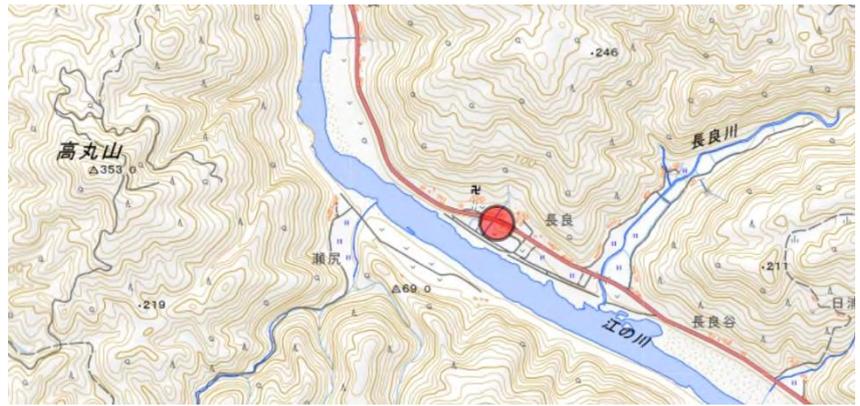
所在地 江津市松川町長良新屋原 R261 バス停近く 江の川側
 北緯34° 58' 50.56" / 東経132° 18' 10.26"



(単位: c m)
 碑石 高さ220/幅90/奥行78
 台石1段目
 高さ30/幅164/奥行105

(調査日2022年8月26日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 国道261号沿いにブロックを3段積んで、別の碑と並んで立つ。碑石前面の幅90^{cm}、高さ220^{cm}の巨石に、デザイン性の高い隷書体で碑銘が彫られ、存在感がある。
 建立年や建立者などの情報が彫られていないのが残念。



【江津市25】江津市江津町 郷田小学校前 **嘉恵碑** (新碑)

所在地 江津市江津町 郷田小学校校門前 K112 沿い
 北緯35° 00' 25.14" / 東経132° 13' 29.89"



碑石 高さ168/幅67/奥行36
 台石1段目
 高さ38/幅110/奥行79
 台石2段目
 高さ37/幅133/奥行111
 台石3段目
 高さ37/幅177/奥行146

(調査日2022年9月18日)

【建立年】安政5年(1858)再建
 【建立者】不明
 【碑石前面】嘉恵碑
 【碑石左面】為故明府井戸君/安政五年/季戊午冬再建
 【調査の経過】
 郷田小学校の正門の前、県道112号沿いに旧碑と並んで立つ。新碑には痛みはないが、建立者の情報がない。2つの碑はブロック塀の玉垣に囲まれていて、手入れが行き届いている。調査日にもシビキ(シキミ)が供えてあった。毎年夏に祭りをしているというが、碑の後ろに卒塔婆が立てかけてあり、ていねいに供養されている様子がわかる。



【江津市26】江津市江津町 郷田小学校前 **井戸明府公恩碑** (旧碑)

所在地 江津市江津町 郷田小学校校門前 K112 沿い

北緯 35° 00' 25.14" / 東経 132° 13' 29.89"



【調査の経過】
郷田小学校の正門の前、県道112号沿いに旧碑と並んで立つ。こちらの旧碑はかなり傷みが激しく、碑石の頭部は欠けているし、碑文が彫られた碑石左・後・右面は石がやせていて文字を読むのが非常に難しい。「石見銀山代官井戸明府公恩碑」(横田彌太郎2005年)によると建立年は文政元年、建立者は横田御左衛門美統としていますが、ここでは建立年のみ引用させていただいた。

(調査日 2022年9月18日)

【建立年】 文政元年 (1818)
【建立者】 不明
【碑石前面】 井戸明府公恩碑
【碑石左・後・右面】 長文の碑文があるが損傷したりやせたりして、ほぼ読めない。
【台石】 文字なし



(単位: cm)
碑石 高さ113/幅38/奥行37
台石 1段目
高さ15/幅56/奥行52

【江津市27】江津市金田町千金 人丸渡し K112 沿い **遺澤碑**

所在地 江津市金田町千金 人丸渡し K112 沿い

北緯 35° 00' 23.94" / 東経 132° 15' 13.51"



【調査の経過】
県道112号沿いにある神社の横に立つ。前の県道には「人麻呂渡し(江西駅)」の案内看板がある。周囲は手入れされている。碑石は傷みがあり、碑石前面の下は剥落し2段目台石右面はやせて読みにくい。江の川の左岸に位置し、対岸の松川町太田の碑(No.14)と向かい合う形で興味深い。

(調査日 2022年8月26日)

【建立年】 明治14年 (1881)
【建立者】 金田村中
【碑石前面】 遺澤碑
【碑石右面】 明治十四年辛巳十二月建之「碑石左面」報井戸正明君「一段目台石前面」金田村中「二段目台石右面」世話人/森脇健吉/森脇□□/森□□□/西谷□□三郎/森野□□三郎/村尾善三郎「同左面」福光/石工/坪内利平造立之



碑石 高さ102/幅37/奥行29
台石 1段目
高さ23/幅55/奥行50
台石 2段目
高さ27/幅79/奥行85
台石 3段目
高さ14/幅110/奥行113

【江津市28】江津市金田町大野 林道沿い **泰雲院義岳良忠居士**

所在地 江津市金田町大野 林道沿い高手

北緯34° 59' 51.08" / 東経132° 16' 12.87"



碑石 高さ74/幅28/奥行27
 台石1段目 高さ17/幅42/奥行42
 台石2段目 高さ18/幅52/奥行52
 台石3段目 高さ20/幅64/奥行67

〔建立年〕明治4年（1871）
 〔建立者〕大野講中
 〔碑石前面〕泰雲院義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八癸丑五月廿六日／井戸平左衛門正明
 〔碑石左面〕明治四年辛未十月日
 〔台石二段目前面〕大野講中
 〔調査の経過〕川平町南川上の鍛冶屋谷から大野山へ林道を上がると間もなく車が進めなくなり、車を止めて山道を約700歩歩く。林道はなだらかで、西側には平地が広がり、以前はかなりの広さに田畑があったよう。2回訪れたが発見できず、江津市教委の皆さんのご協力で発見することができた。林道の少し高手を平らにならして建ててある。福光石だが、気象条件が良かったのか、傷みは少ない。
 （調査日2023年1月12日）



【江津市29】江津市川平町鍛冶屋谷 加藤氏宅東 **泰雲院殿義岳良忠居士**

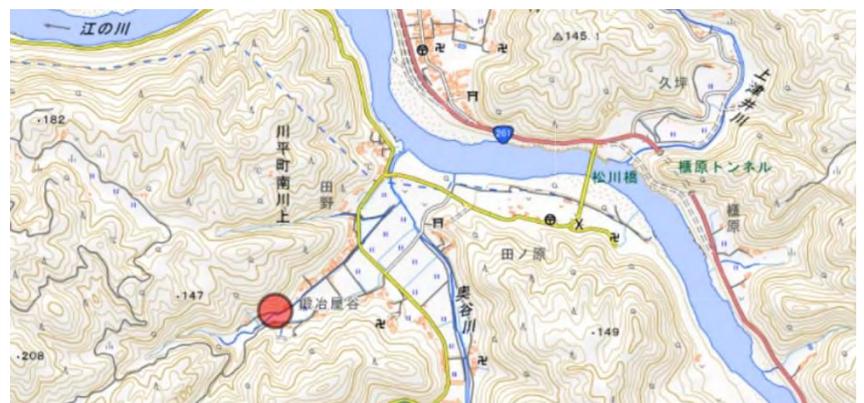
所在地 江津市川平町鍛冶屋谷 加藤氏宅東 道路沿い

北緯34° 59' 36.97" / 東経132° 16' 33.27"



碑石 高さ99/幅34/奥行34
 台石1段目 高さ24/幅54/奥行54
 台石2段目 高さ25/幅74/奥行73
 台石3段目 高さ25/幅96/奥行95

〔建立年〕不明
 〔建立者〕當村中
 〔碑石前面〕泰雲院殿義岳良忠居士
 〔碑石右面〕享保十八年癸丑五月廿六日「碑石左面」井戸平左衛門正明墓
 〔二段目台石前面〕當村中「三段目台石前面」世話人／佐々木吉三郎／大屋嘉作／大野次助／加藤亦二郎／佐々木近太郎
 〔調査の経過〕川平町鍛冶屋谷の北側の道路の奥まった場所に立つ。道路ぎりぎり立っており、碑の下の岩盤はほぼ垂直のため、写真は下の道路から撮影した。碑の西側の加藤さんが草刈りをしたり花を供えておられるというが、正面に回れないため花や水は側面に供えられている。
 （調査日2022年9月29日）



【江津市30】江津市川平町平床 元願宗寺 なし

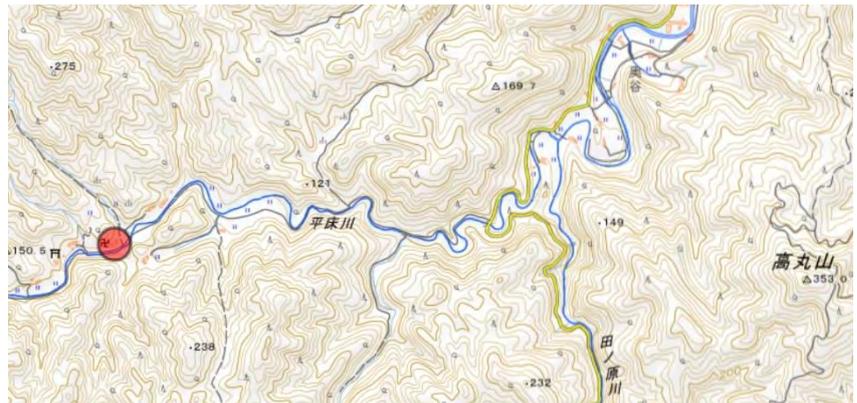
所在地 江津市川平町平床 元願宗寺境内 右側の高手

北緯34° 59' 00.55" / 東経132° 15' 35.78"



(調査日2022年9月29日)

【建立年】文久3年(1863)
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 本堂の右手、高さ約1.1mの石垣の上に建物があり(現在は使われていない)、その石垣の端に石碑がある。全面文字はなく、台石もない。石垣の下に一对の石灯籠があり、「山本又四良/文久三亥八月吉日」と彫られている。以前から文字のない石を頌徳碑として認識していて、後日、灯籠を設置して形を整えたのか、石碑と灯籠が同時だったかはわからないが、ここでは文久3年を碑の建立年とした。



(単位: cm)

碑石 高さ107/幅42/奥行17

【江津市31】江津市川平町沖口 元田原店奥 正明碑

所在地 江津市川平町沖口 元田原店奥

北緯34° 58' 11.79" / 東経132° 16' 10.56"



(調査日2022年11月28日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】正明碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 川に架かっているコンクリートの橋を渡ると「田原店」があった。現在は道路沿いにそれほど家屋がないが、地図には神社や寺院、田んぼのマークがあるので、往時はかなり人の行き交いがあったのだろう。店跡からにぎわっていたころの様子が偲ばれる。店の奥に庭があり、庭の奥に約70cmの高さの石垣が積んであって、その石垣の上に碑が立つ。ここは以前は道路で、人の往来があり、碑のある場所は道路の辻だったのかもしれない。

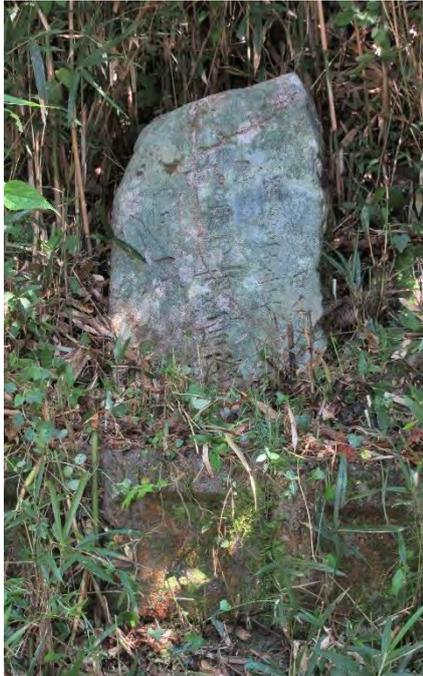


(単位: cm)

碑石 高さ104/幅67/奥行20

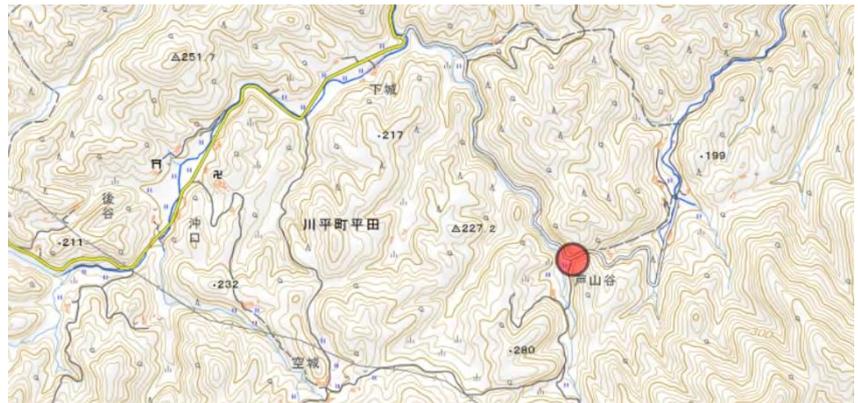
【江津市32】江津市川平町芦山谷 田ノ迫 井戸正明君碑

所在地 江津市川平町芦山谷 田ノ迫 峠にある広い三差路の石垣上
 北緯34°58'09.74" / 東経132°17'09.61"



(調査日2022年8月26日)

【建立年】明治35年(1902)
 【建立者】田ノ迫
 【碑石前面】井戸正明君碑(右に) 明治三十五年/田ノ迫(左に) 四月一日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道から田ノ迫に向かい、峠になつた場所が広い三差路になつていて、三差路の東側の石垣の上に碑が立つ。周囲はかなり笹が茂っていて、目を凝らして探さないと見つげにくい。白っぽい石で傷みはなく、比較的浅い文字が彫つてある。



(単位: cm)

碑石 高さ82/幅51/奥行19

【江津市33】江津市川平町空城下 嘉戸氏宅前 泰雲院殿義岳良忠居士

所在地 江津市川平町空城下 嘉戸氏宅前 地藏堂横
 北緯34°57'54.51" / 東経132°16'34.15"



(調査日2022年8月26日)

【建立年】明治35年(1902)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠居士
 【碑石右面】享保十八年五月廿六日
 【碑石左面】井戸平左衛門正明
 【碑石後面】明治三十五年十二月九日建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 道路の辻の広々とした場所の一段高いところを舗装、整備して地藏堂と並んで立つ。福光石で、傷みは少しあるが原型を保っており、文字はすべてはつきり読める。



碑石 高さ93/幅32/奥行31
 台石1段目 高さ22/幅50/奥行50
 台石2段目 高さ24/幅85/奥行85
 台石3段目 高さ13/幅106/奥行105

【江津市34】江津市嘉久志町 岩根神社前 **嘉惠碑**

所在地 江津市嘉久志町 岩根神社前

北緯35° 00' 17.16" / 東経132° 12' 45.29"



(単位：cm)
 碑石 高さ132/幅75/奥行65
 台石1段目
 高さ25/幅115/奥行116
 台石2段目(コンクリート)
 高さ25/幅200/奥行200

【建立年】令和元年(2019) 再建
 【建立者】村中
 【碑石前面】嘉惠碑
 【碑石後面】令和元年十一月吉日
 【台石】文字なし
 【調査の経過】
 明治4年に再建された2代目の碑が傷んで倒壊の恐れがあったため、再建委員会を立ち上げて、町内を中心に浄財を募り、令和元年に再建した。いつまでもしっかりと立っている石碑にしたいとの思いが強く、台石には鉄筋を入れて丈夫なものにした。「嘉惠碑」「村中」の文字は2代目の文字の拓本を取って全く同じ文字を彫り、先人に敬意を表した。碑の横には解説板も設置し(下欄に記載)、井戸公の事績、碑の由来を伝えている。
 (調査日2022年9月18日)



【江津市34】江津市嘉久志町 岩根神社前 **嘉惠碑 続き (解説板)**



嘉惠碑 (カケイノヒ)
 この碑は江戸八代將軍吉宗公の時代・享保の大飢饉(一七三二〜三年)の際に甘藷(サツマイモ)の栽培を奨励し、石見の人々を飢饉から救った大森銀山領(今の太田市大森町)代官 井戸平左衛門正明公の遺徳を称えるために嘉久志の村人たちが建立したものです。
 石見の人々はその遺徳を忍び親しみをこめて「芋殿さん」「芋代官さん」と呼んでいます。
 芋代官さんは銀山領を中心とした石見地方の住民を救済するために薩摩の国(今の鹿児島県)で栽培されていた甘藷をこの地方に導入しました。
 栽培には幾多の苦労がありましたが、やっと甘藷が育ち多くの人々を飢饉から救いました。その後も度々飢饉に襲われましたが、石見の人々は甘藷によって命を守られてきました。
 この碑は芋代官さんの御恩に感謝しその遺徳を後世に伝えるために建立されたものです。
 この「嘉惠碑」は三代目となります。最初の碑は「円石ヲ以テ標識トシ碑文ナシ」とあり、粗末な石のみと思われれます。二代目は福光石で出来た立派な碑で、「明治四年四月之レヲ再建シ題シテ嘉惠碑トス」(嘉久志村誌)と記録にあります。
 しかしながら二代目も建立後約五十年となり倒壊の恐れが出てきたため、嘉久志の人々の協力を得て再建しました。
 「嘉惠」とは良い恵みを与えて頂いたと言う意味で、この言葉を使っている頌徳碑は市内でも数が少なく貴重な碑です。
 碑の文字は二代目の文字をそのまま写し取ってあります。台座に刻まれている文字は右側から「むらじゅう」と読み、村民一同の気持ちを表しています。
 今回の再建にあたり、その当時の村民の気持ちを忘れずに後世に伝えることが私たちの使命だと思います。

令和二年五月吉日
 嘉惠碑再建実行委員会

【江津市35】江津市嘉久志町久保川 地藏堂前 なし

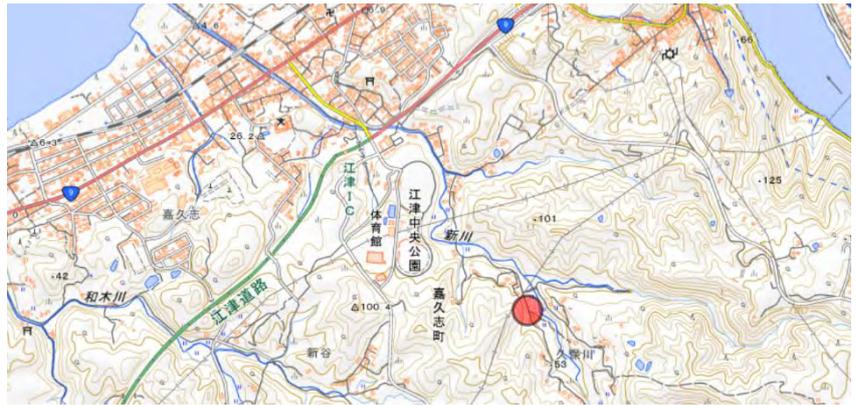
所在地 江津市嘉久志町久保川 地藏堂前

北緯34°59'47.23" / 東経132°13'14.93"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 嘉久志地域コミュニティ交流センターで場所を尋ねたところ、たまたまその日センターを利用されていた方が場所をご存じで、現地まで案内していただいた。
 国道9号バイパスの下を通り抜けて国道の南側をしばらく進むと、道路の右側に小川があり、小川の対岸の広場が庭園のようになっていて、地藏堂とこの碑がある。
 文字は何も彫っていないが、昔から井戸公の碑だと伝えられていると言う。



(単位：cm)

碑石 高さ92/幅40/奥行35

【江津市36】江津市和木町向の浜 慶遺澤

所在地 江津市和木町向の浜 (国道9号の1本南の道路沿い)

北緯34°59'59.37" / 東経132°11'55.21"



(調査日2022年9月18日)

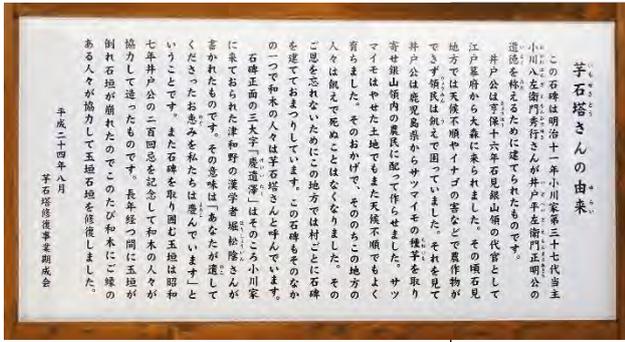
【建立年】明治11年(1878)
 【建立者】小川八左衛門
 【碑石前面】慶遺澤
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 和木町の名家、小川家37代当主で和木町の開発を進めた小川八左衛門氏が、井戸公への報恩感謝の念を込めて明治11年に建立。石は敬川の佐名目から運ばせ、「慶遺澤」の文字は津和野の堀松陰の筆。別に碑文(次葉に記載)もあったが何らかの理由で碑石に彫られなかった。
 その後昭和7年(1932)井戸公二百回忌を記念して町民らによって玉垣、石垣が造られたが、その後崩れたため、「芋石塔修復事業期成会」が町内外から浄財を募って平成24年に整備を行い、解説板も設置した。



(単位：cm)

碑石 高さ184/幅107/奥行60
 台石1段目 高さ31/幅128/奥行110
 台石2段目 高さ27/幅196/奥行190

【江津市36】江津市和木町向の浜 慶遺澤 続き (解説板とまぼろしの碑文)



芋石塔さんの由来

この石碑は明治十一年小川家第三十七代当主小川八左衛門秀行さんが井戸平左衛門正明公の遺徳を称えるために建てられたものです。井戸公は享保十六年石見銀山領の代官として江戸幕府から大森に來られました。その頃石見地方では天候不順やイナゴの害などで農作物がでさず領民は飢えて困っていました。それを見て井戸公は鹿児島島県からサツマイモの種芋を取り寄せ銀山領内の農民に配って作らせた。サツマイモはやせた土地でもまた天候不順でもよく育ちました。そのおかげで、そののちこの地方の人々は飢えて死ぬことはなくなりました。そのご恩を忘れないためにこの地方では村ごとに石碑を建てておまつりしています。この石碑もそのなかの一つで和木の人々は芋石塔さんと呼んでいます。

石碑正面の三大字「慶遺澤」はそのころ小川家に来ておられた津和野の漢学者堀松陰さんが書かれたものです。その意味は「あなたが残してくださったお恵みを私たちは喜んでいきます」ということです。また石碑を取り囲む玉垣は昭和七年井戸公の二百回忌を記念して和木の人々が協力して造ったものです。長年経つ間に玉垣が倒れ石垣が崩れたのでこのたび和木にご縁のある人々が協力して玉垣石垣を修復しました。

平成二十四年八月
芋石塔修復事業期成会

慶遺澤前に設置された解説板の写真(上)と内容(右左は石碑の後面に彫られる予定だった碑文

「石見潟第七号」より

故井戸君諱正朋通稱平左衛門尉法諡泰雲院享保辛亥其月為石見大森令癸丑五月廿六日病没於備中笠岡官舎其在石見也得琉鬼種甘諸於薩摩班之内雖砂田瘦土延蔓繁殖年穀不登可以充饑其用心於民事率此類矣於是乎民至今稱其德村々建石以祀焉我和木邨亦題三大字勒石以傳不朽

明治十一年十一月 島根縣貫属堀松陰書

【江津市37】江津市都野津町 大年神社前 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 江津市都野津町 大年神社前
北緯34° 59' 26.39" / 東経132° 11' 37.53"



〔建立年〕 文久2年(1862)
〔建立者〕 村中
〔碑石前面〕 泰雲院殿義岳良忠大居士
〔碑石右面〕 享保十八癸丑五月廿六日
〔碑石左面〕 井戸平左衛門尉正明御墳
〔二段目台石前面〕 施主村中／世話人／大屋治三右衛門／同／大場惣左衛門／文久二成年
〔調査の経過〕
都野津町の町中、大年神社の前の道の向い側、一段高い場所に、矢立の松跡、地藏堂などと並んで立っている。周囲はきれいで碑石にも痛みはなく、文字は読みやすい。卒塔婆が立てかけてあり、大切に供養されていることがわかる。

(調査日2022年9月18日)



碑石 高さ137/幅45/奥行42
台石1段目 高さ34/幅73/奥行74
台石2段目 高さ29/幅102/奥行100
台石3段目 高さ55/幅133/奥行129
台石4段目 高さ35/幅156/奥行165

【江津市38】江津市二宮町神主 大寶坊 泰雲院殿義岳良忠大居士

所在地 江津市二宮町神主 大寶坊境内 地藏堂内

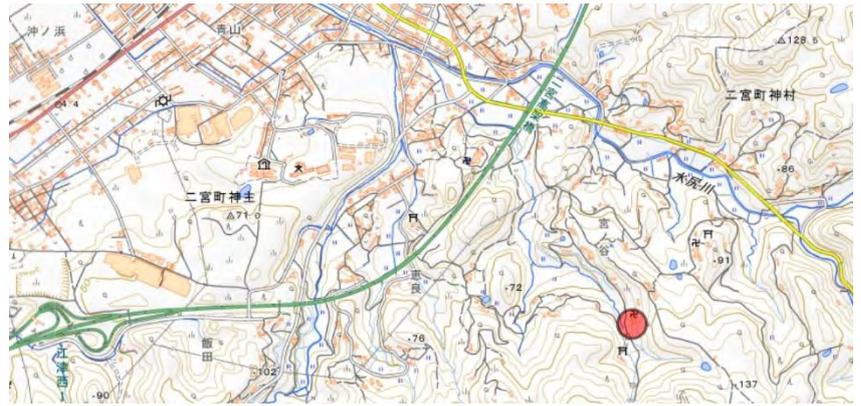
北緯34°58'15.08" / 東経132°12'06.00"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】□保十八癸丑年/五月二十六日「碑石左面」琉球芋 / 開祖井戸平右衛門正朋
 【台石】文字なし
 【調査の経過】石段を上がって山門をくぐった右手に細長い地藏堂がありその右端に碑がある。屋根と壁があつて気象条件は悪くないはずだが、碑石のところどころ亀裂があり、後部の上部が欠けている。「琉球芋開祖」という表現は珍しい。「平左衛門」が「平右衛門」になっている。

(単位: cm)
 碑石 高さ64/幅22/奥行22
 台石 1段目
 高さ15/幅34/奥行37



【江津市39】江津市二宮町神主 太平寺 墓地横 泰雲院殿

所在地 江津市二宮町神主 太平寺 墓地横

北緯34°58'35.68" / 東経132°11'39.24"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】元治元年(1864)
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿(右に)元治元稔五月廿六日(左に)當山九世代/當村中建之
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】本堂の右手を少し行った場所に墓地が広がっており、その入り口にあたる場所にブロックを三段積んで地藏堂と並んで立っている。自然石で傷みはなく、碑銘等はすべて前面に彫つてあつて、それ以外の場所に文字はない。

(単位: cm)
 碑石 高さ130/幅86/奥行25
 台石 1段目
 高さ17/幅84/奥行57



【江津市40】江津市二宮町神主飯田 三原屋入口 泰雲院殿義岳良忠大居士

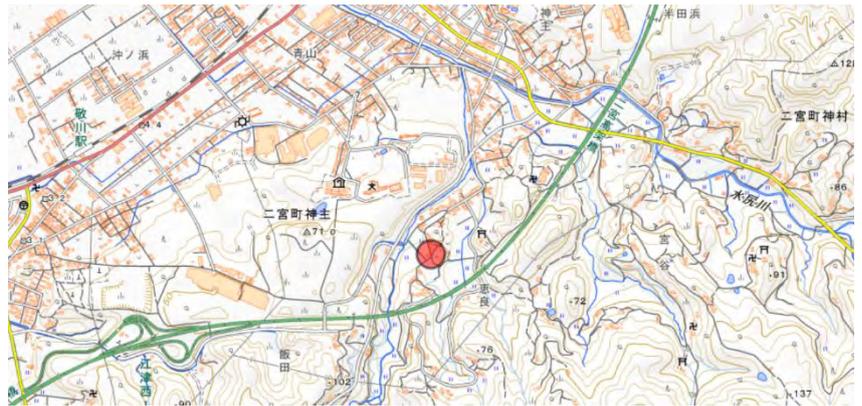
所在地 江津市二宮町神主飯田 三原屋入口交差点広場

北緯34°58'26.05" / 東経132°11'23.37"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】不明
 【建立者】飯田邑中
 【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士
 【碑石右面】施主飯田邑中／世話人／甚左衛門／八十八／忠蔵
 【碑石後面】南無阿彌陀佛【碑石左面】享保十八年十月廿六日
 【台石】文字なし
 【調査の経過】住宅が続く集落内の三差路の広場を舗装して地藏堂と並んで立っている。控えめな大きさだが、波子、都野津、二宮町で多い「居士」の上に「大」をつけた碑銘になっている。福光石と思われるが傷みはほぼない。文字が浅くて読みにくいので、少しやせているかもしれない。



(単位：cm)

碑石 高さ58/幅23/奥行21
 台石1段目 高さ20/幅37/奥行35
 台石2段目 高さ19/幅51/奥行46

【江津市41】江津市二宮町神村 長久寺 泰雲院殿

所在地 江津市二宮町神村 長久寺境内

北緯34°58'24.96" / 東経132°12'15.44"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】不明
 【建立者】當村中
 【碑石前面】泰雲院殿
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】本堂に向かって左側に忠魂碑などと並んで立つ。デザインが珍しく、普通は碑銘の下に一文字分の大きさで彫つてあることが多い蓮の花が、碑面の幅いっぱい(約80cm)にレリーフで入れてあってユニークだ。ほかには潔いほど文字がない。台石は右隣の忠魂碑まで連続しているように見え、忠魂碑の前面に「當村中」の文字があるので、井戸公碑も建立者は當村中を採用した。



(単位：cm)

碑石 高さ192/幅88/奥行50
 台石1段目 高さ24/幅不明/奥行不明

【江津市42】江津市敬川町 霊泉寺入口 K299 沿い **泰雲院**

所在地 江津市敬川町 霊泉寺入口 K299 沿い

北緯34° 58' 05.98" / 東経132° 10' 58.37"



(調査日2022年9月13日)

【調査の経過】
江津西ICの西側になる。手入れされた庭園風の場所に「泰雲院」の3文字だけを彫った堂々たる碑だ。建立年、建立者もはっきり彫っており、痛みはない。前には「享保飢饉の恩人も代官さんの碑」があり、最近の卒塔婆も立てかけてある。

【建立年】明治25年(1892)

【建立者】村中

【碑石前面】泰雲院

【碑石右面】享保十八年丑五月廿六日卒/井戸平左衛門政朋公【碑石左面】明治廿五年辰五月廿六日建之霊泉十五世法州代

【二段目台石前面】村中/世話人/湊勝四郎/小林寅吉/山藤善十郎/小林久太郎/河野友吉/松永市太郎/寺迫林五郎/和田安二郎/小林吉三郎/植田庄太郎/小林亀一/千代延岩一【同左面】石工/小原彌市/城田皆吉

碑石 高さ154/幅57/奥行42
台石1段目 高さ28/幅81/奥行70
台石2段目 高さ31/幅113/奥行95
台石3段目 高さ27/幅147/奥行134
台石4段目 高さ63/幅410/奥行195



【江津市43】江津市波子町 常福寺山門前 **泰雲院殿義岳良忠大居士**

所在地 江津市波子町 常福寺山門前

北緯34° 58' 04.57" / 東経132° 09' 03.87"



(調査日2022年9月13日)

【建立年】明治5年(1872) 再建

【建立者】當村中

【碑石前面】泰雲院殿義岳良忠大居士

【碑石左面】明治五年壬申五月日再建之

【二段目台石前面】願主當村中

【調査の経過】山門をくぐる前の左側に、別の石碑と並んで立つ。石質は福光石のようなだが、黒っぽい。傷みは少ない。調査日には碑の前の花立てにシビキ(シキミ)が供えてあり、供養した卒塔婆も立てかけられていて、大切にされている様子がうかがえる。

碑石 高さ91/幅39/奥行32
台石1段目 高さ35/幅56/奥行50
台石2段目 高さ23/幅64/奥行58
台石3段目 高さ22/幅87/奥行79



【江津市44】江津市千田町 浄光寺向い 寺子屋跡 **井戸君碑**

所在地 江津市千田町 浄光寺向い 大行寺寺子屋跡入口

北緯34° 57' 53.10" / 東経132° 12' 55.96"



【建立年】明治22年（1889）
 【建立者】組中
 【碑石前面】井戸君碑（右に）明治廿二年（左に）十月建之（下に）組中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 浄光寺入り口で作業をしてもらったご住職に場所を教えてくださいました。寺の前の県道を渡って細い坂道を上ると右手に「大行寺寺子屋跡」の標識と入口があり、石を95^{センチ}積み上げた基礎の上に井戸公碑が建てられている。訪れる人もなくほぼ草に覆われていたが、碑は自然石で傷みはなく、碑石前面に情報のすべてがコンパクトに彫られている。
 ご住職から後千田の碑（No.45）があることも教えていただきました。
 （調査日2022年9月29日）



(単位：cm)
 碑石 高さ130/幅69/奥行37
 台石1段目
 高さ30/幅115/奥行76

【江津市45】江津市千田町後千田 森口氏宅下 **泰雲院殿塚**

所在地 江津市千田町後千田 森口氏宅下

北緯34° 58' 13.24" / 東経132° 13' 09.98"



【建立年】文久3年（1863）
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院殿塚（右に）文久三亥年（左に）十月廿六日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 江津市の井戸平左衛門頌徳碑を特集した「石見潟第七号」（江津市文化財研究会／昭和56年）にも紹介されておらず、私たちの調査でも存在はわかっていなかった。
 広い農道から上がったカーブの外側に広場があり、薬師堂と並んで立つ。すわりとした碑石で痛みはない。碑石前面以外に文字はなく、建立者の名前も彫っていない。前の花立てには色とりどりの生花が供えてあった。
 （調査日2022年9月29日）
 （写真2023年3月30日）



碑石 高さ117/幅46/奥行24
 台石1段目
 高さ8/幅44/奥行31
 台石2段目
 高さ17/幅74/奥行67
 台石3段目
 高さ47/幅210/奥行130

【江津市46】江津市千田町大佐張 佐々木氏宅裏 泰雲院殿墓

所在地 江津市千田町大佐張 佐々木氏宅裏

北緯34° 57' 32.84" / 東経132° 12' 04.08"



(調査日2022年10月4日)

【建立年】明治5年(1872)
 【建立者】谷中
 【碑石前面】泰雲院殿墓
 【碑石右面】井戸君碑/明治五壬申十月廿五日/谷中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 地図を頼りに、情報があればと思ひ佐々木氏宅を訪ねると、おばあさんが「案内させます」と言われてびっくり。訳を尋ねると、跡市のコミュニティ交流センターで「大田市から調査に来る」と聞いたので碑までの道の草を刈ったとのこと。おじいさんに石碑まで案内していただいた。周りもきれいにしていたり、サツマイモが供えてあった。碑の前は往還で昔は人通りがあったが今は通る人はなく、イノシシの柵がしてあった。



(単位: cm)

碑石 高さ164/幅39/奥行41
 台石1段目 高さ28/幅72/奥行40
 台石2段目 高さ63/幅198/奥行不明

【江津市47】江津千田町大年迫 道路沿い地蔵堂横 泰雲院殿碑

所在地 江津市千田町大年迫 道路沿い地蔵堂横

北緯34° 57' 17.83" / 東経132° 11' 36.78"



(調査日2022年10月4日)

【建立年】明治5年(1872)
 【建立者】谷中
 【碑石前面】泰雲院殿碑
 【碑石左面】井戸平左衛門墓/明治五壬申十月日/谷中
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 大佐張(No.46)の碑の調査の後、佐々木さんに場所を聞いて訪ねた。大佐張の碑から直線で800mと近い。建立年月も同じで、建立者の「谷中」も同じ。同時期に二つの地区が相談しながら建てたのだろう。こちらにも自然石で痛みはない。こちらの碑の横には地蔵堂があり、前の道路は拡幅、舗装されて、有福温泉などに向かう道として今でも使われている。



(単位: cm)

碑石 高さ111/幅50/奥行26
 台石1段目 高さ19/幅98/奥行88
 台石2段目 高さ37/幅121/奥行112

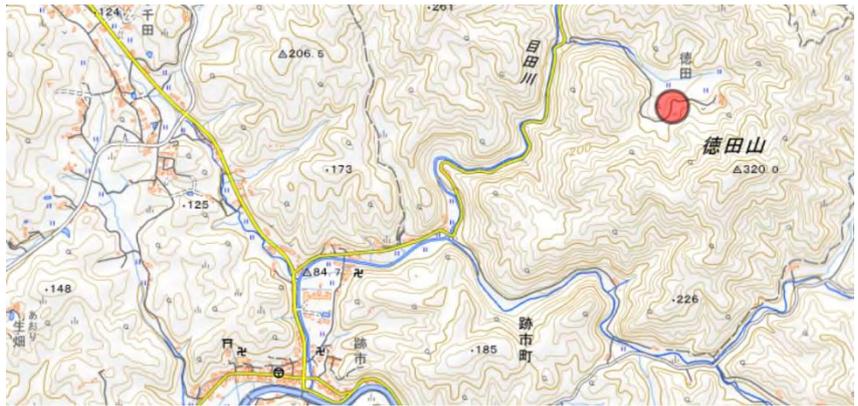
【江津市48】江津市跡市町徳田 切通し **井明府**

所在地 江津市跡市町徳田 K298 から徒歩約700m 切通し
 北緯34°57'44.27" / 東経132°14'16.52"



(単位：cm)
 碑石 高さ174/幅60/奥行37
 台石1段目
 高さ12/幅120/奥行不明

【建立年】大正3年(1914)
 【建立者】不明
 【碑石前面】井明府
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 目田川沿いの県道298号沿いに車を止めて、なだらかな山道を約700m登ると、峠は山を切り開いて道路がつけてあり、その切り割りの右側の斜面に立っている。かなり急な斜面で前にスペースがないため写真は下の道から撮影した。
 自然石の碑は途中で割れているように見えるが、割れてはならず、もともとこういう形だったと思われる。サツマイモの形にも見える。
 今は人家もない地域だが、地図を見ると田んぼもかなりあったようで、それなりの集落だったと思われる。
 (調査日2022年11月18日)



【江津市49】江津市跡市町生り畑 元中学校前 **泰雲院**

所在地 江津市跡市町生り畑 元中学校前 K300 沿い
 北緯34°57'08.43" / 東経132°13'08.93"



(単位：cm)
 碑石 高さ160/幅108/奥行22
 台石1段目
 高さ29/幅142/奥行不明

【建立年】明治32年(1899)
 【建立者】不明
 【碑石前面】泰雲院
 【碑石後面】明治三十二年十一月建之「そのほか」文字なし
 【調査の経過】
 現地は跡市町と有福温泉町をつなぐ県道300号沿い。道路向いには以前は中学校があり、地域の要所だったのだろう。崖を削って平地を造り、地藏堂、井戸公碑が立つ。碑の前には1対の石灯籠もある。
 白っぽい大きな自然石に「泰雲院」の3文字だけがダイナミックに彫っており、ほかには何も文字がない。
 「ここから跡市」との標識の意味も込めてこの場所に建てられたのだろうか。
 (調査日2022年8月26日)



【江津市50】江津市跡市町金口 島田氏宅入口 なし

所在地 江津市跡市町金口 島田氏宅入口 山道法面

北緯35° 02' 21.00" / 東経132° 19' 58.76"



碑石 高さ100/幅54/奥行20
 台石 1段目
 高さ32/幅102/奥行不明
 台石 2段目
 高さ29/幅162/奥行不明

(調査日2022年8月26日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 県道から外れているが、有福温泉町に近い。現在は人通りのない山道の斜面に、何も文字のない自然石が立っている。
 硬い石で、台石が2段据えられ、存在感を示している。
 山道を上がったところの島田さんが場所を教えてください、「ときどき草刈りしているが、今はできてなくて申し訳ない」と言って自宅から草刈り機を持ち出し、あつという間に写真のようにきれいな姿にしていた。ありがたいがたかった。



【江津市51】江津市跡市町大久保 興福庵 正明碑 (新碑)

所在地 江津市跡市町大久保 興福庵

北緯34° 57' 24.00" / 東経132° 14' 31.47"

右側の大きな石が碑石。左側には2段の台石が当時のまま残っている。



(単位：cm)
 碑石 高さ205/幅67/奥行50
 台石 1段目
 高さ19/幅132/奥行137
 台石 2段目
 高さ32/幅203/奥行219

(調査日2023年1月12日)

【建立年】明治29年(1896)
 【建立者】不明
 【碑石前面】正明碑/明治二十九年十月二十六日
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 興福庵は昭和時代に倒壊し、現在は参道の存在も不明確になっている。今回、地元の皆さんが草刈りして道をつけてくださったので訪ねることができた。現地は瓦や柱などが散乱している状態。碑石は文字がある面を下にして倒れているため、「石見潟第七号」の記載を転記した。基礎に埋まっていた部分も含めて2段以上あり、そのまま残っている規模の大きい台石と共に、存在感のある石碑だったことだろう。



【江津市52】江津市跡市町大久保 興福庵下 なし (旧碑)

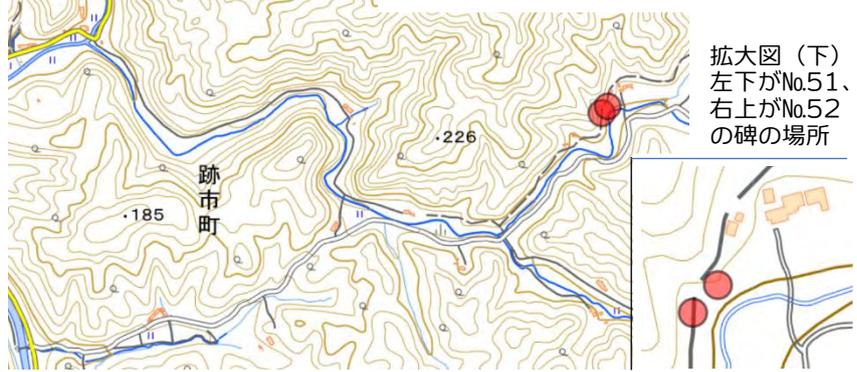
所在地 江津市市町大久保 興福庵下 (参道法面)

北緯34° 57' 24.47" / 東経132° 14' 32.04"



【建立年】不明
 【建立者】不明
 【文字】なし
 【調査の経過】
 「石見湯第七号」では興福庵下に旧碑があると紹介されている。おそらく参道沿いの山側にあると推定されたが、参道がはつきりしないため、興福庵の正面から斜め下に降りる道を探しながら南側と北側を搜索。草を刈りながら進むと、北側を降りる斜面にそれらしき石を発見。周りの草木と土を取り除いて確認し、石見湯で紹介されている石碑と断定した。
 その昔、この石を井戸公碑として手を合わせながら興福庵にお参りしていた方々や地元の方が、さらにきちんとした石碑を、と境内に大きな碑(No.51)を建立したのである。
 (調査日2023年1月12日)

前頁下の地図 (No.51と同じ場所)



拡大図(下) 左下がNo.51、右上がNo.52の碑の場所

(単位: cm)

碑石 高さ90/幅47/奥行19

【江津市53】江津市跡市町出り原 モチノ木横 井戸君之碑

所在地 江津市跡市町出り原 交差点の辻高手 モチノ木横

北緯34° 56' 20.78" / 東経132° 13' 43.82"



【建立年】昭和5年(1930)
 【建立者】(多くの氏名あり)
 【碑石前面】井戸君之碑
 【碑石左面】昭和五年八月健之
 【二段目台石前面】表屋重信/森川政信/二本木伊作/中屋定一/大清水一/半沢清太郎/三国村太郎/江木健一「同左面」平原良一/松ヶ前石太/崎子山龜太/大向為次/三原枚
 【同右面】棚畑兼太/鷹月亀吉/貝行菊太/高瀬房一/大野ヤ房太/平原表与一
 【調査の経過】
 出り原の交差点の辻に大きなモチノ木があり、その木に抱かれるように、道路の一段高手に碑が立っている。規模は小さい方だが、猫足になった一段目を含み台石が三段ある。福光石と思われるが傷みはなく、文字もはつきり読める、周囲はきれいに手入れされている。
 (調査日2022年8月26日)



碑石 高さ60/幅25/奥行25
 台石1段目 高さ17/幅40/奥行40
 台石2段目 高さ17/幅46/奥行46
 台石3段目 高さ17/幅61/奥行不明

【江津市54】江津市有福温泉町堂庭 福泉寺向い 正明君碑

所在地 江津市有福温泉町堂庭 福泉寺向い 民家の庭

北緯34°56'48.53" / 東経132°11'54.16"



(調査日2022年8月26日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】正明君碑
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 福泉寺の向い、直線で約90mにある民家の庭に立つ。「石見湯第七号」では「福泉寺参道入口」となっている。
 自然石の碑石に「正明君碑」の4文字が大きく彫られ、ほかには文字が全くない。台石の後ろ部分は石積みになっており、それをコンクリートで固め、前と横をブロック積みとしている。写真の左奥に見える茶色の大きな屋根が福泉寺。



(単位：cm)
 碑石 高さ167/幅91/奥行33
 台石1段目
 高さ20/幅159/奥行159
 台石2段目(ブロック)
 高さ97/幅248/奥行216

【江津市55】江津市有福温泉町湯谷 たじまや駐車場 なし

所在地 江津市有福温泉町湯谷 たじまや駐車場

北緯34°56'21.20" / 東経132°11'58.12"



(調査日2022年9月7日)

【建立年】不明
 【建立者】不明
 【碑石前面】なし
 【そのほか】文字なし
 【調査の経過】
 文字の全くない、自然石の硬そうな石。温泉街の少し外れの道路沿い、たじまや駐車場の左上への坂道があり、その横の斜面を一部平らにしてこの碑が立つ。文字がなく情報がないが、ここでは昔から井戸公碑として大切にされてきたという。「石見湯第七号」には「有馬屋前」と書いてあり、ほかにも同町では「本明宅前」「スス玉前」などの表記があるが、今の地図では見つけることができず、同町コミュニティ交流センターで場所を教えてくださいました。調査を進め、全基発見できました。



(単位：cm)
 碑石 高さ92/幅50/奥行22
 台石1段目
 高さ19/幅不明/奥行不明